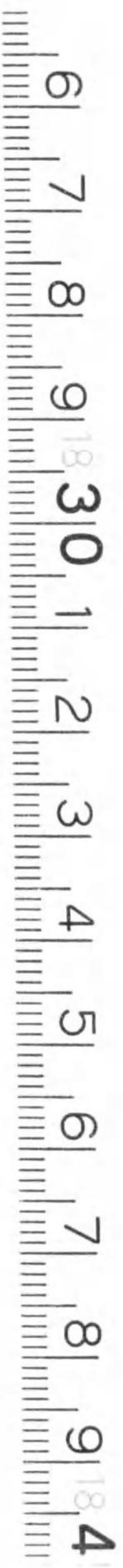


播濱商工案内

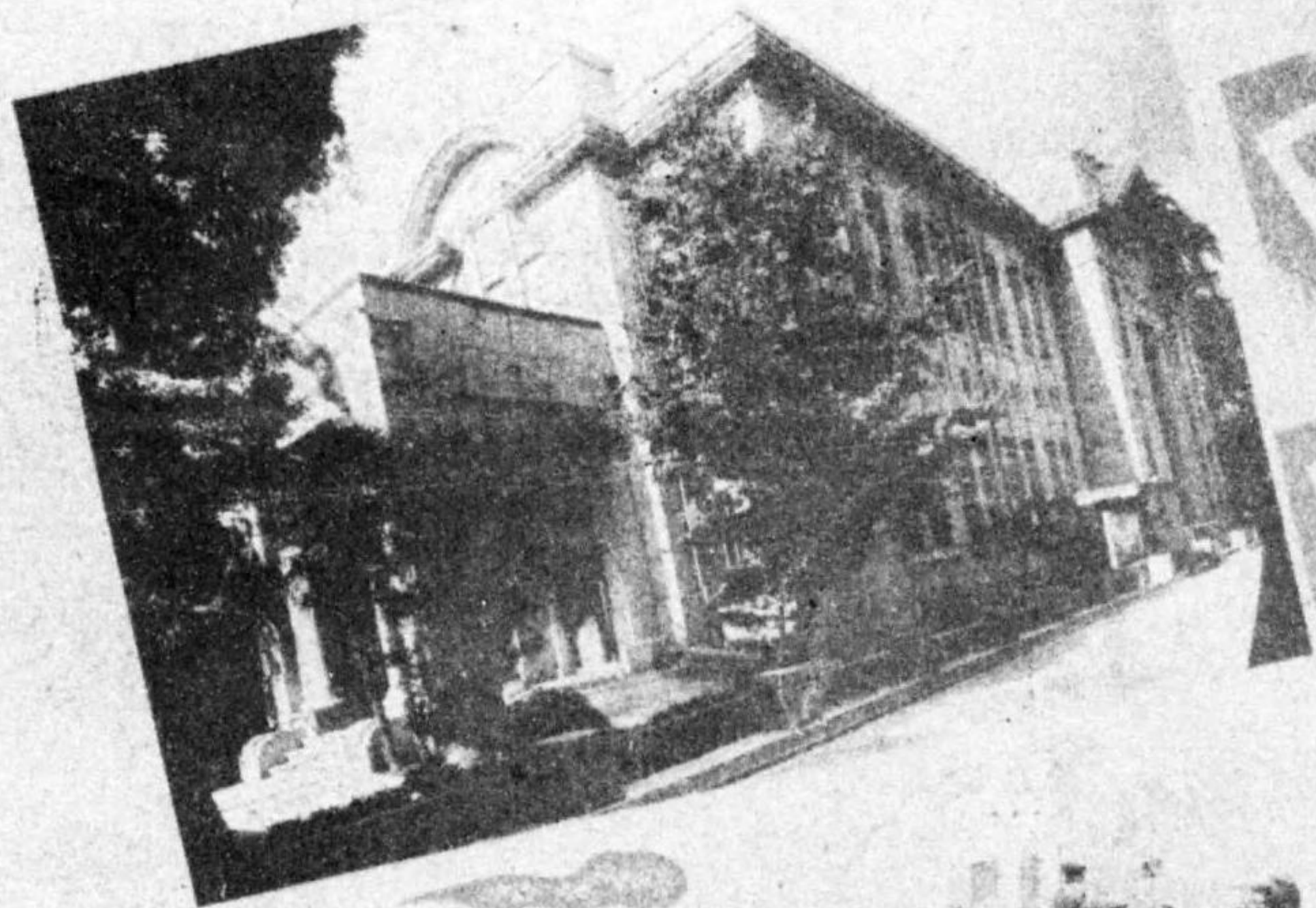
379  
83



始



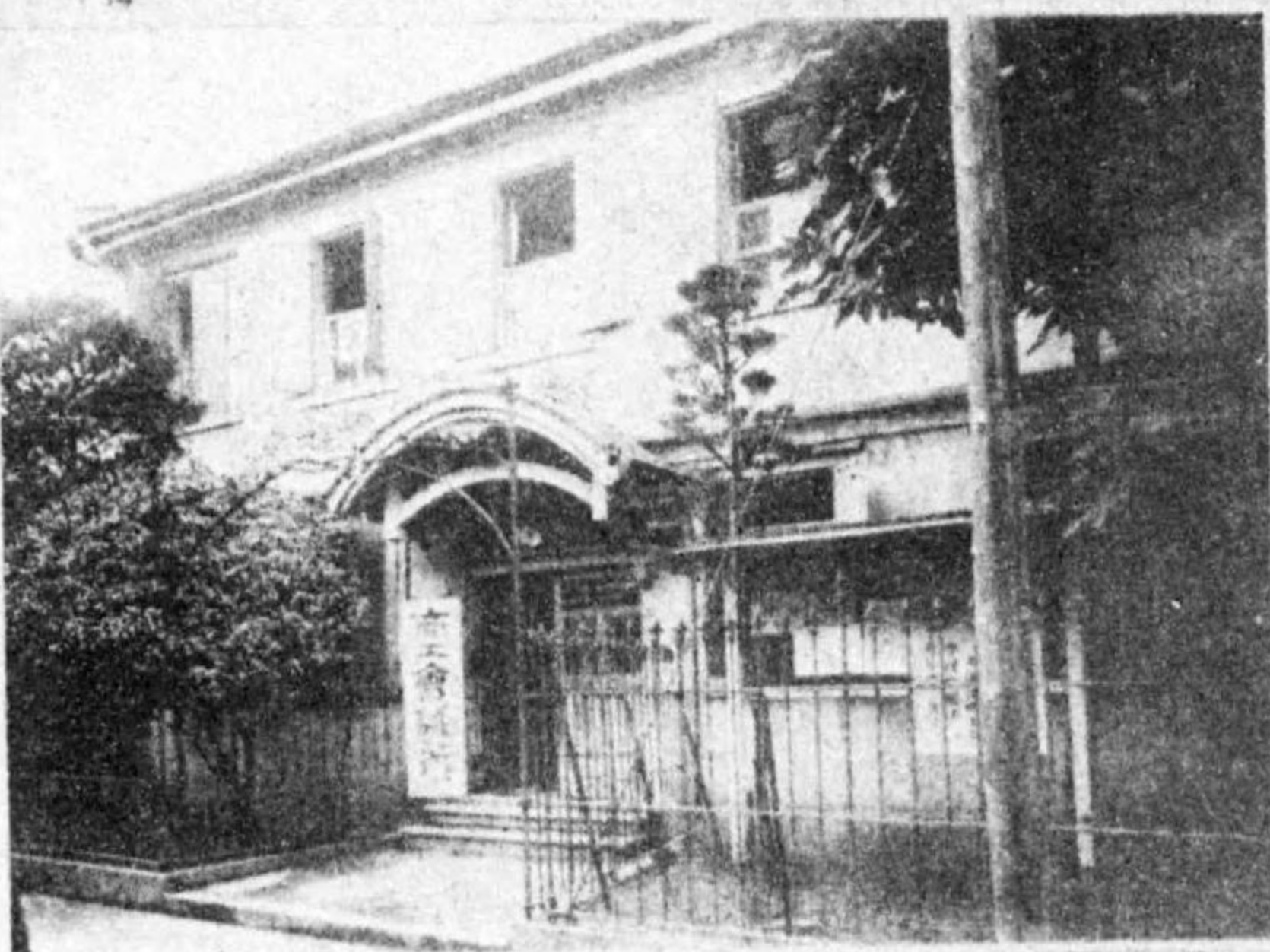
特211  
411



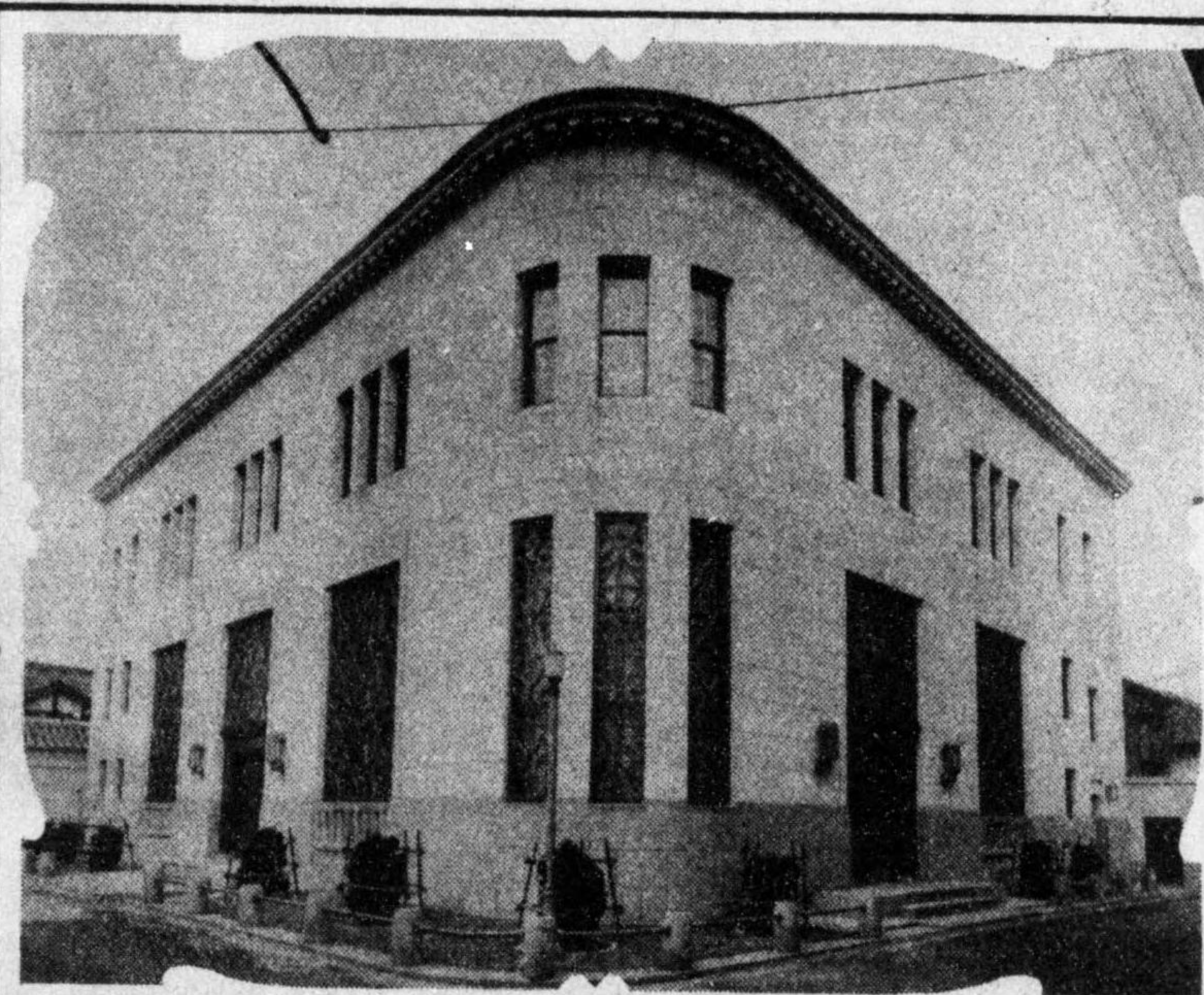
八幡濱市役所



八幡濱警察署



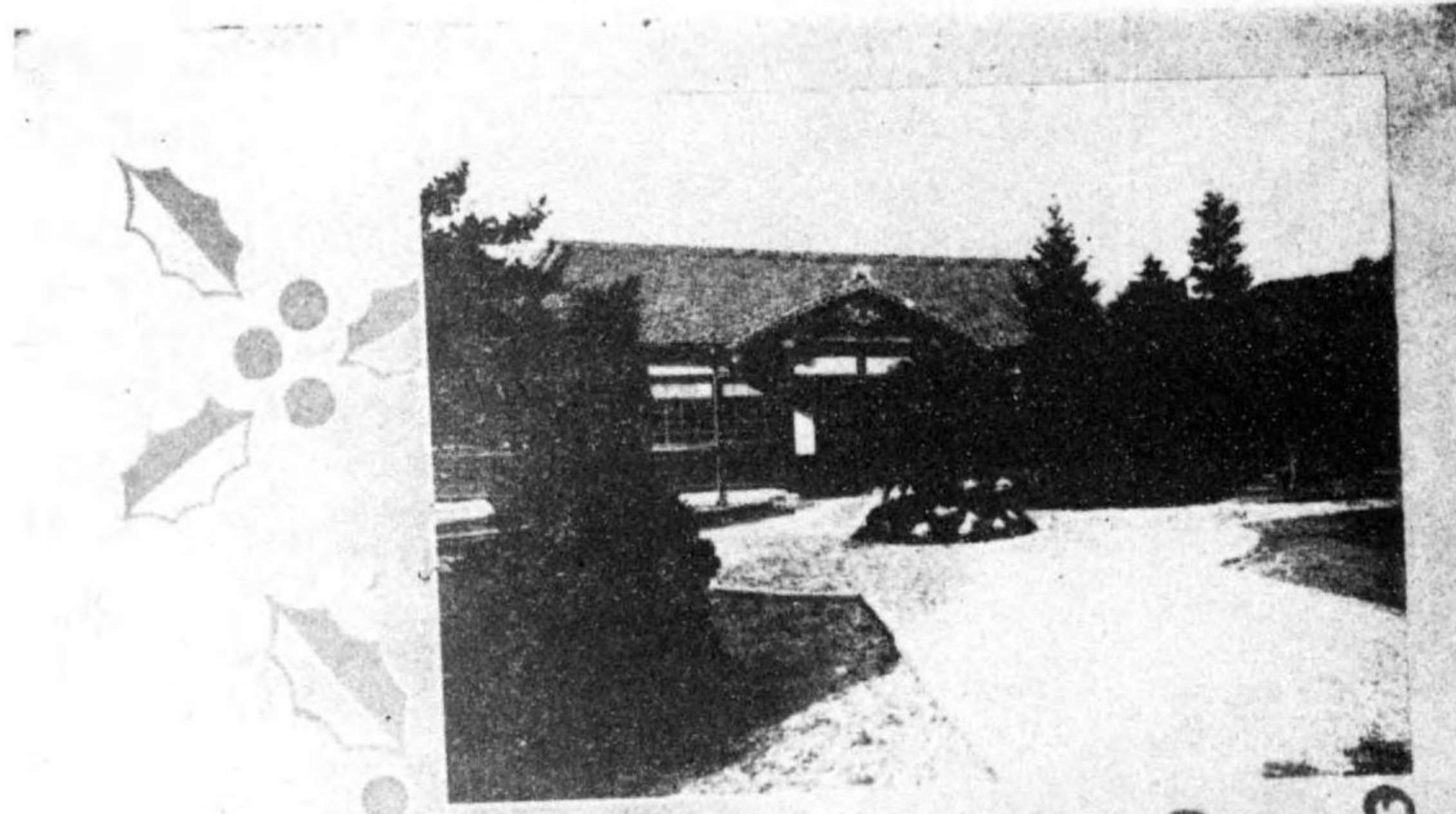
八幡濱商工會議所



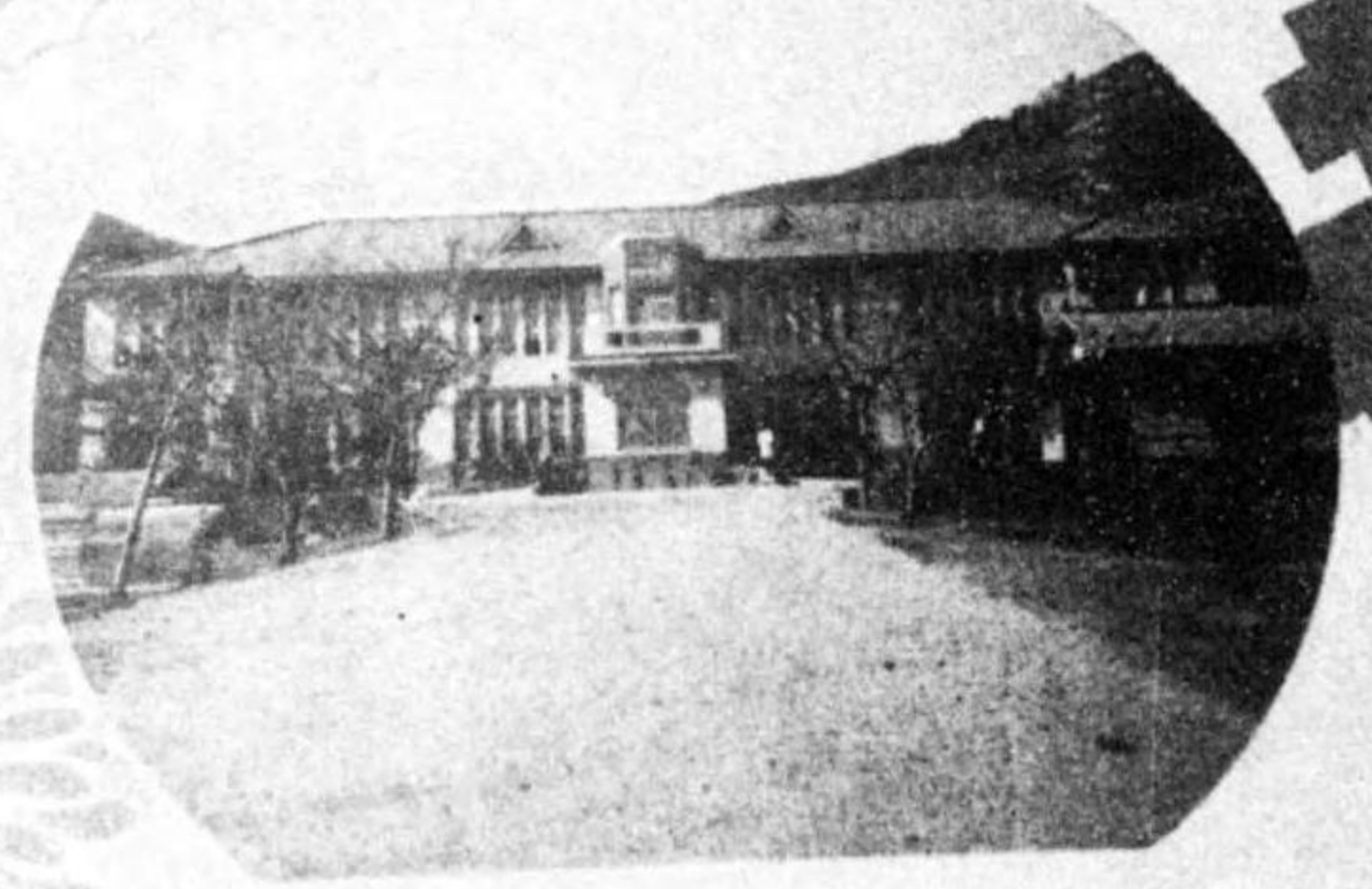
社 會 式 株

# 行銀州豫

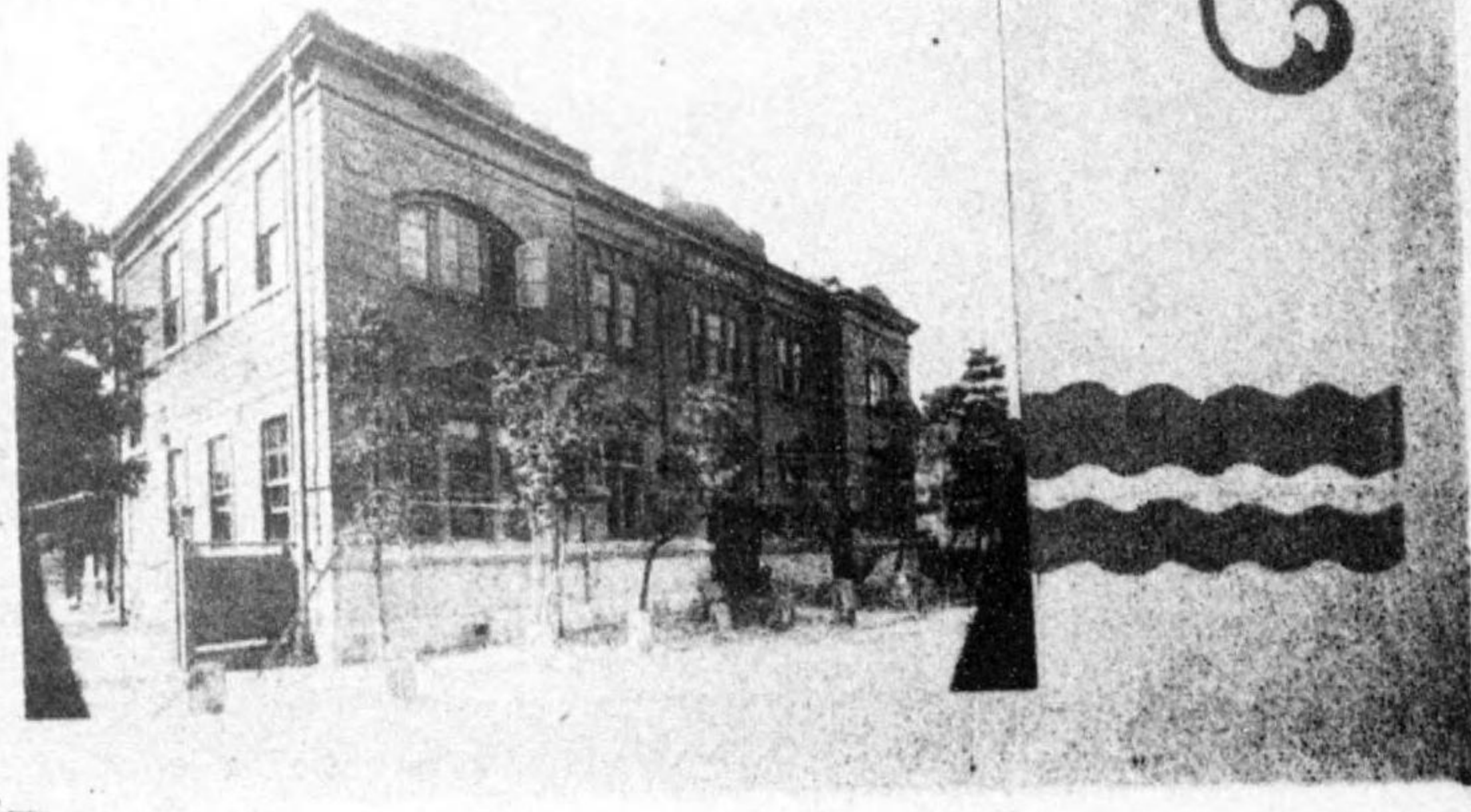
市濱幡八縣媛愛



八幡濱區裁判所



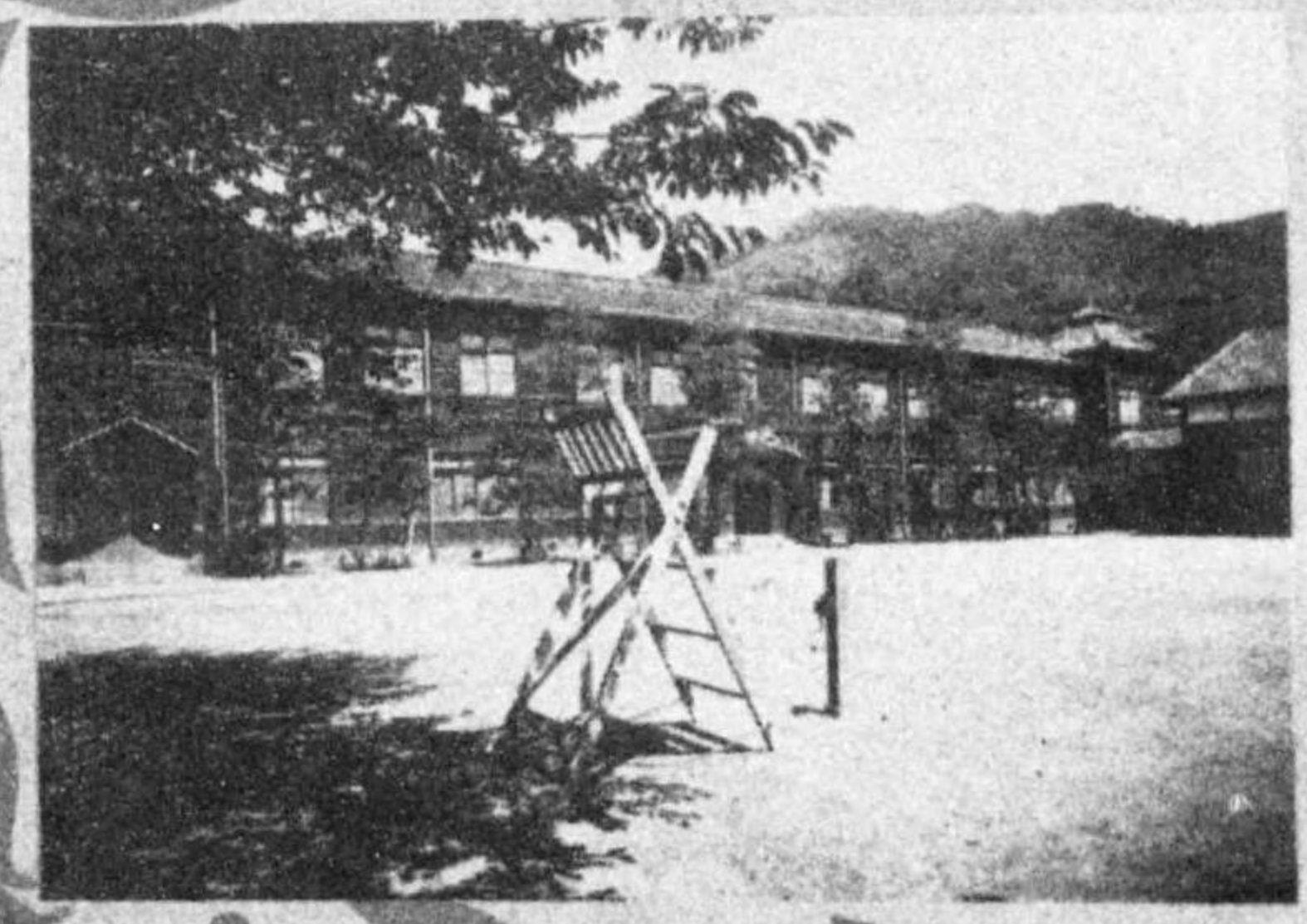
市立八幡濱病院



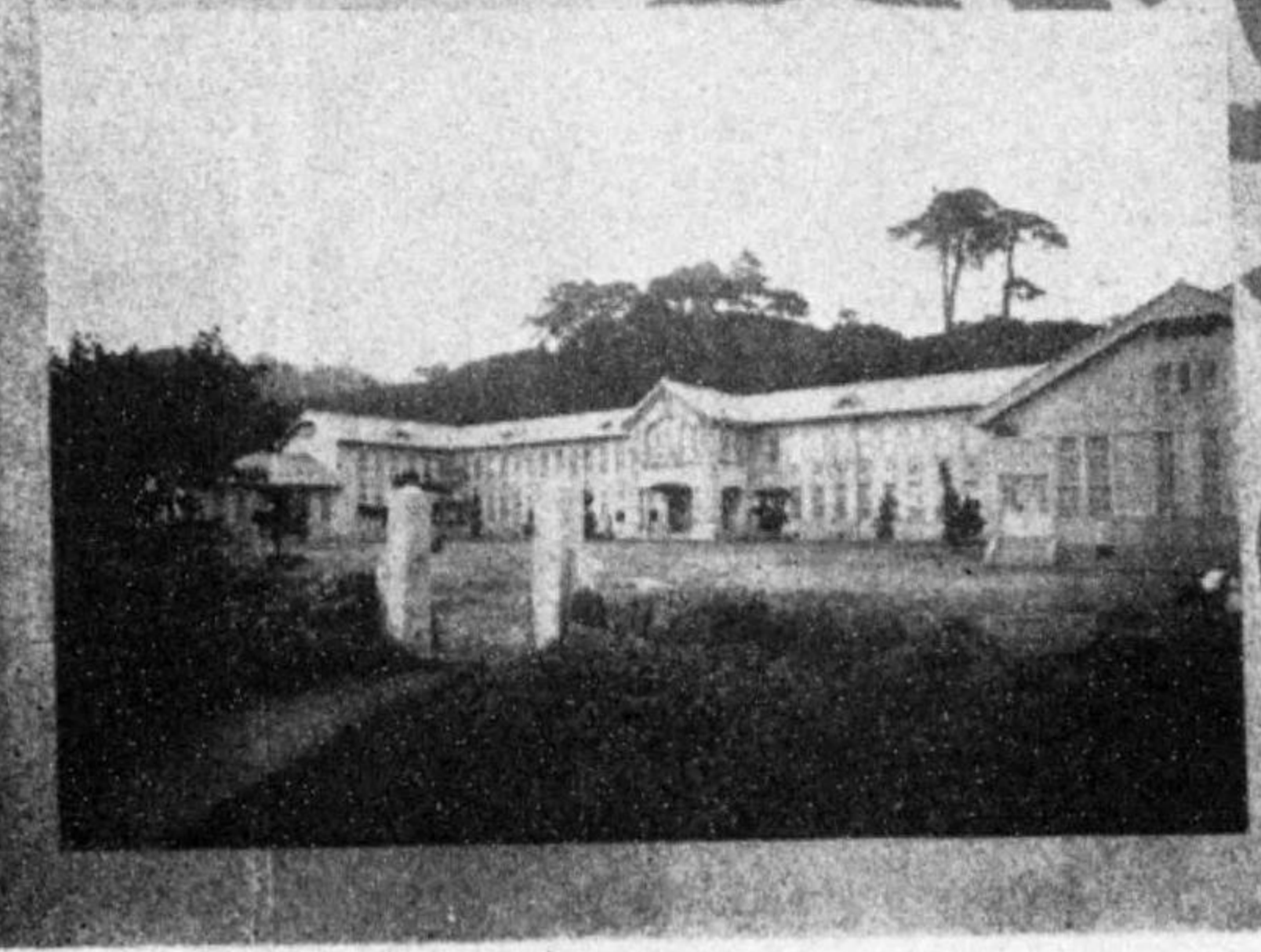
八幡濱稅務署



縣立商業學校



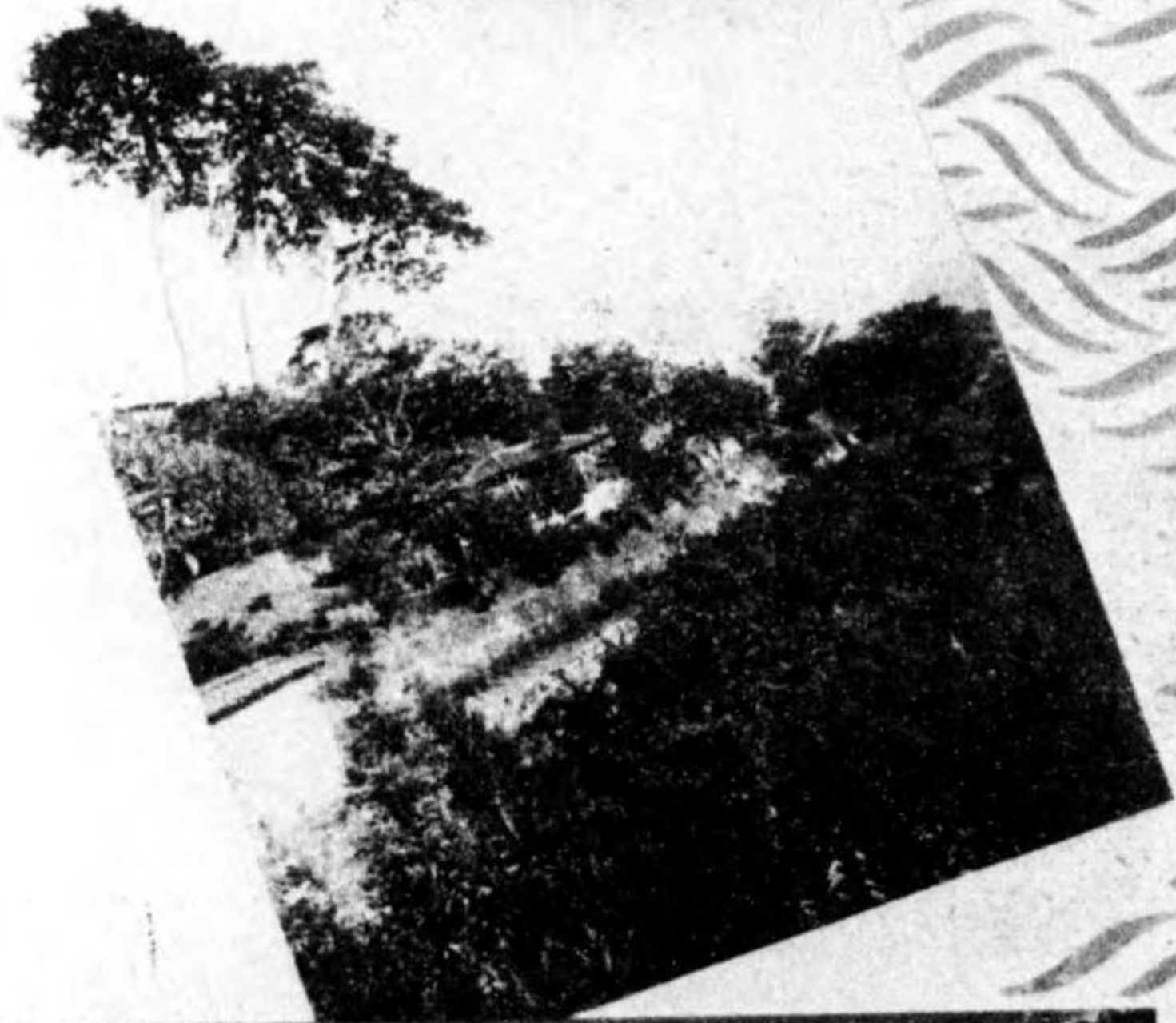
縣立女學校



八幡濱高等小學校



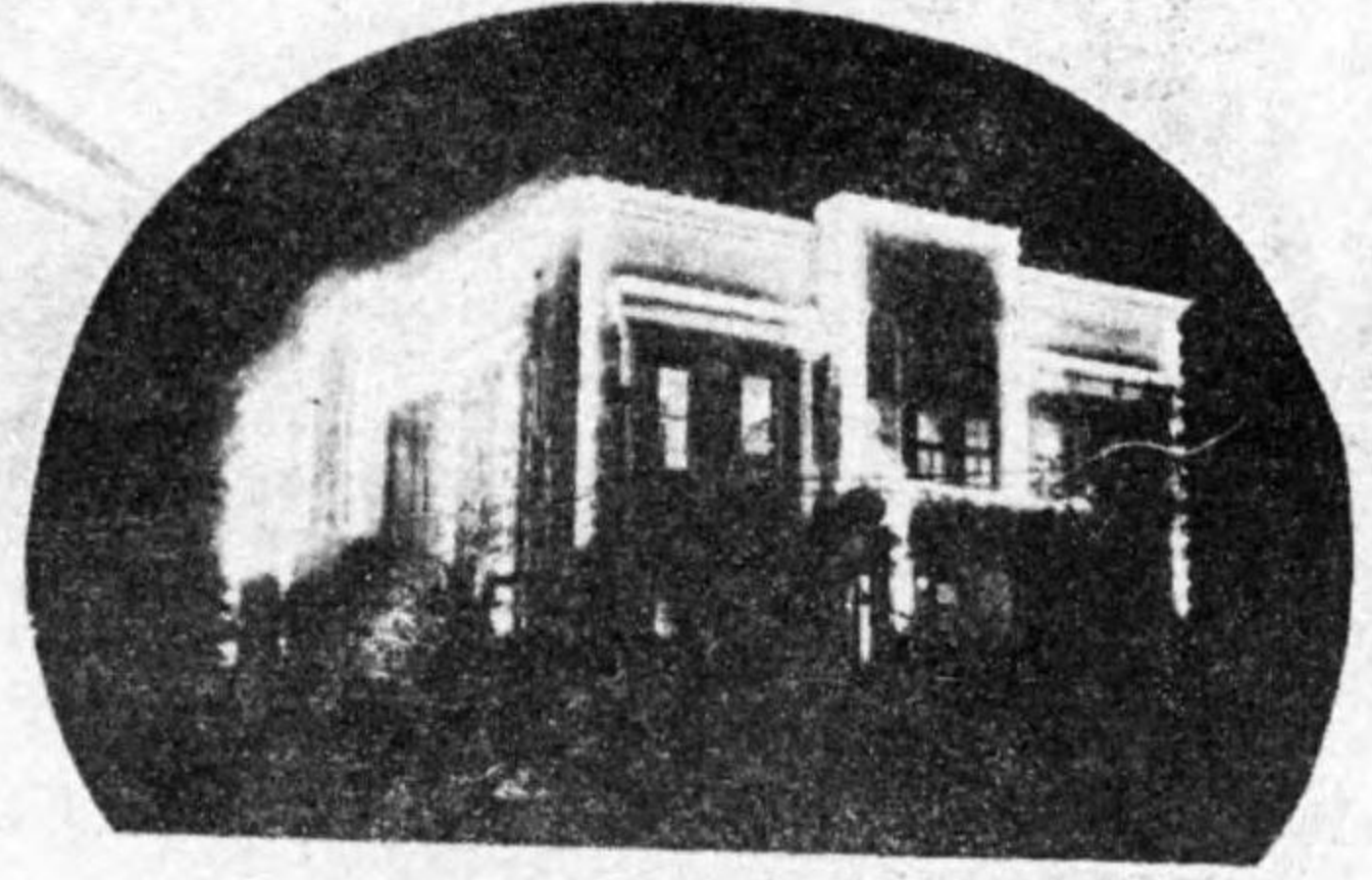
萩森城ヨリ見タル港口



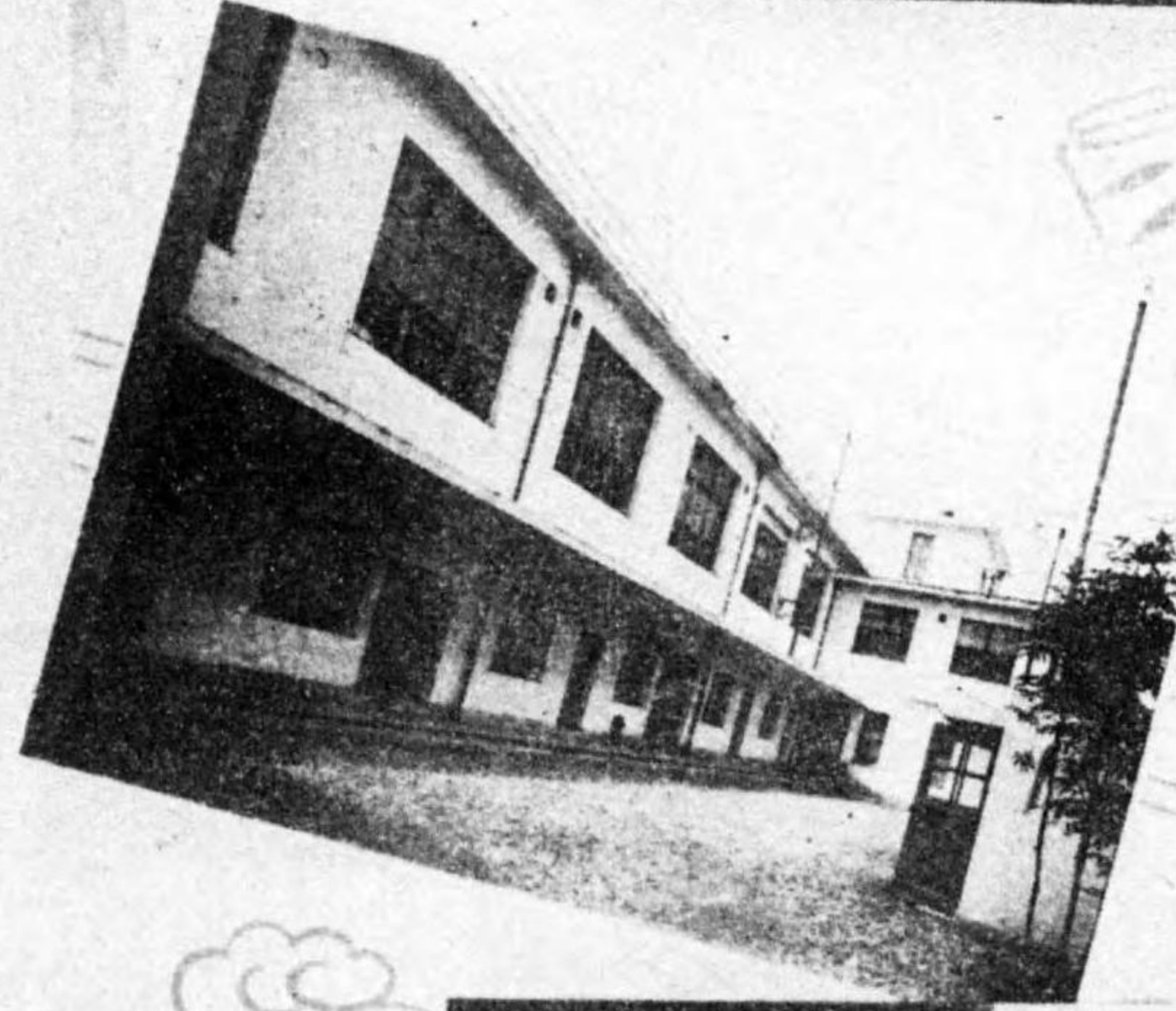
三本松



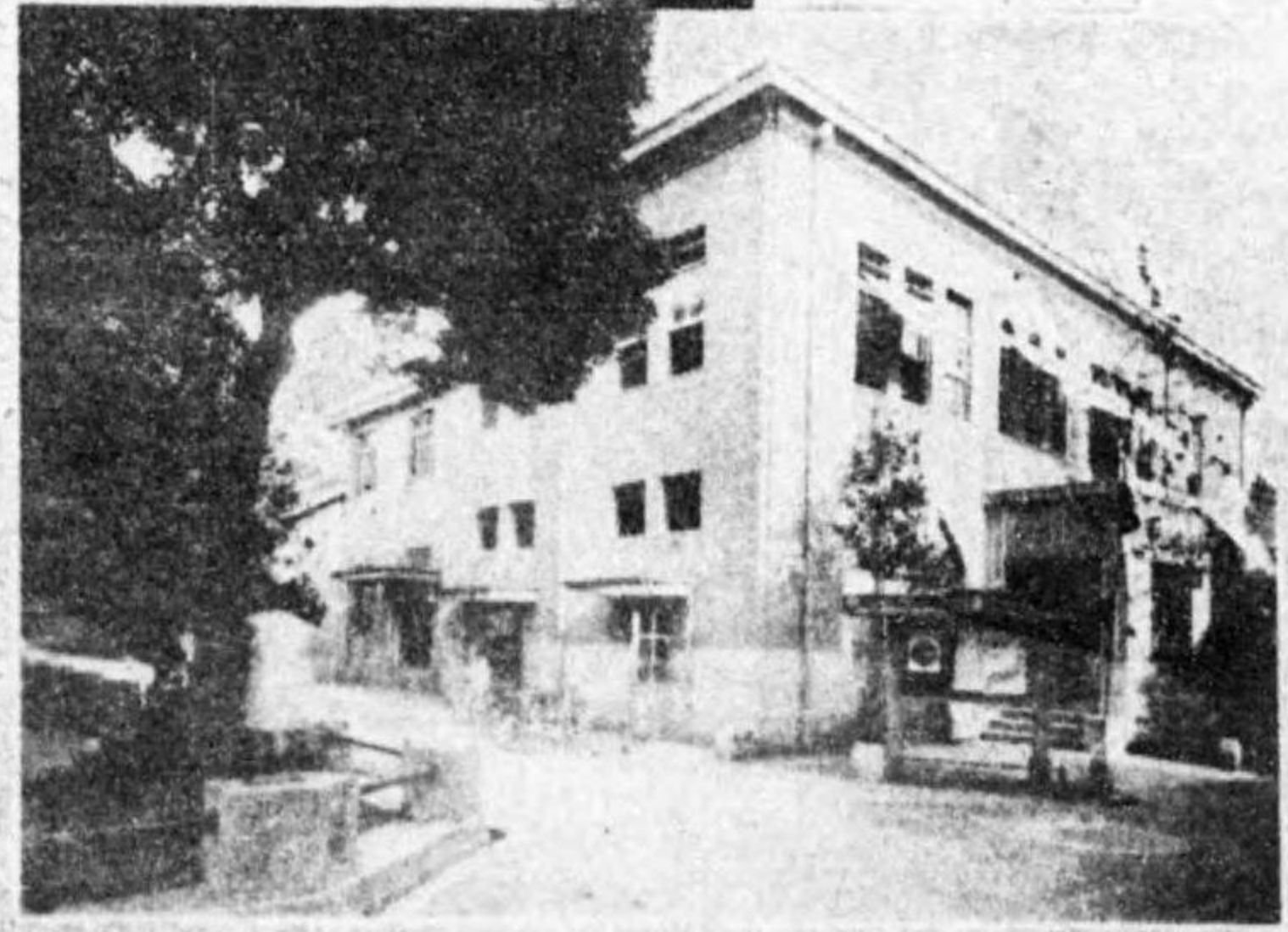
公會堂ヨリ見タル市内



八幡濱市公會堂

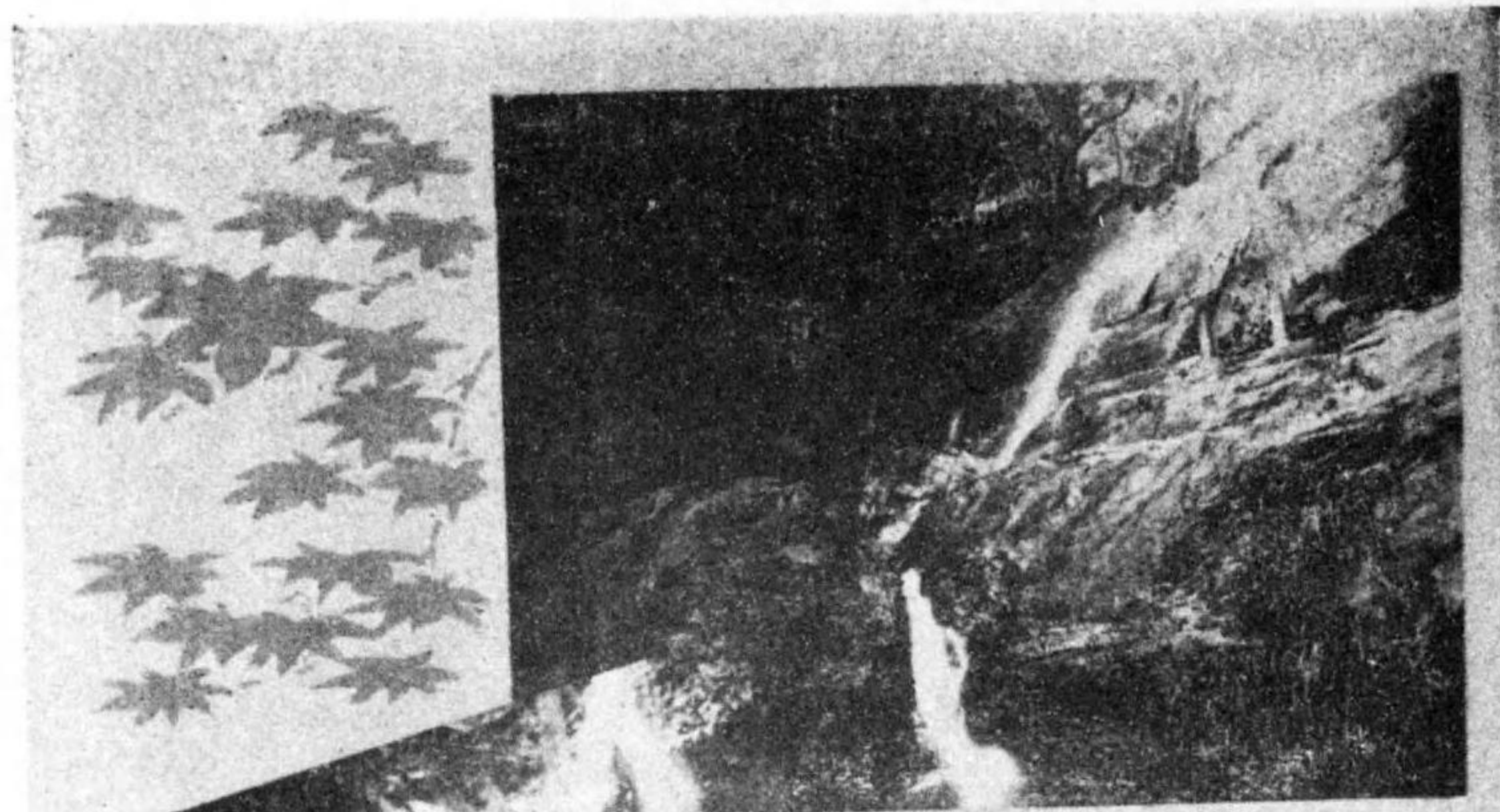


八幡濱電話交換局

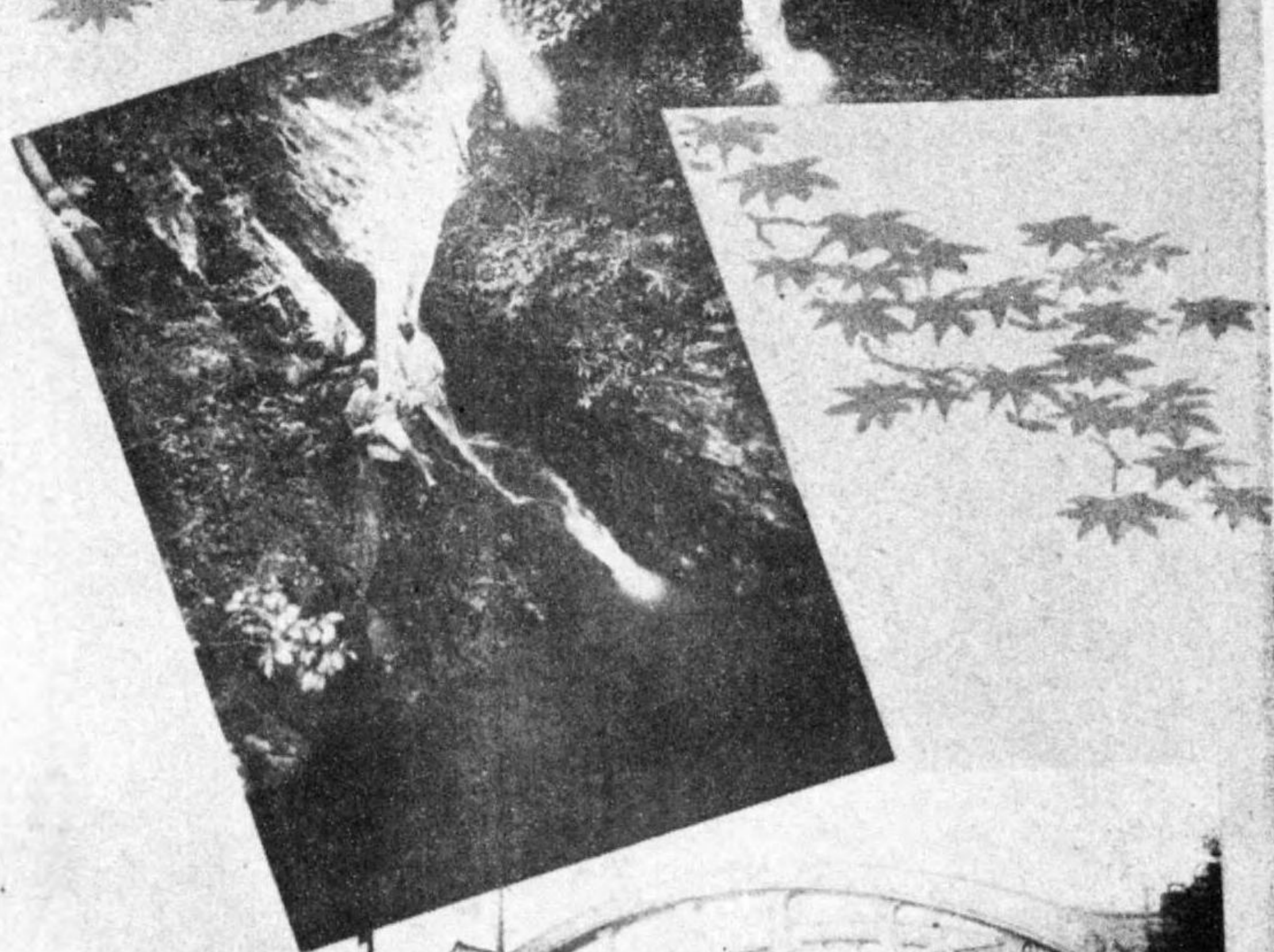


八幡濱郵便局

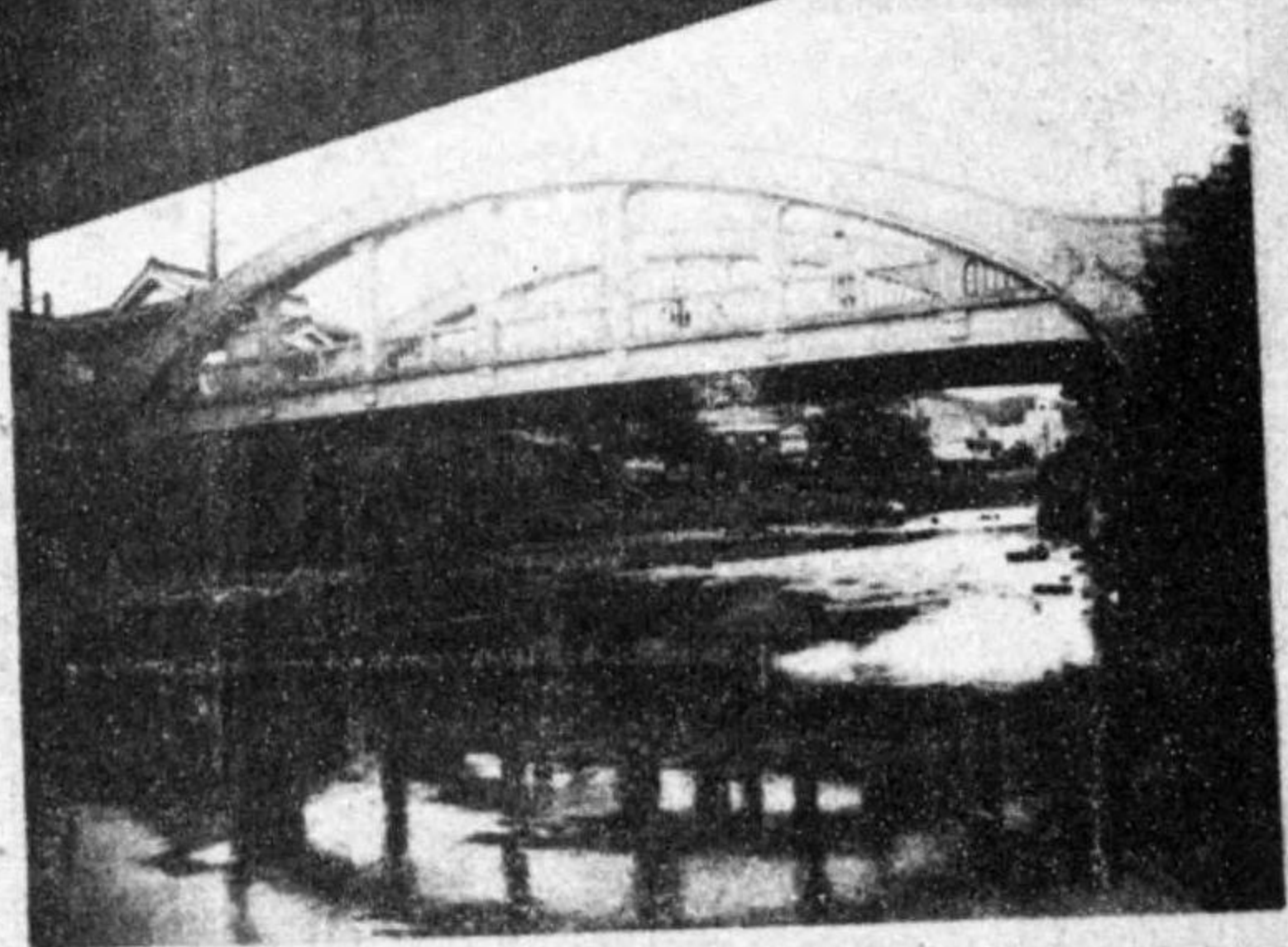




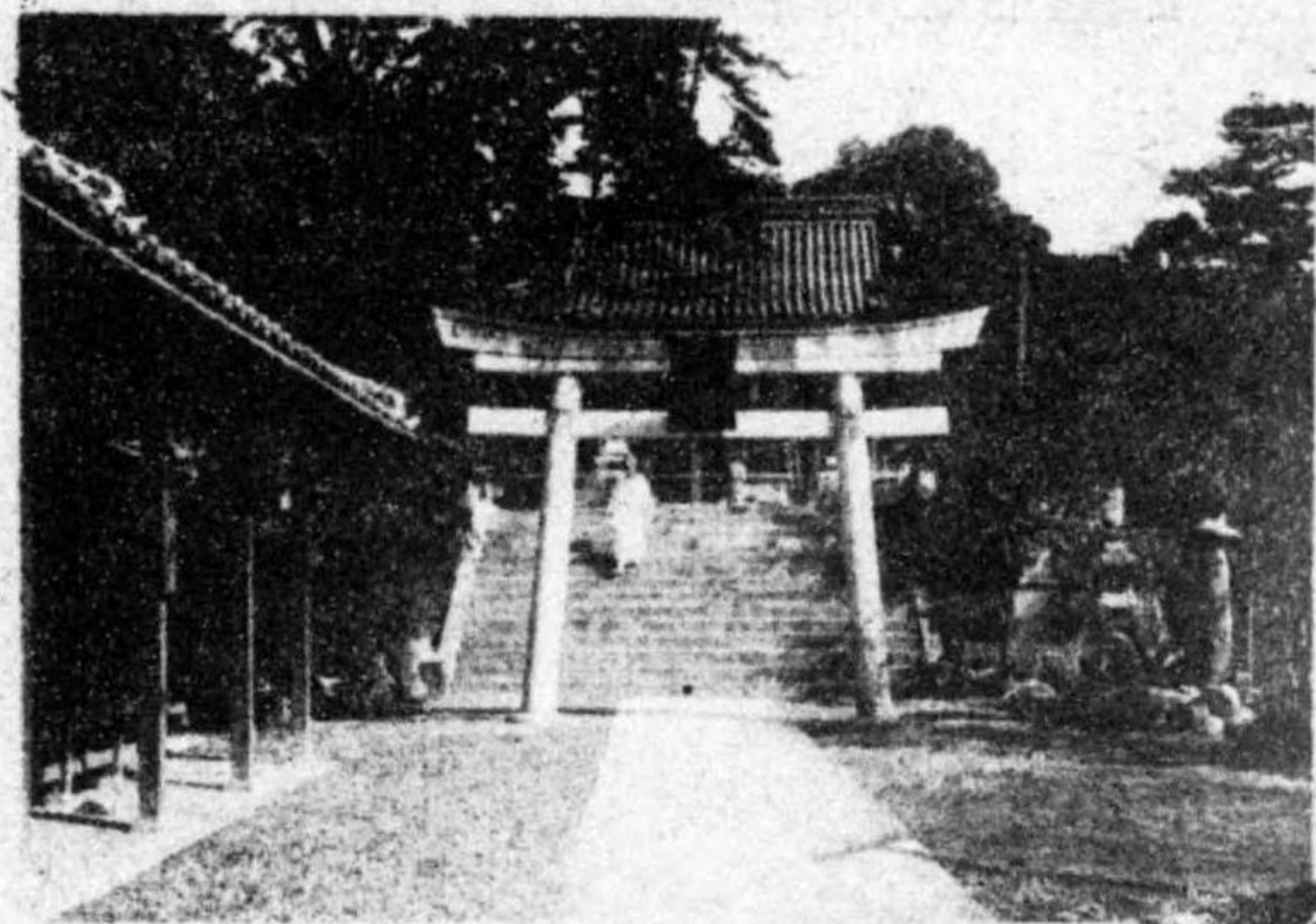
鳥瀧



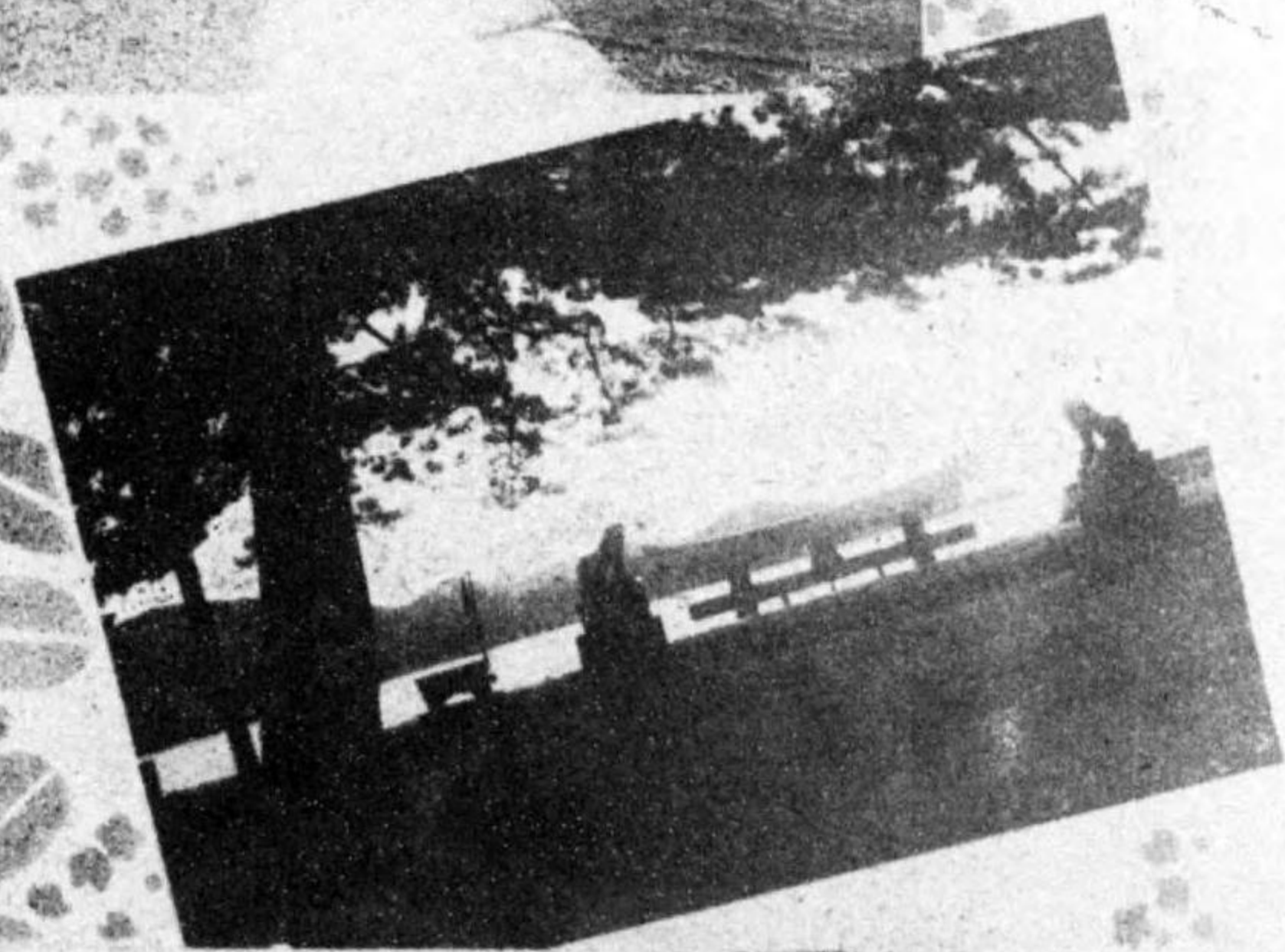
蓋聞ノ瀧



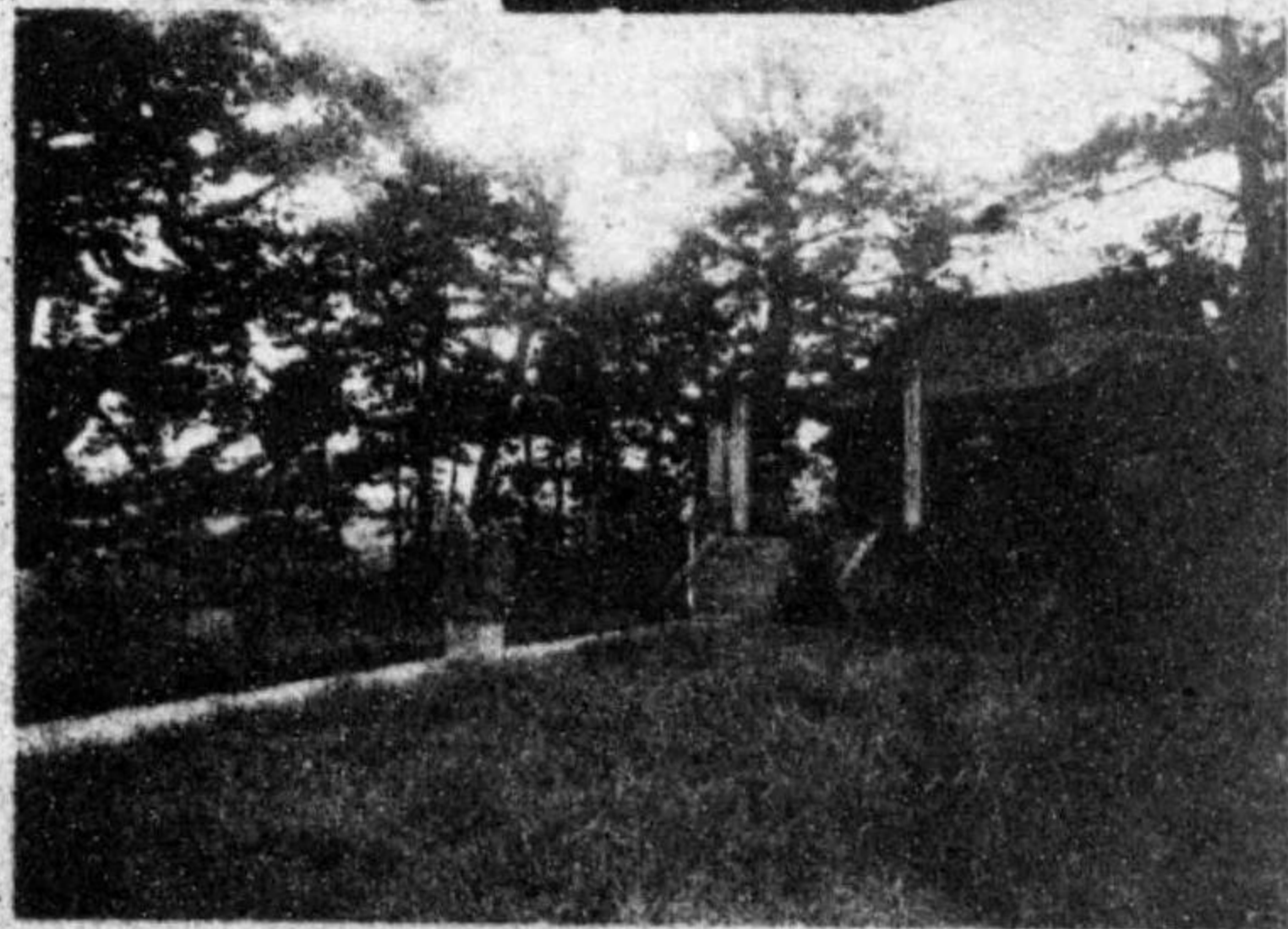
新川ノ清流



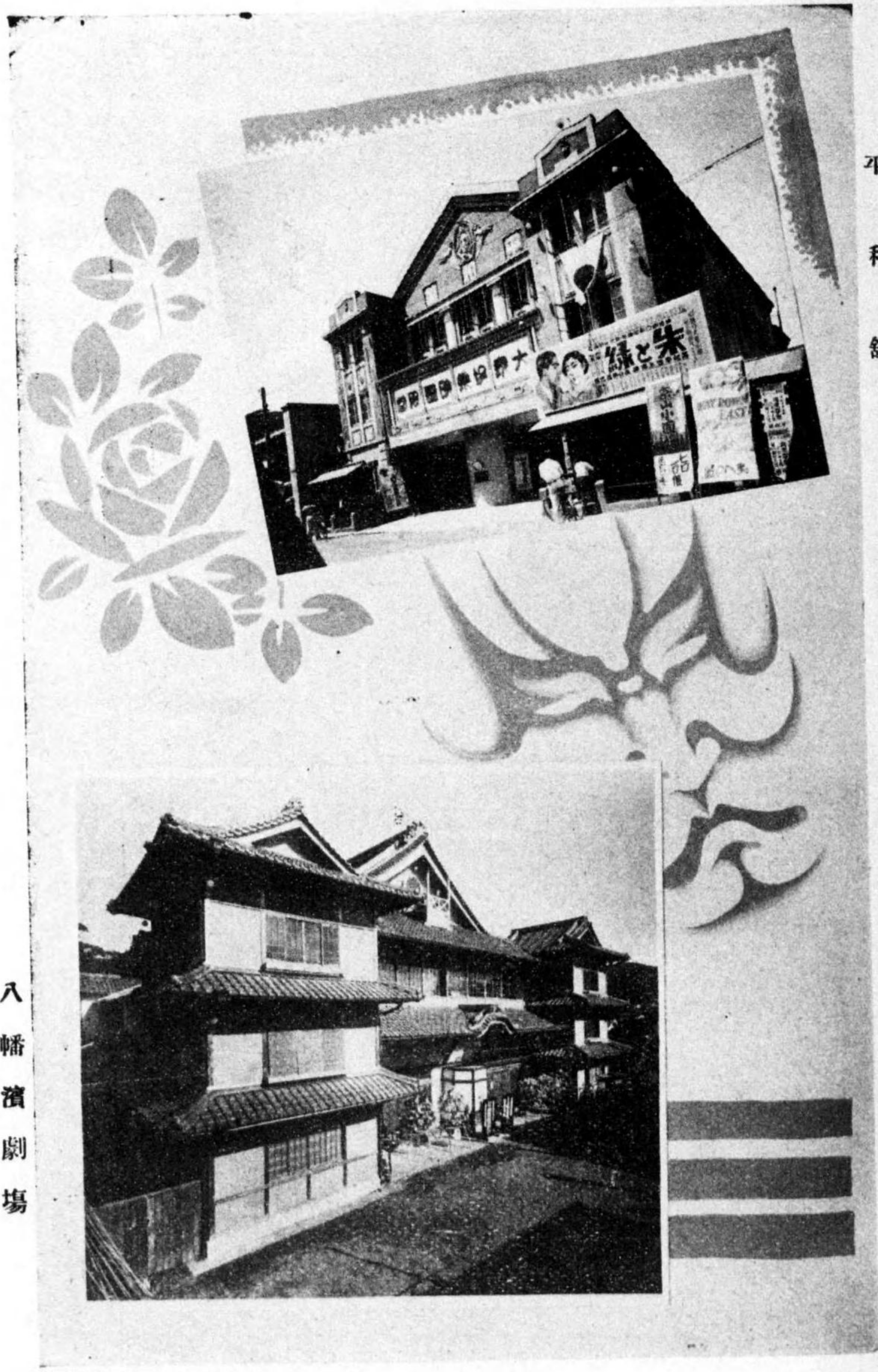
縣社八幡神社



舌間宮島神社

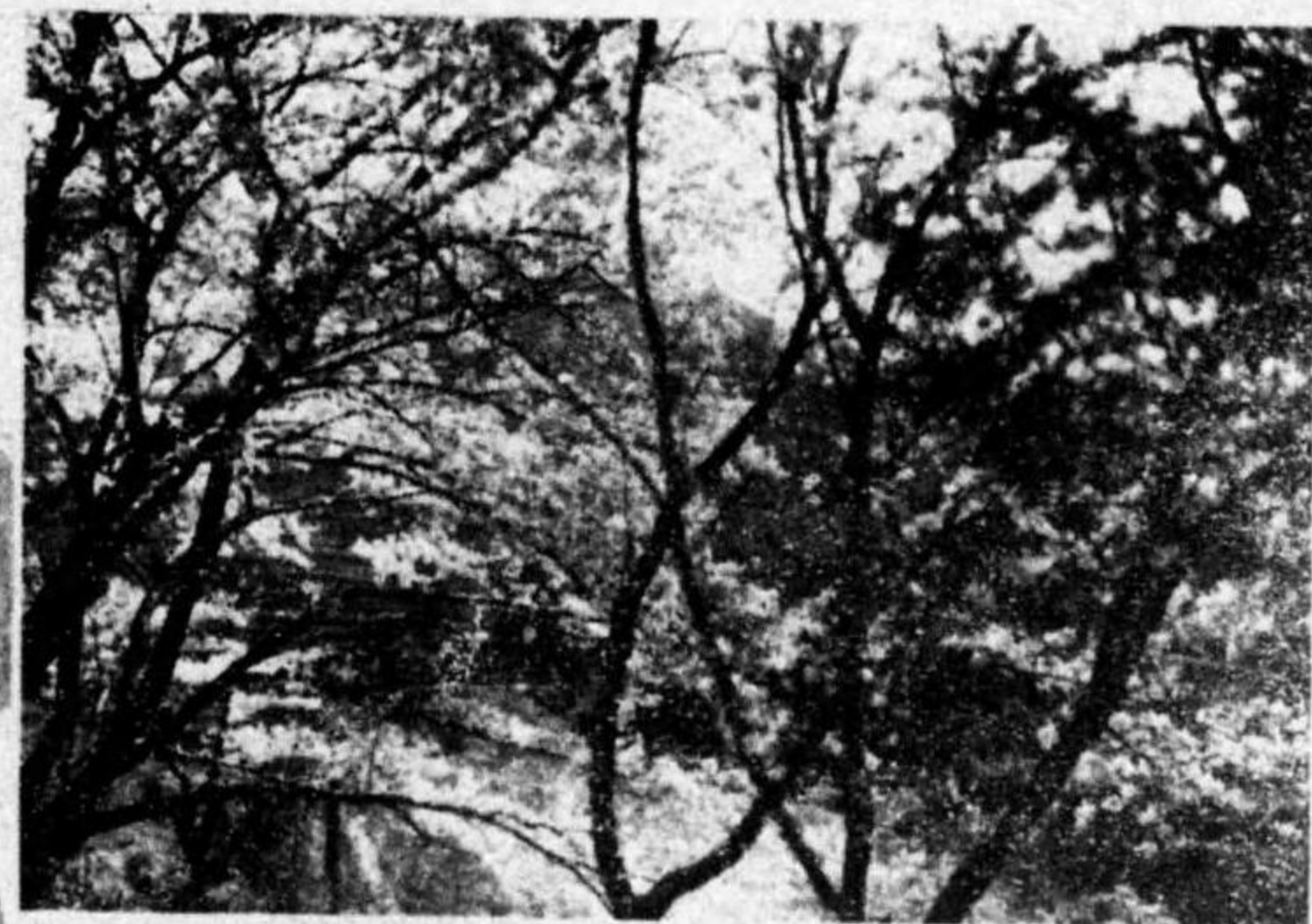


萩森城趾



平和館

八幡演劇場



大洲街道ノ櫻



八商校庭ノ櫻



斐光園ノ櫻



江西山大法寺



愛染堂



諏訪崎遠望

山月居士  
松山 廣島 山口 大分 宮崎 高知

愛媛縣大法寺本山開山師傳  
師諱玄誠 初名彌繼 其在金山日支節 在華開日輝照  
並遊同名也 字本山 號不輪庵 以天保八年十二月生  
天資穎敏 氣宇英邁 有曠世之度 年十三 投入釋教  
大法寺 禮理谷長範師 年十八 遊街肆 受業儒宗  
竹內蓬州 州稱其俊才 居四年 學成而歸 而以未明  
內典為憾 於是復遊 宇城金剛山 謁臨巖 繼一見高  
許命侍巾履 策勳切至 特為師務 務經緯等經典  
(以下略)

昭和十二年十月二十六日豐後安部司令部發回書

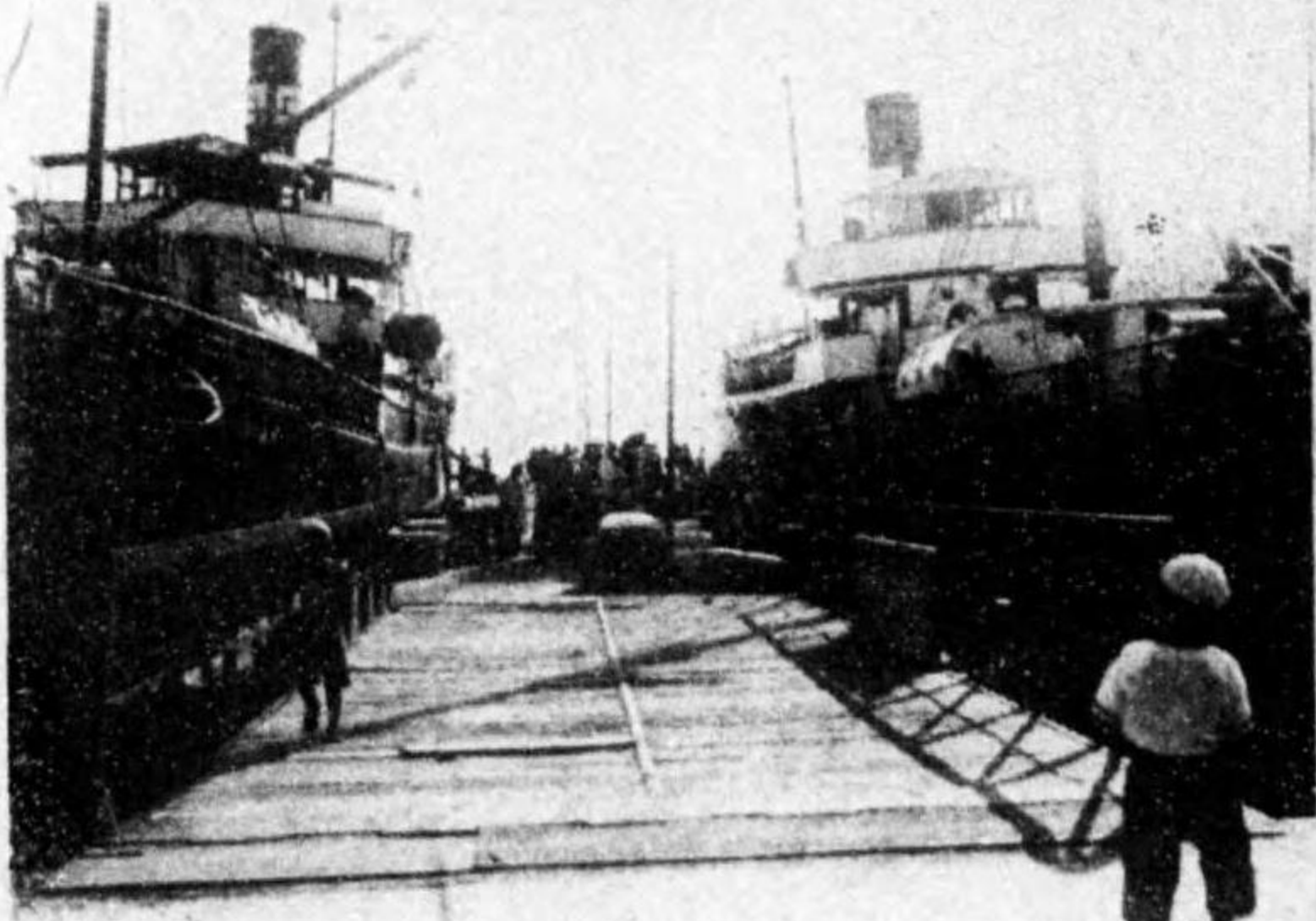
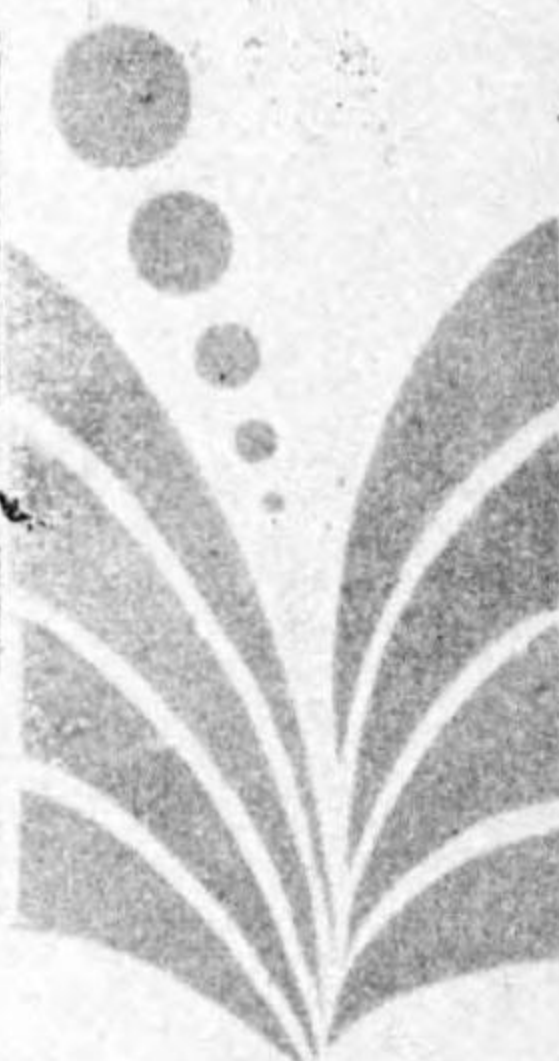
八幡濱港ハ對岸九州トノ海  
路連絡線ニ其非距離キ事海  
國ノ示ス處ニシテ之ヲ所  
要時間半ナリ アカツク  
三時間半ナリ  
國道松山八幡濱線 昭和十  
三年三月開通ノ際ニシテ  
八幡濱線工事亦着々進中  
ナリ  
之ヲ開通スルハ四國東端  
徳島ヨリ西端八幡濱ニ至キ  
表陸線ノ全通ナリ當ツテ  
本洲 四國 九州間ノ循環連  
結ハ始メテ完成シ交通上ノ  
利便ハ勿論國防軍事上莫ク  
重要ナル役割ヲ有スルモ  
ナリ



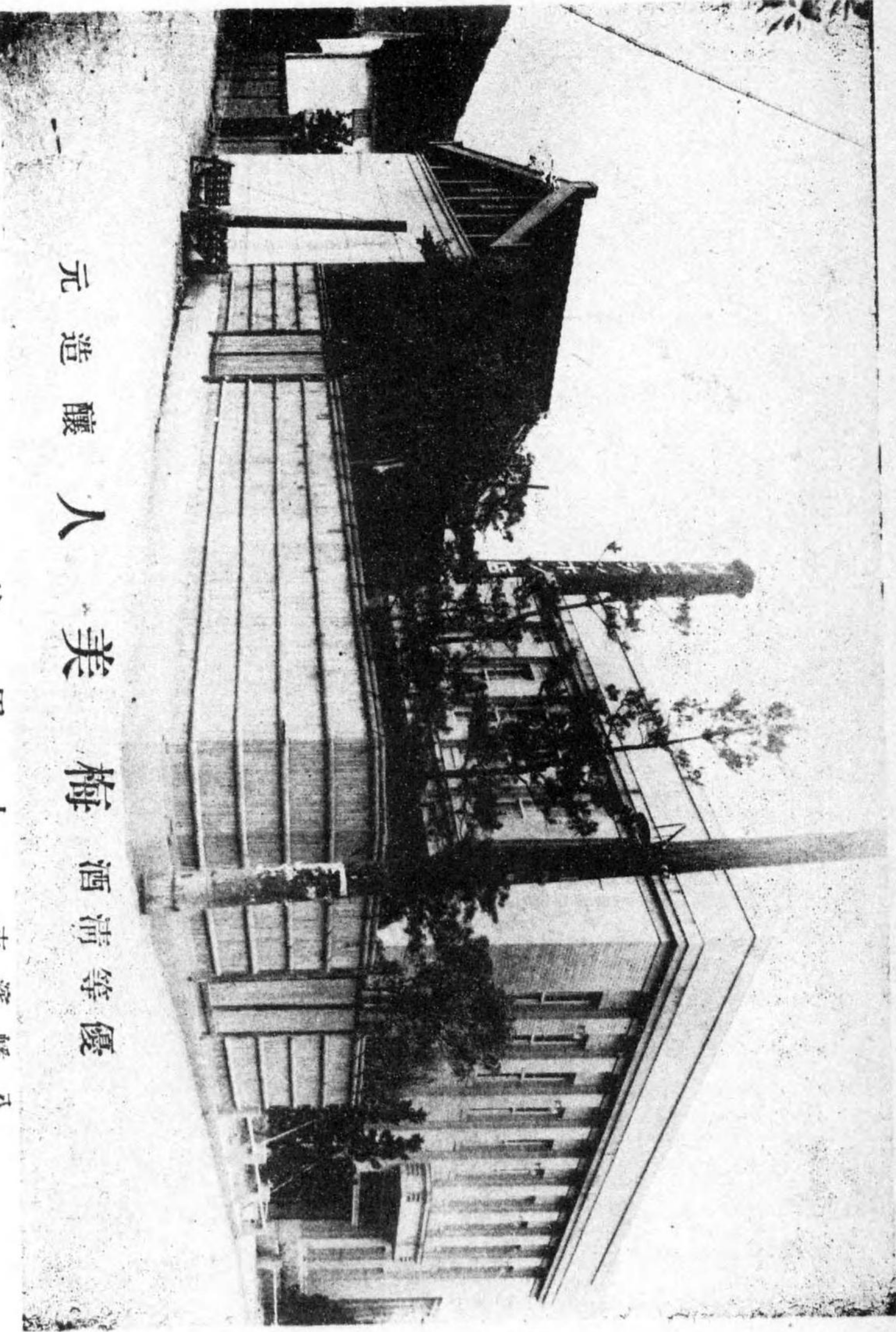
市内新町通



市内矢野町通



八幡濱棧橋



元造釀人美梅酒清等優

番二一三園話電 一 梅 田 上 市 濱 幡 八



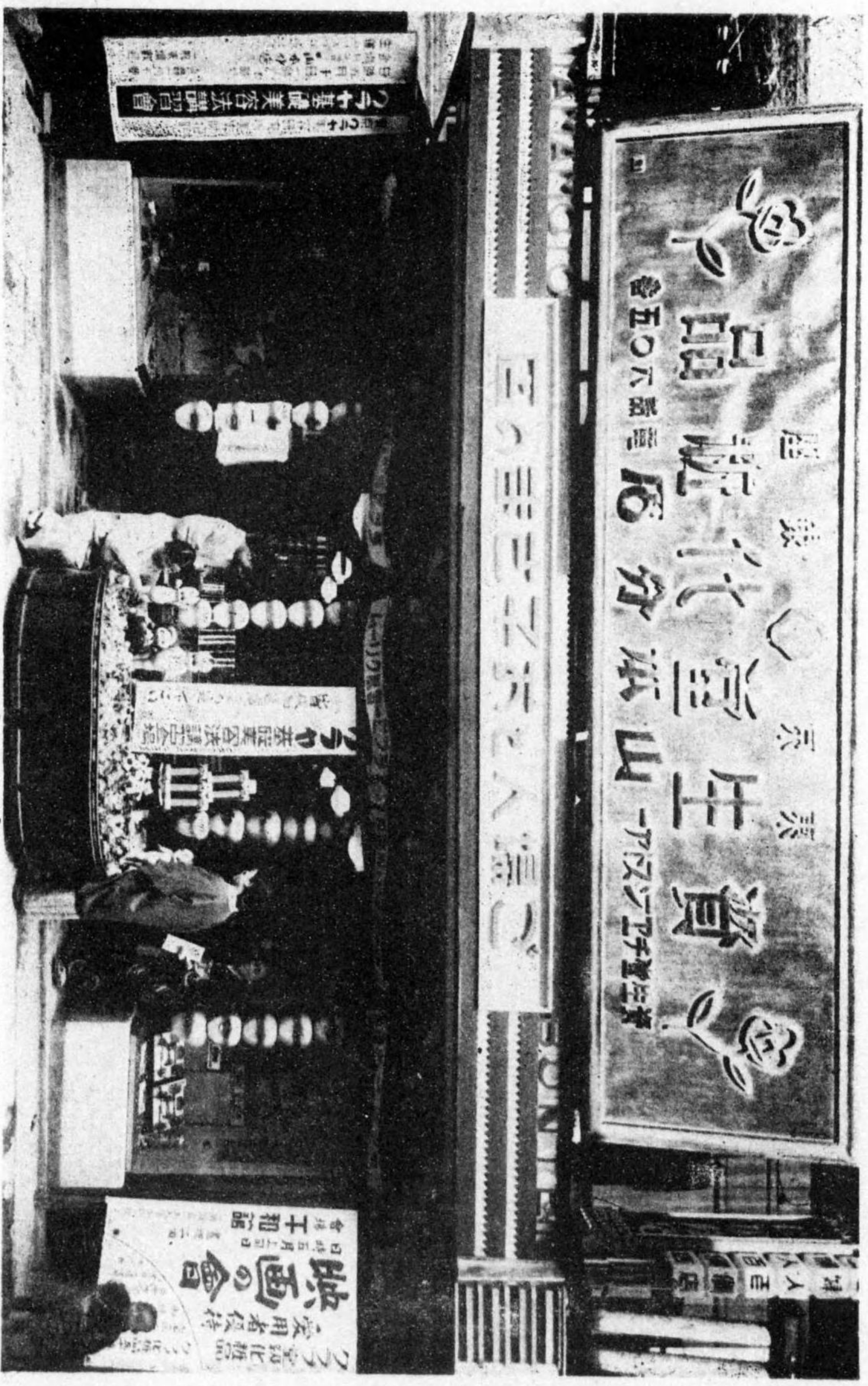


御菓子處

八幡濱市船場通 さねや 電話三五〇番



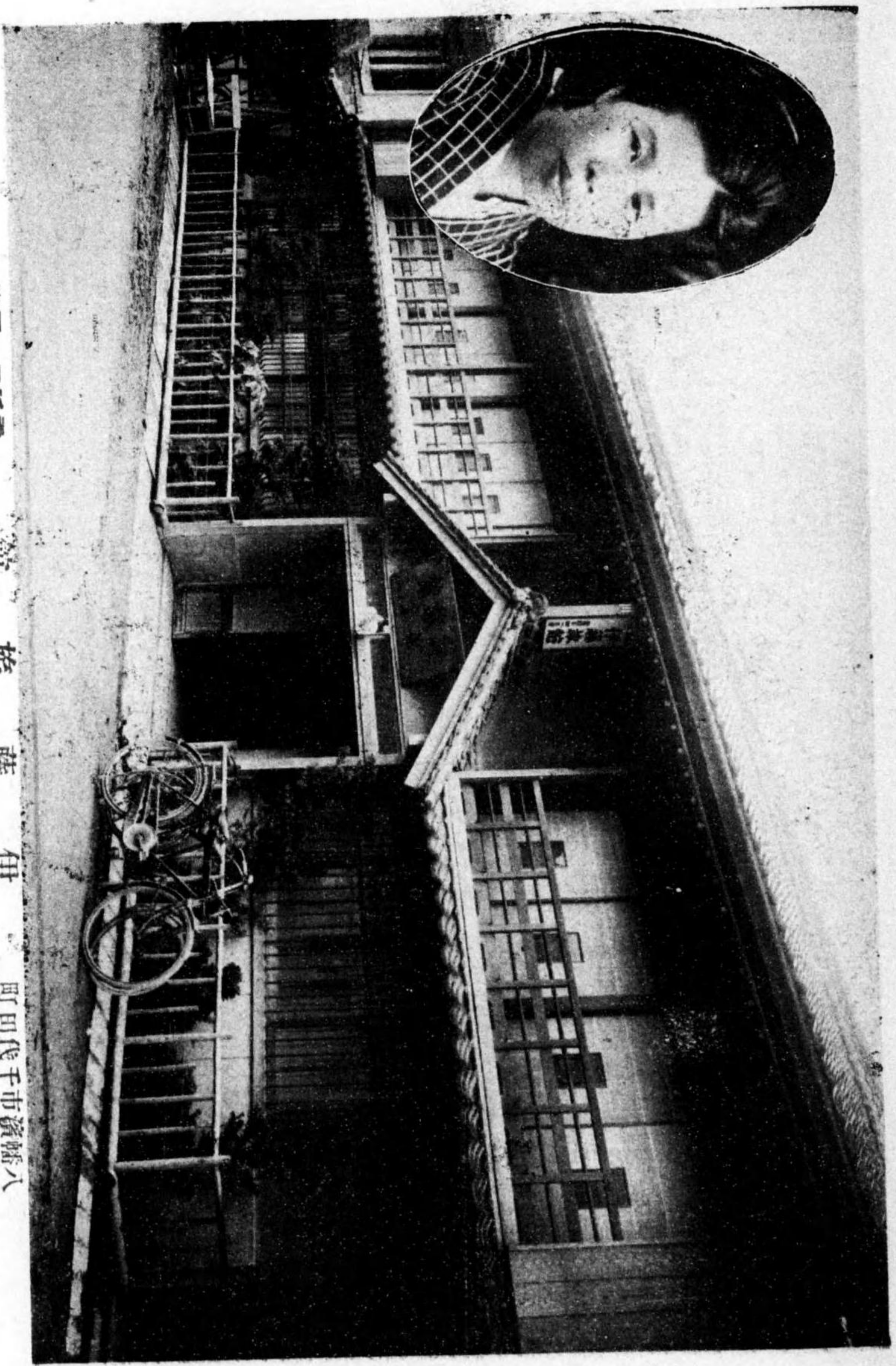
八幡濱市矢野町 毛利自轉車店 電話四〇四番



番五〇六話電

店分本山

市濱新市濱八



番三一巴話電

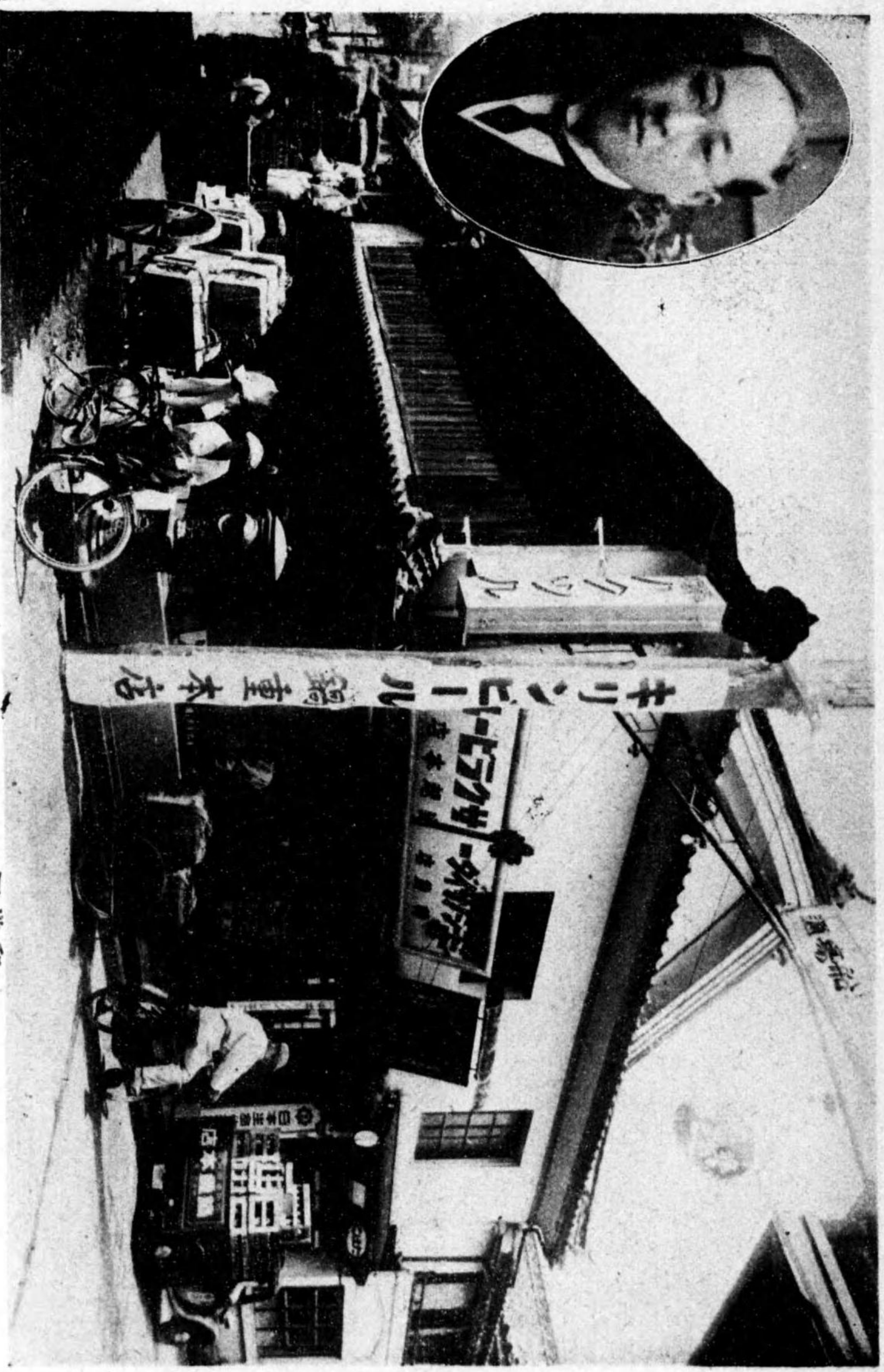
館旅藤伊

町田代千市濱八

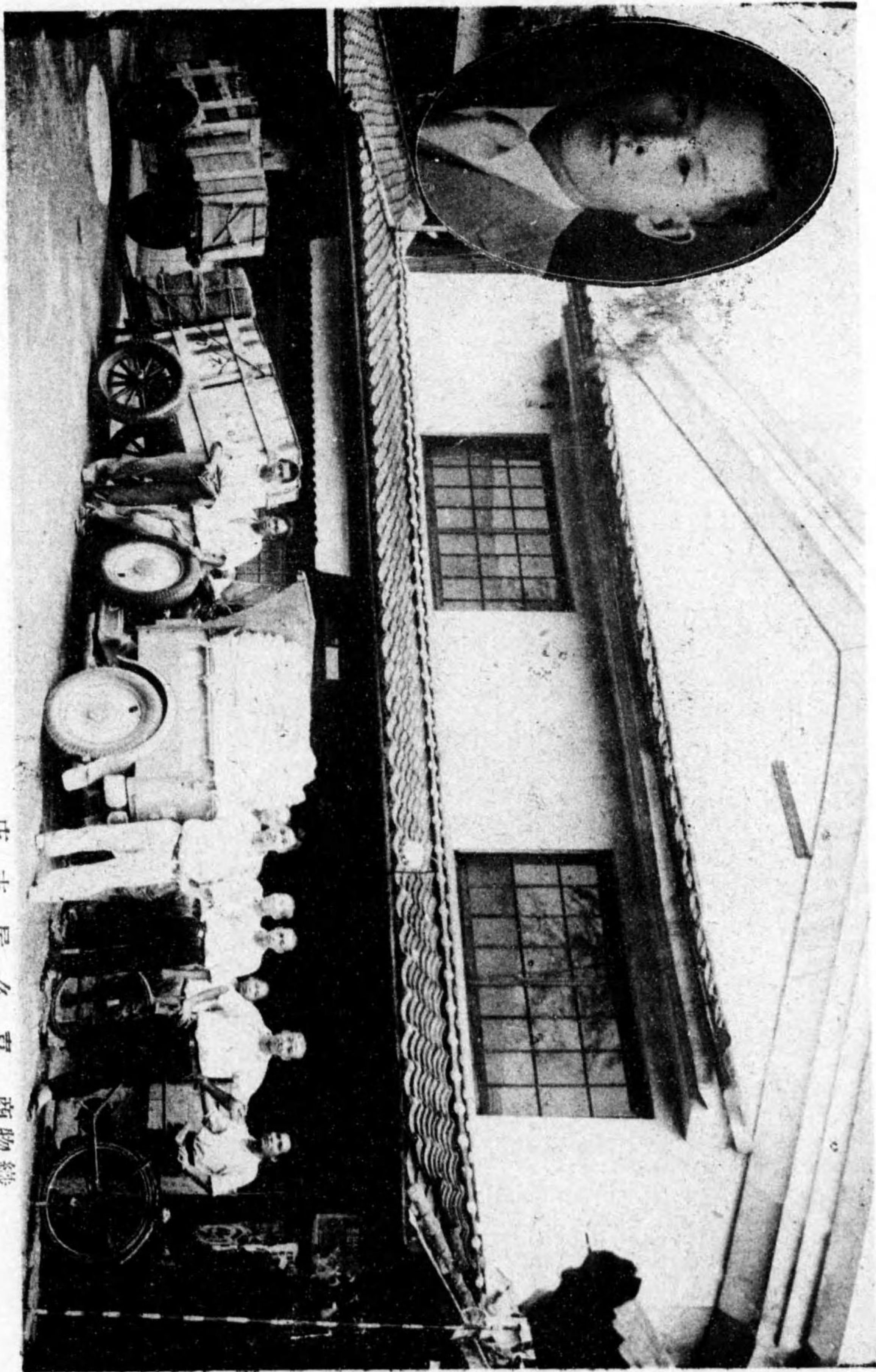


通場船市濱八 高敏清 鑄造製造販賣 高敏清の鑄物 葉主店 鑄

電話 二七〇番 電話 一〇七三番



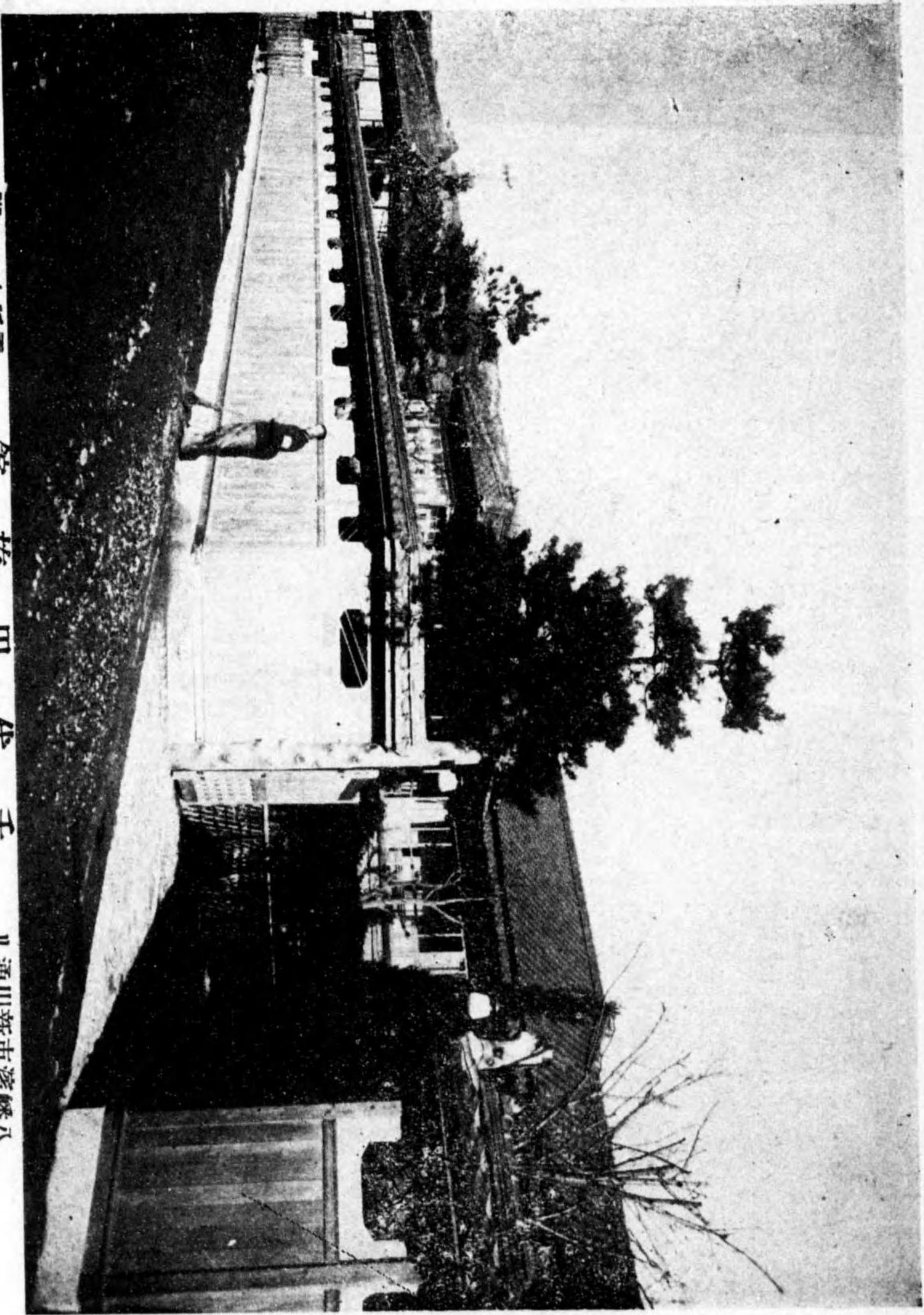
八濱市濱之町 和食洋料商品 鍋重本店 電話三一三番



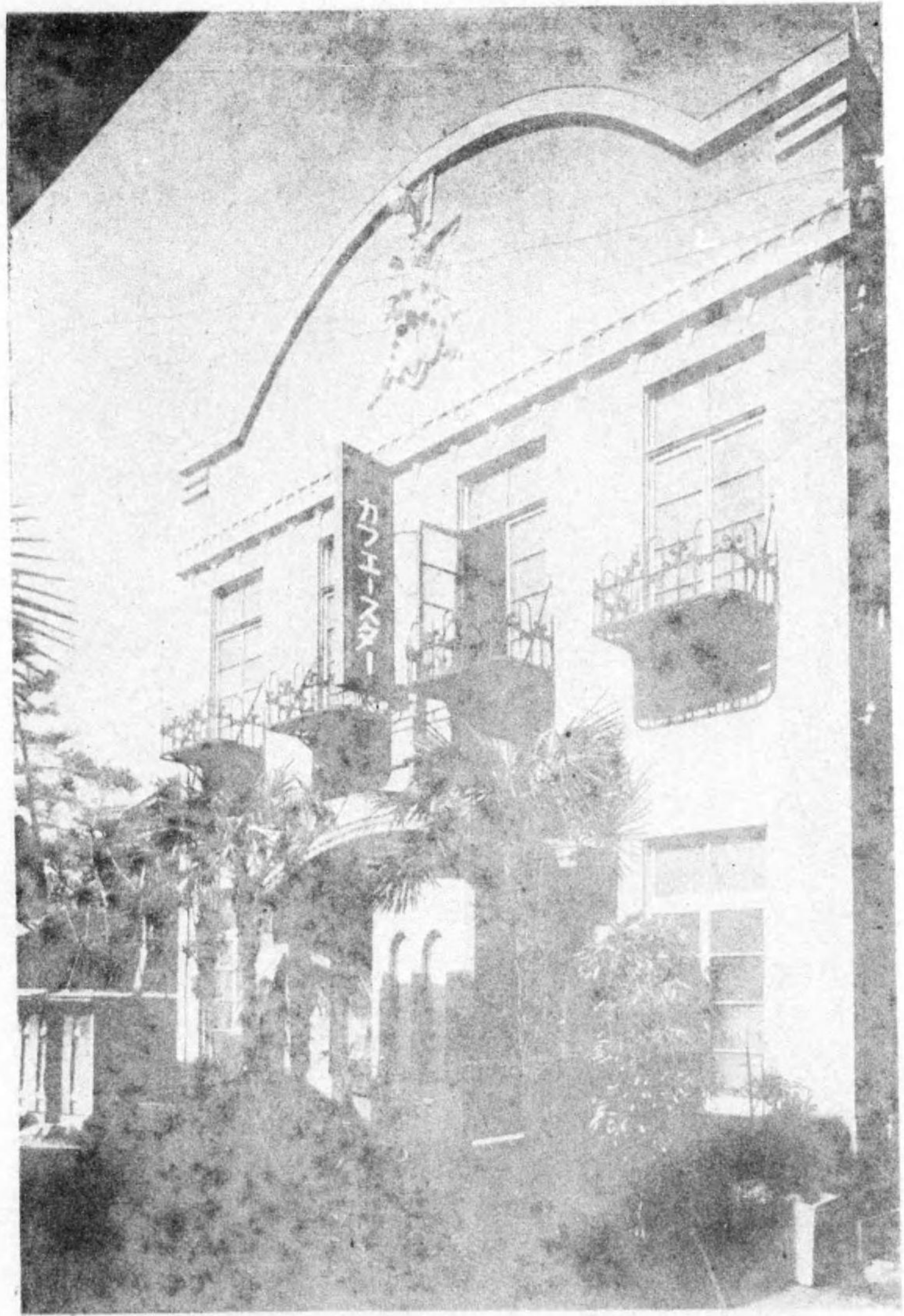
第九六二號 電話  
番五五三九九傳電

一 復

池 店 支 屋 久 喜 商 物 織



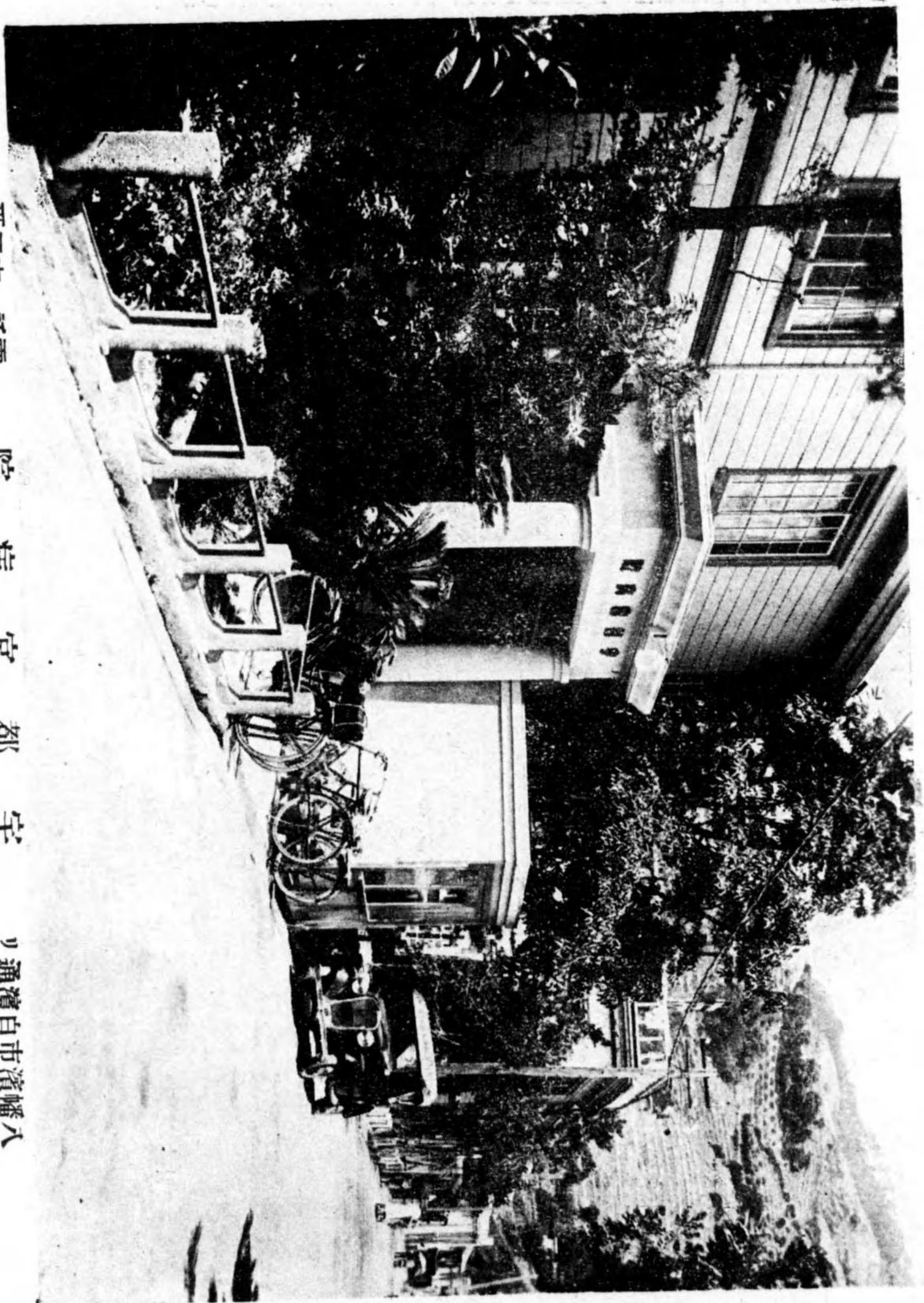
八幡濱市新川通 千代田旅館 電話一六二一 番



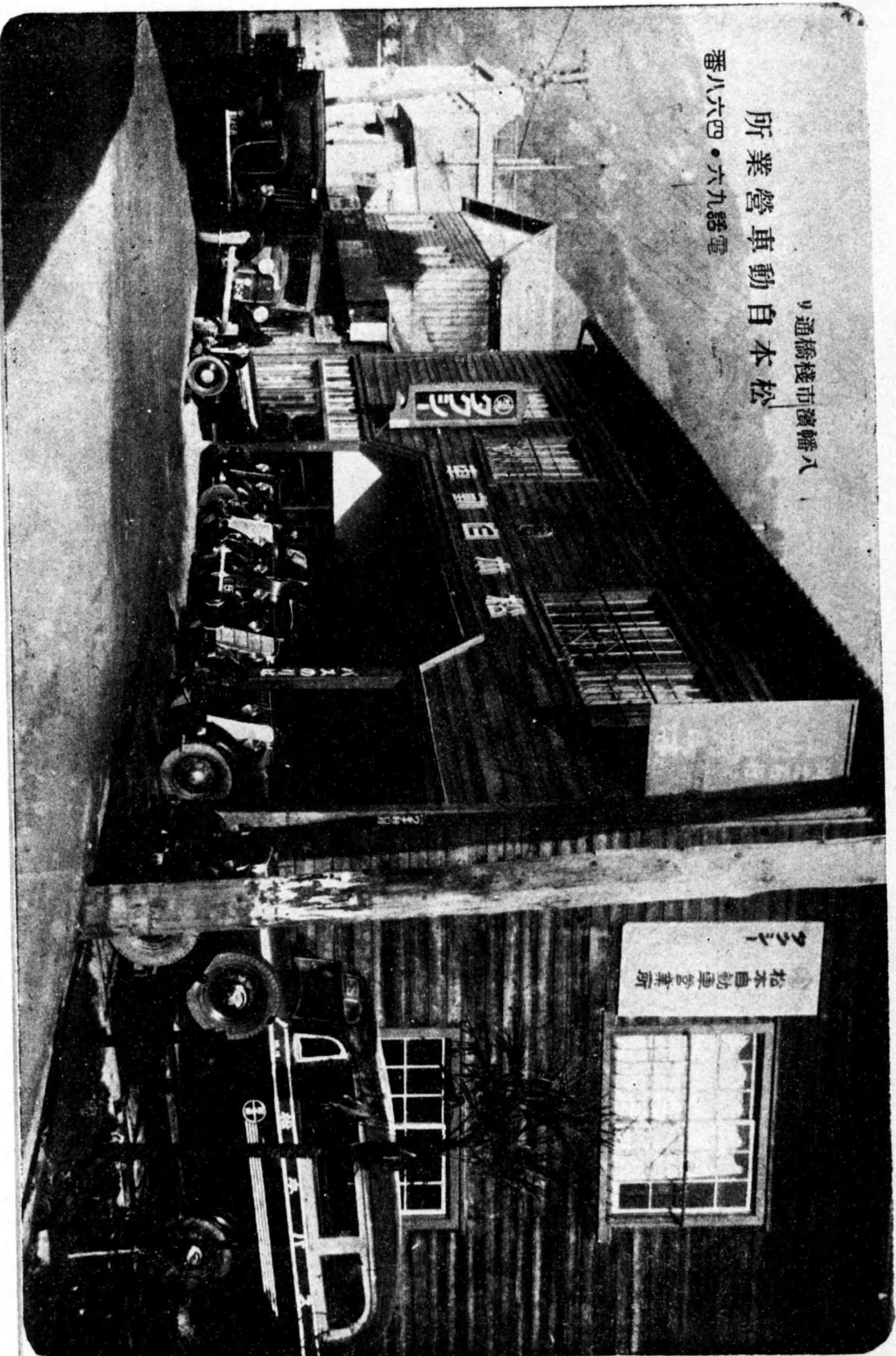
八幡濱市大黒町 カニヤエフカ 電話一五三番



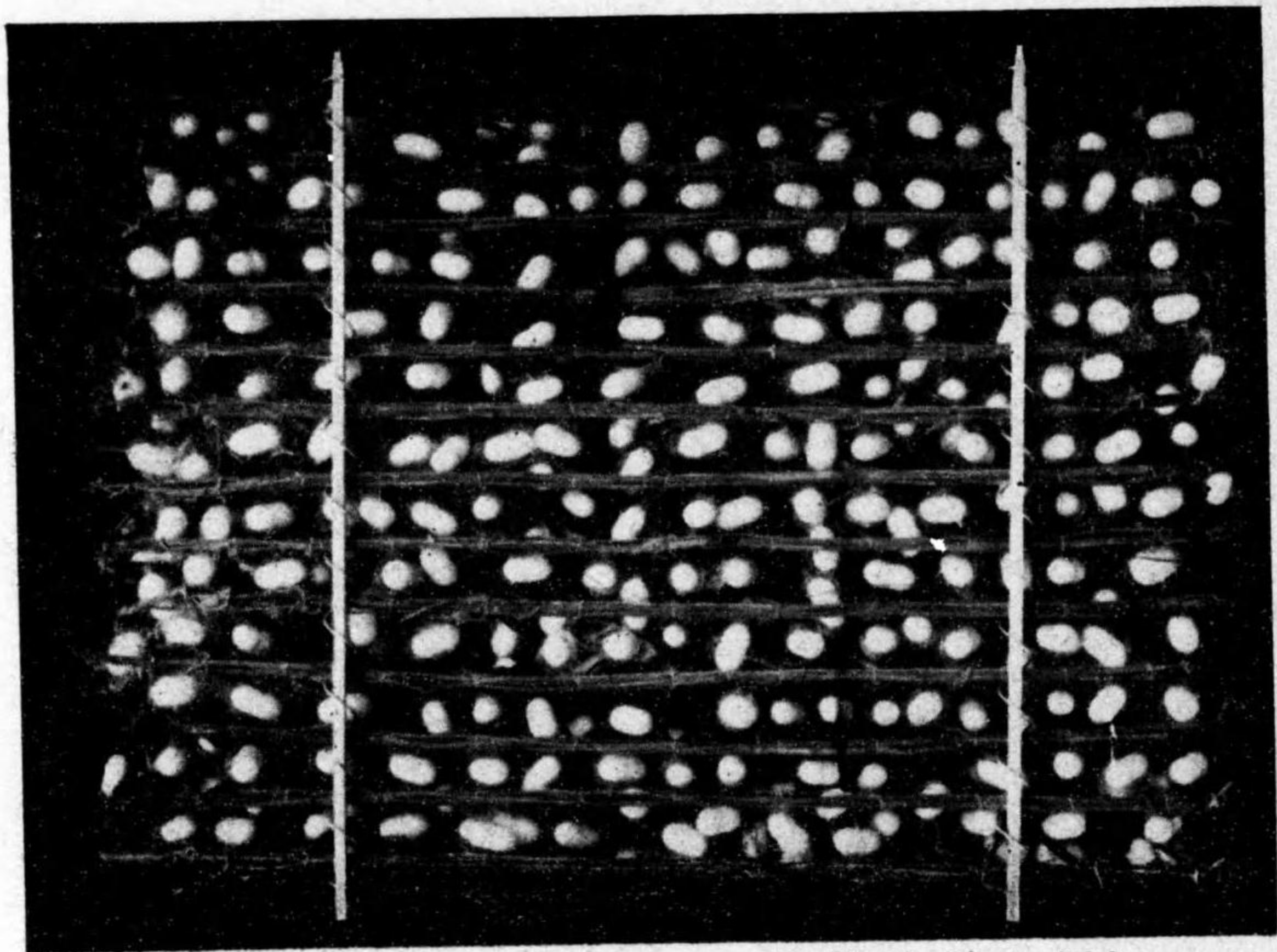
八幡濱市町 宮用廣告店 電話二九番



八幡濱市濱通リ 宇都宮病院 電話一六三番

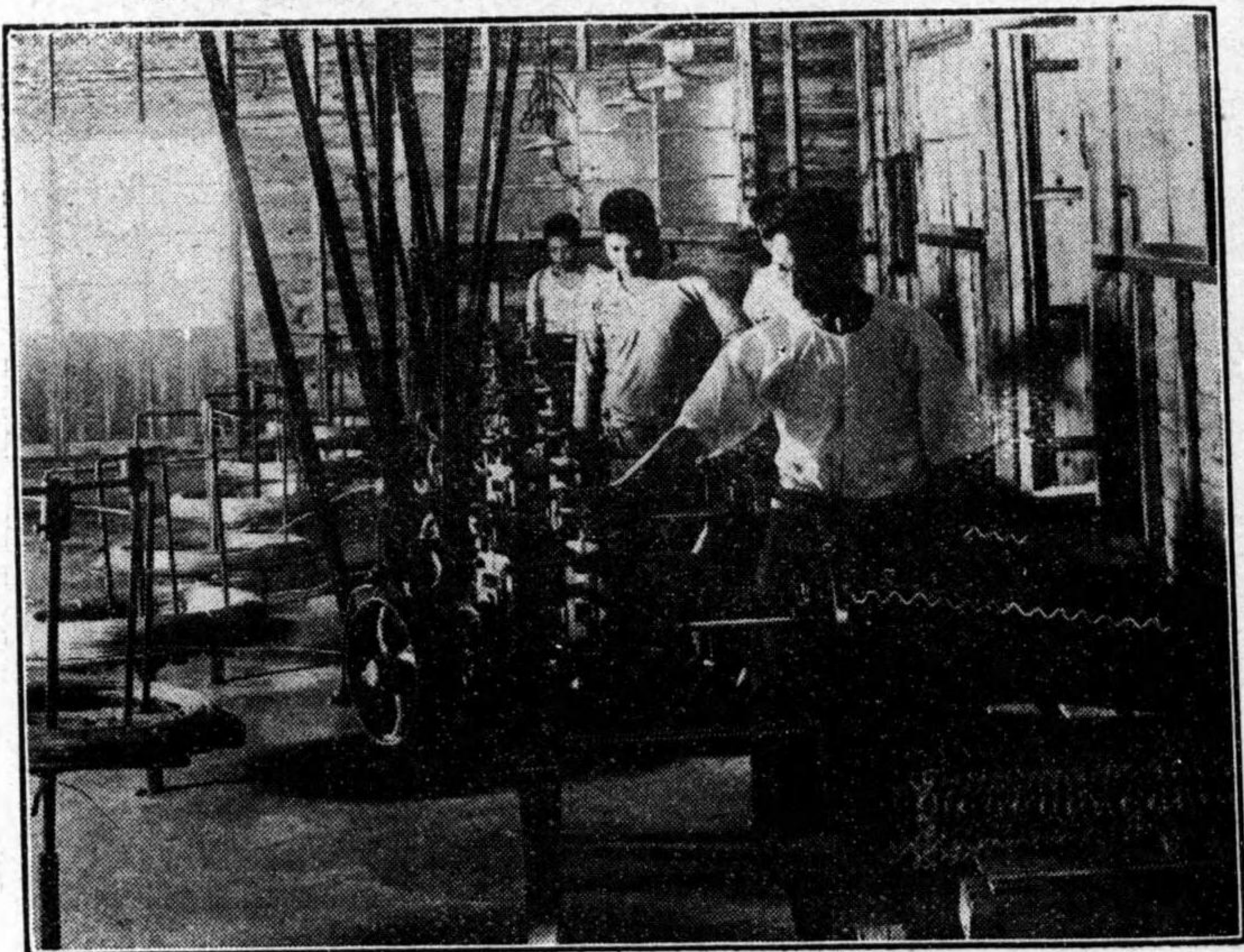


八幡濱市橋通リ 松本自動車営業所  
電話九六八番



品製社同……圖上

部一ノ場工社同……圖下



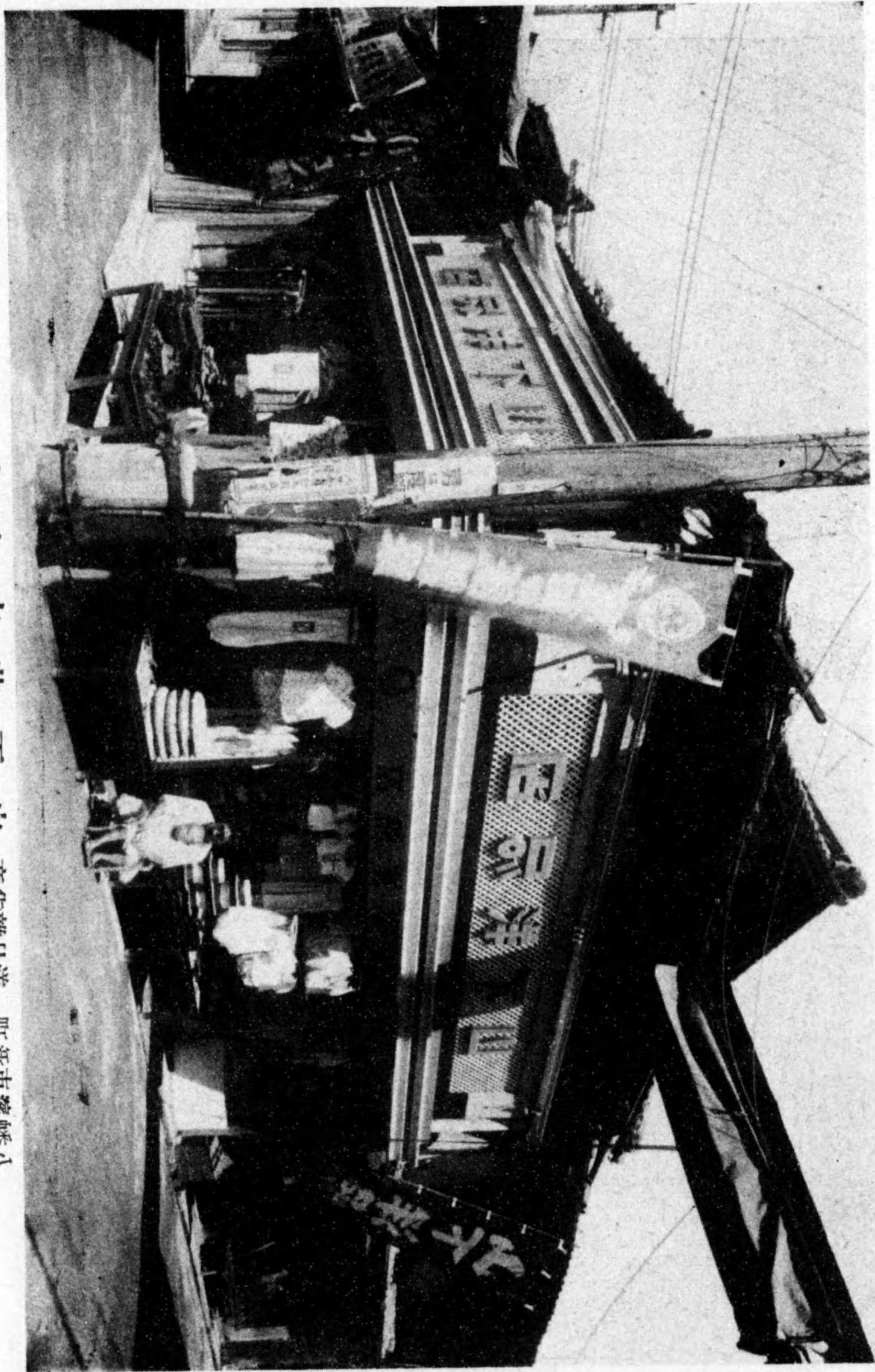
社會資合具蠶農本日

吉庄良松者表代

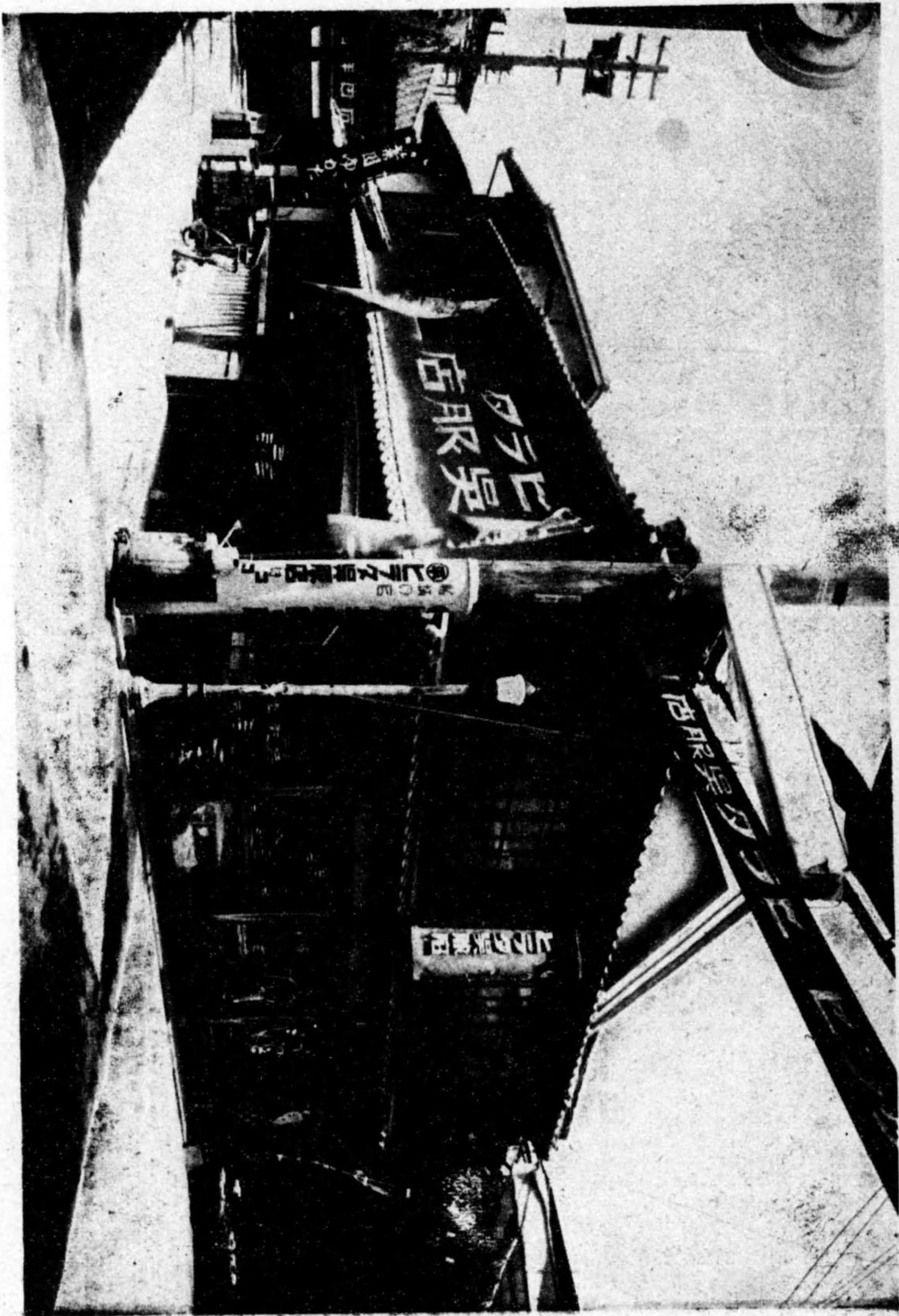


番五一話電柏松店本  
番五四三話電港新所張出

店料肥頭兵

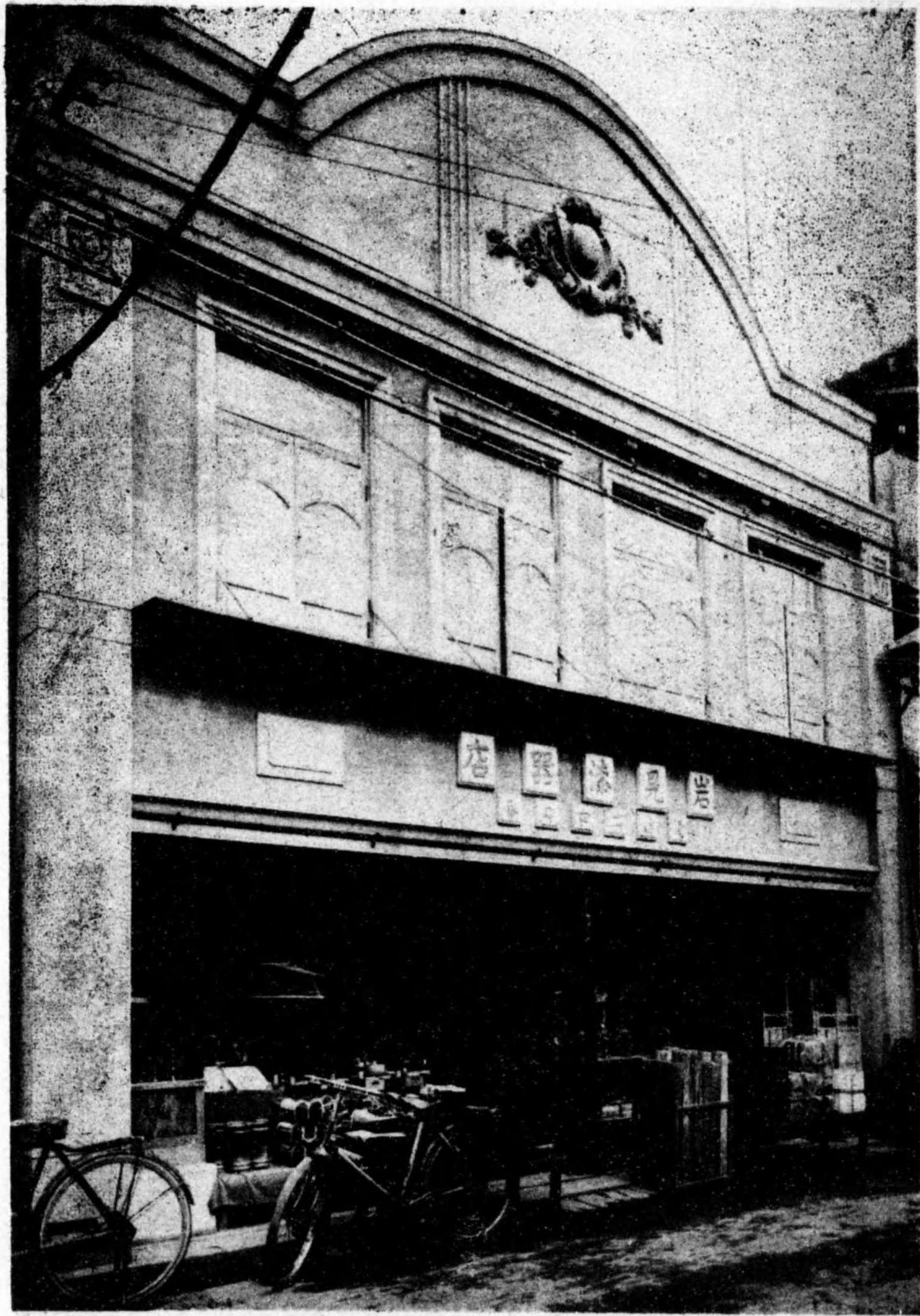


八幡濱市新町 洋品雜貨商 山下茂商店 電話八三七八番



八幡濱市新町 田平吳服店 電話三九三九番

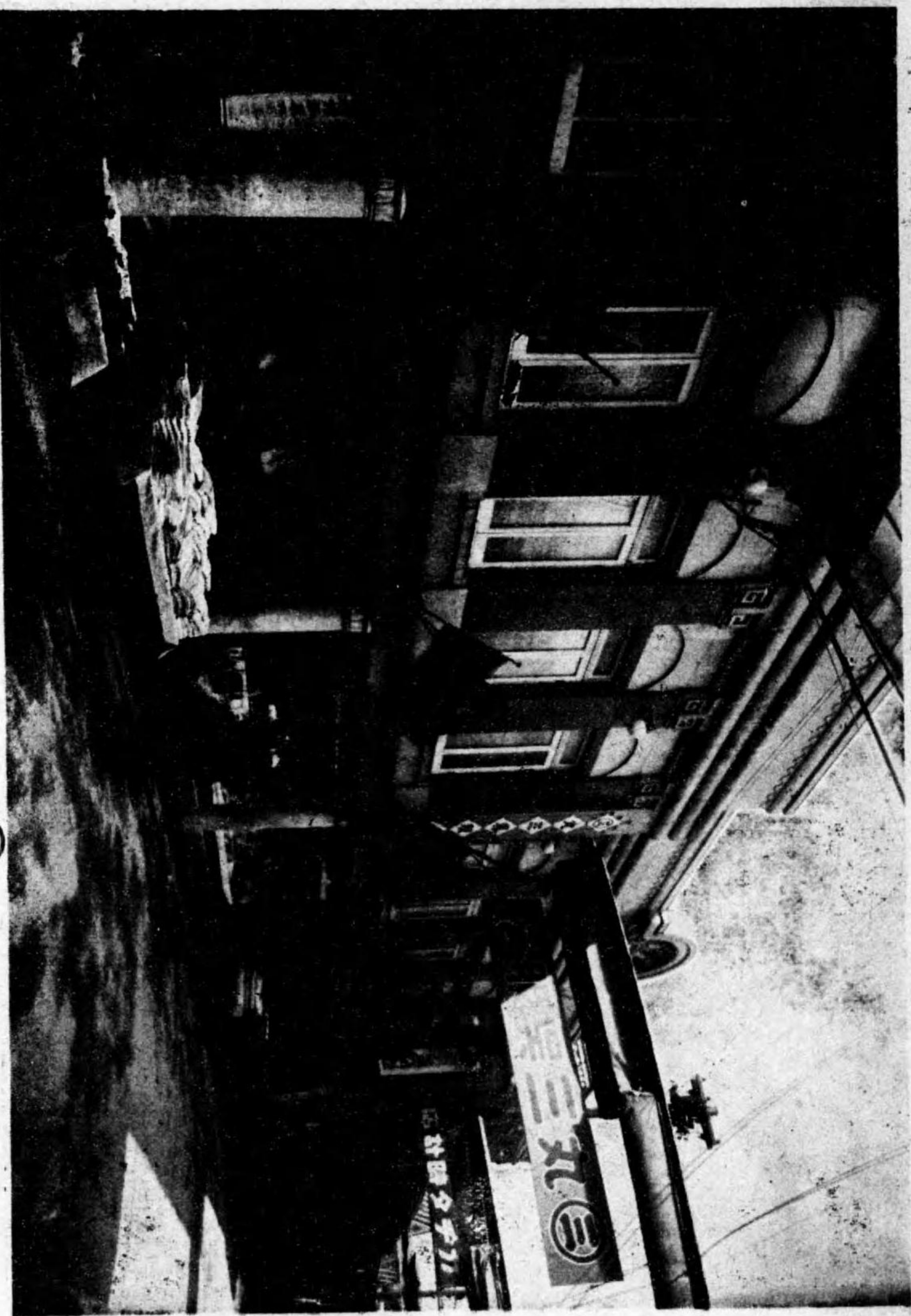




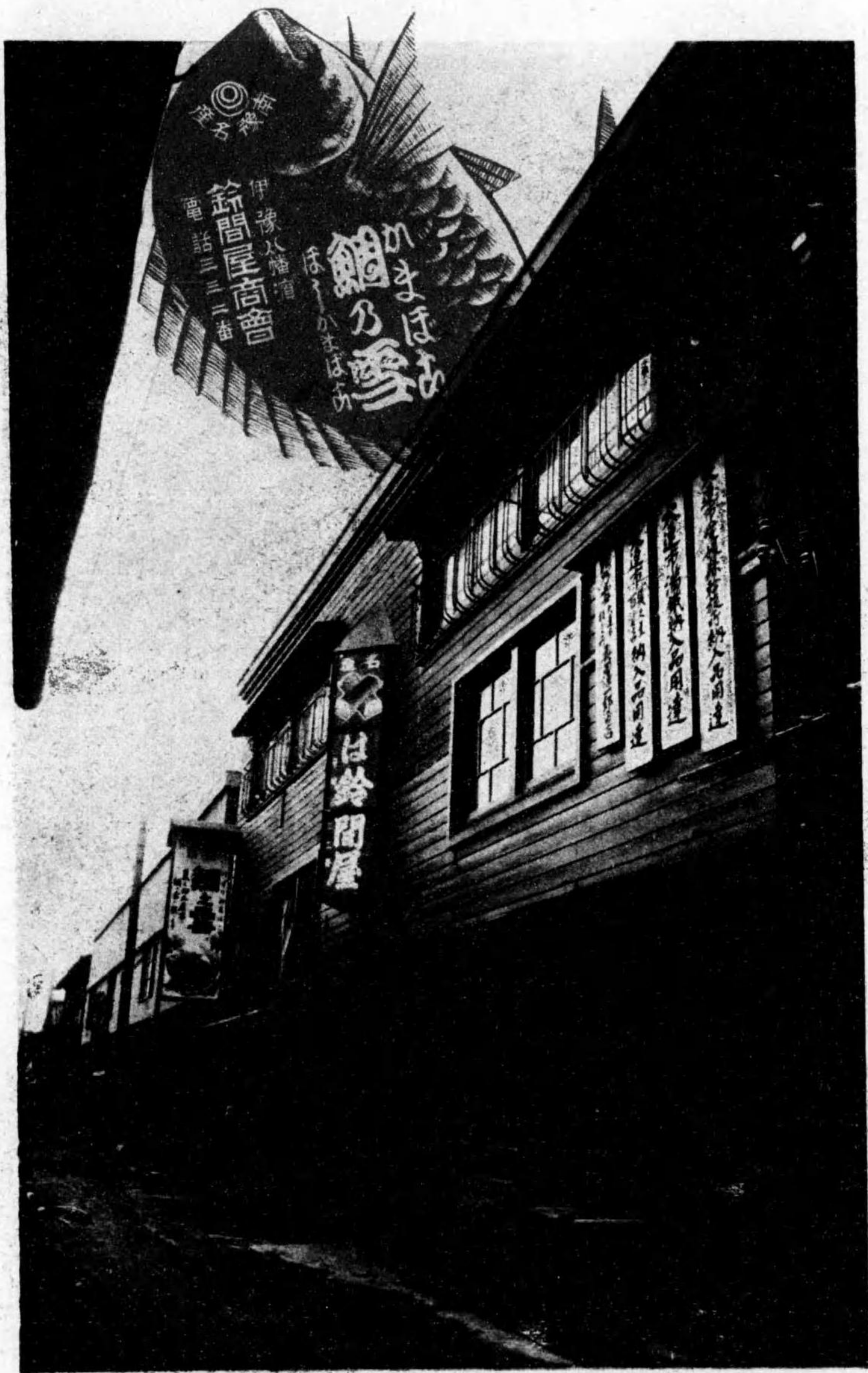
八幡濱市新町 岩見漆器店 電話二四〇番



八幡濱市新町 金物商池上商店 電話三二五番



八幡濱市新町 丸三吳服店 電話八十七番

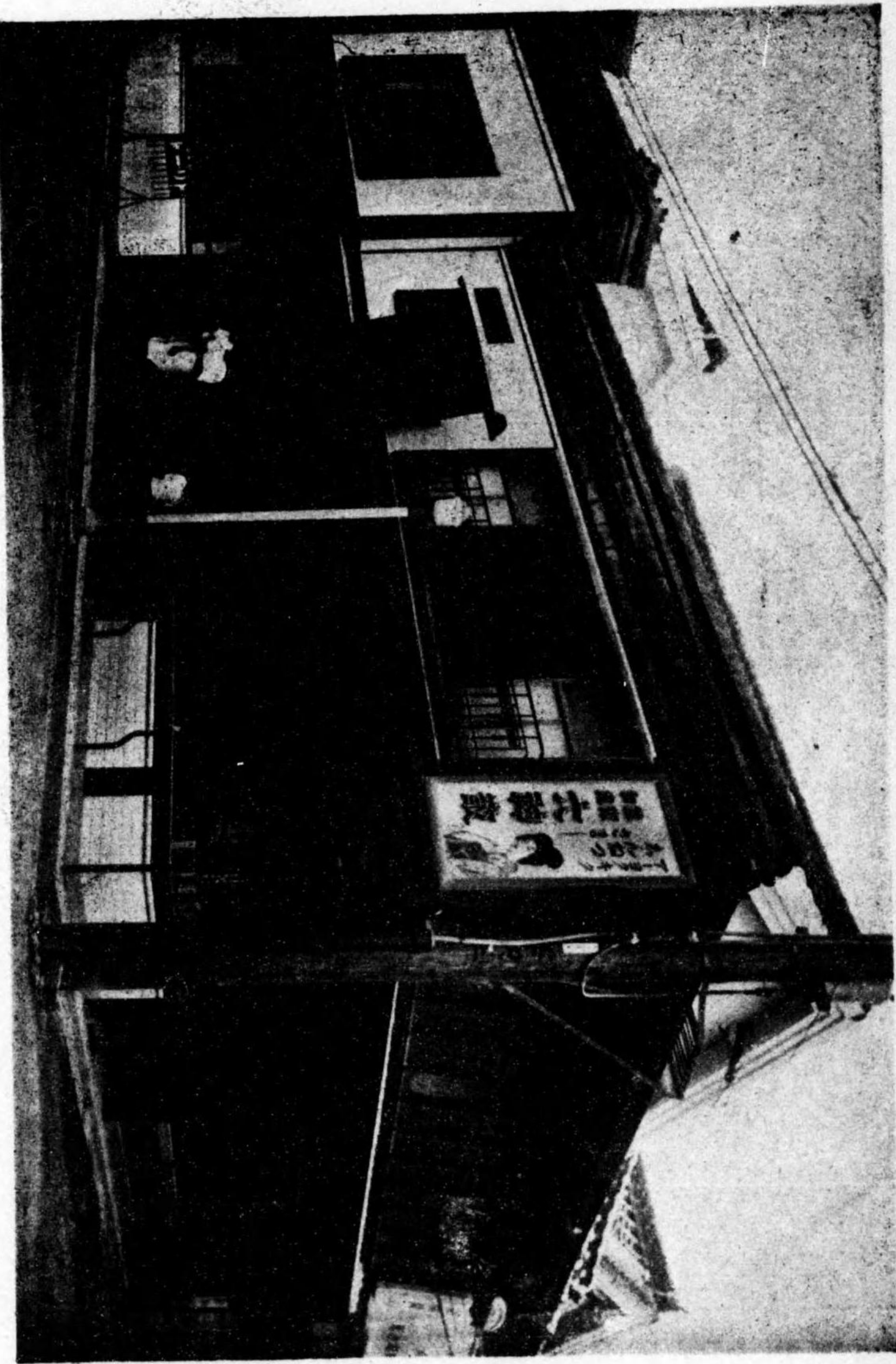


鯛の雪製元 鈴間屋 稻荷町 電話三三二番



工場ノ一部

八幡濱市 菊池木材株式會社 電話三〇七〇番



八幡濱市 池田藥局 電話三八番



八幡濱市舊港 日田石油店 電話四三六番



海產物商 阪商商店 電話一〇四番

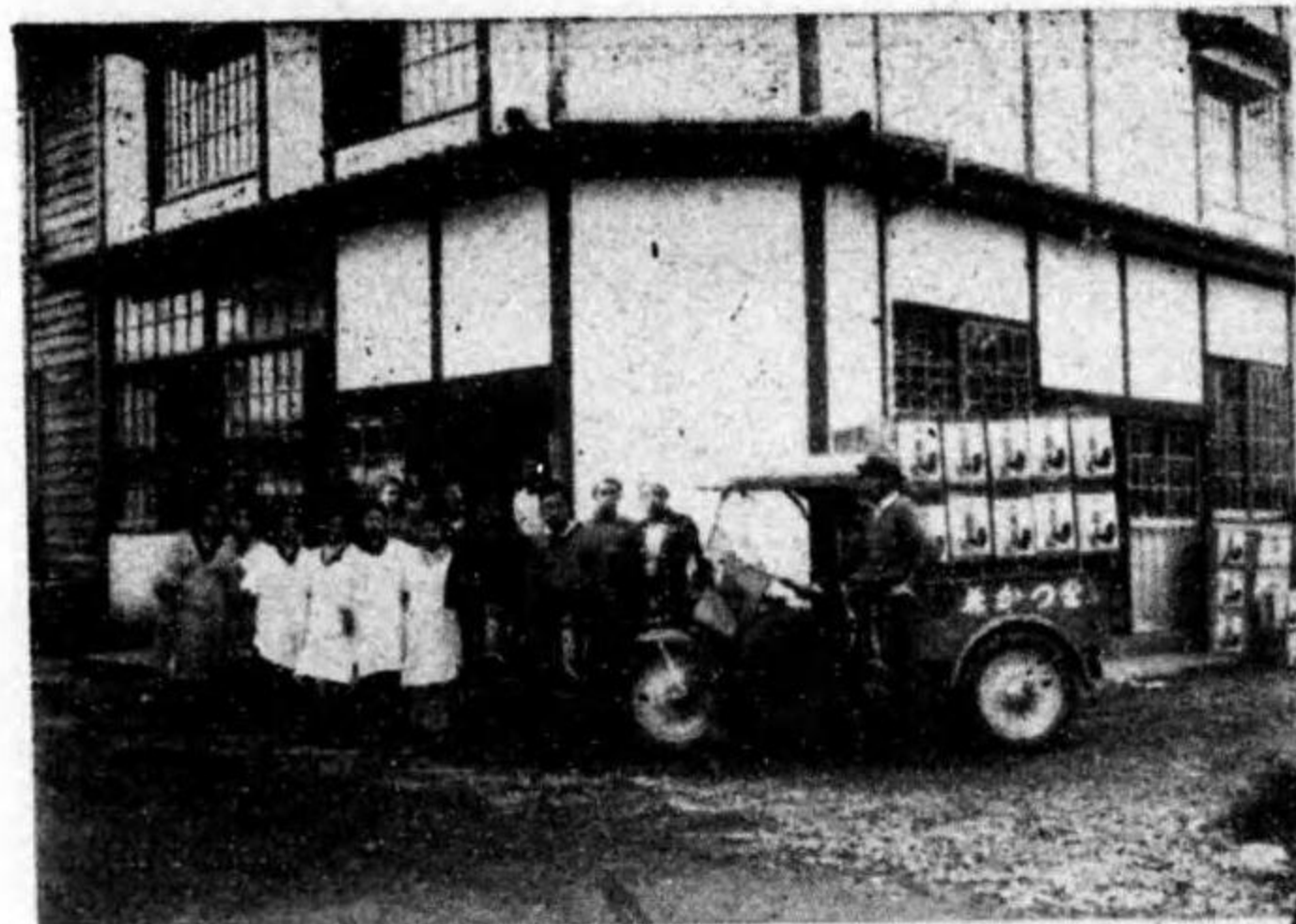
愛  
京



町黒大市濱幡八 番九五三話電 金太 愛京 金玉 席本山

金  
玉

金  
太



兵 印花鱈製造工場



イリコ袋倉庫 海産物倉庫



兵 養干鱈製造場

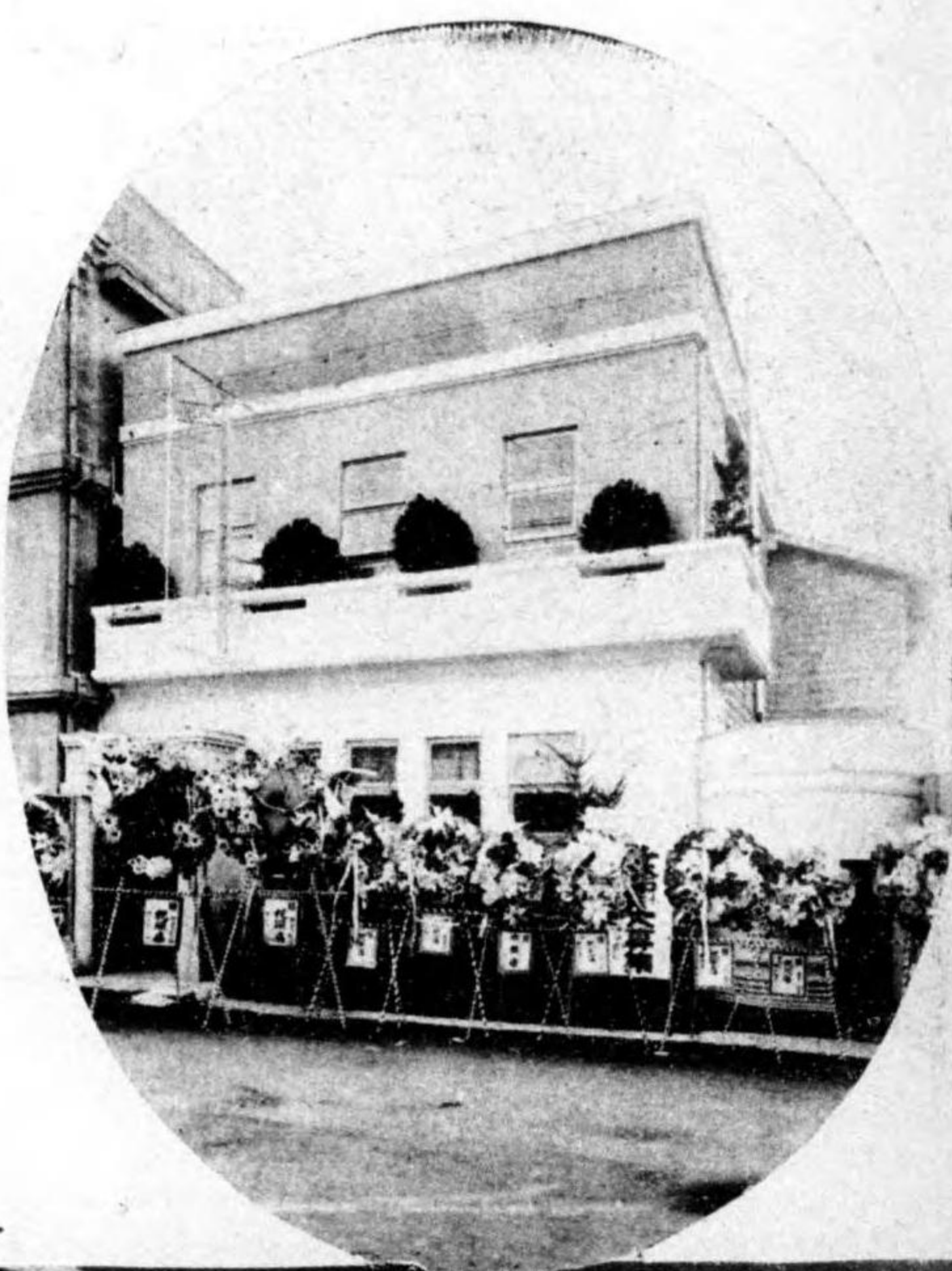


八幡濱市 兵 三好正男商店 電話九四番



海産物運搬船 みよし丸

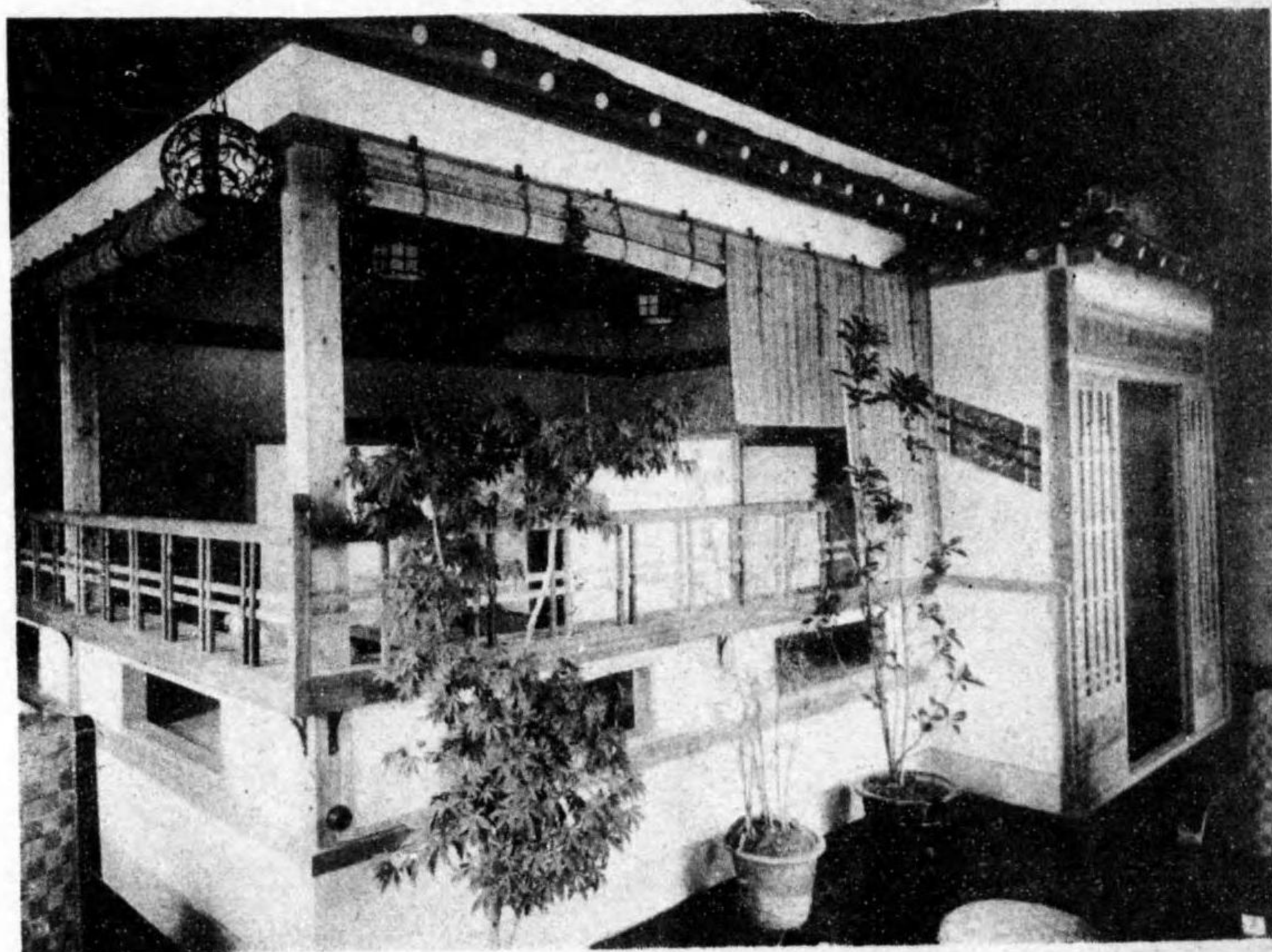
營  
業  
部



明朗なる社交場……

キャバレー  
サクラ

電話五二九番  
千代田町



階上の一部

皆称に歓迎する便利な店  
コナツキ直正

茶乾物

青物・果實

洋酒・罐詰

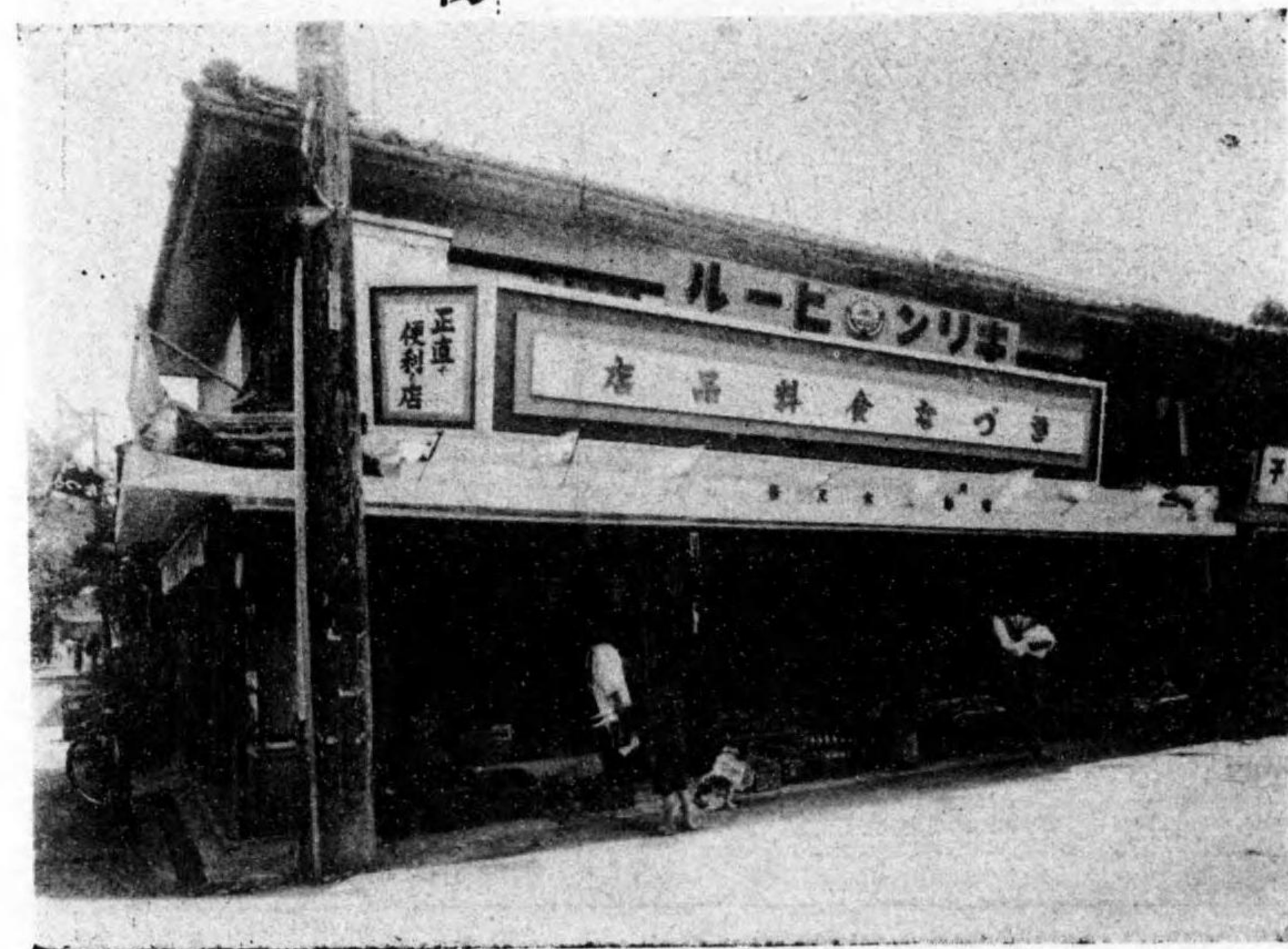
味噌・漬物

鯉節・雑穀

農産・種子

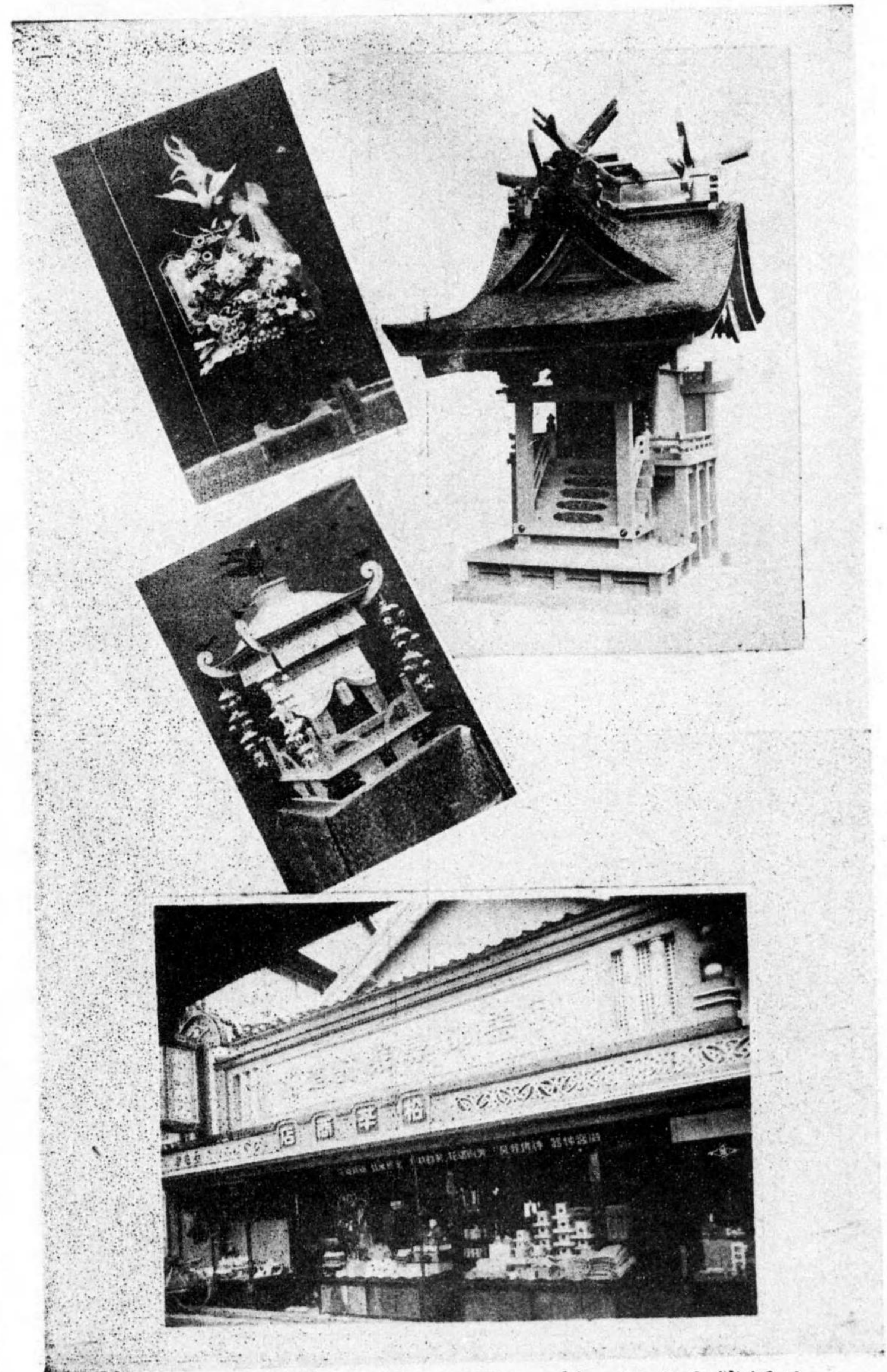
進物用品

婚禮折物

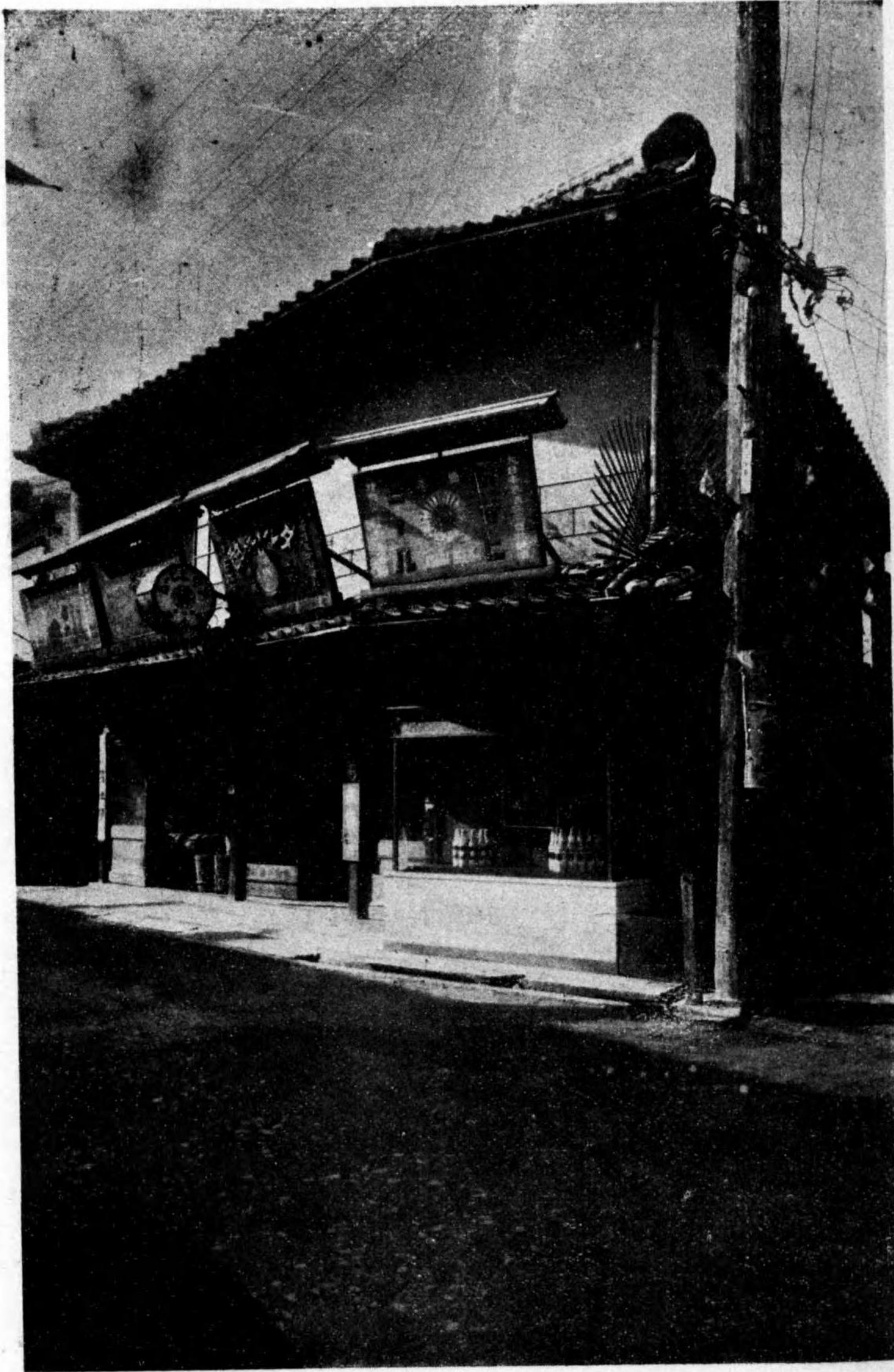




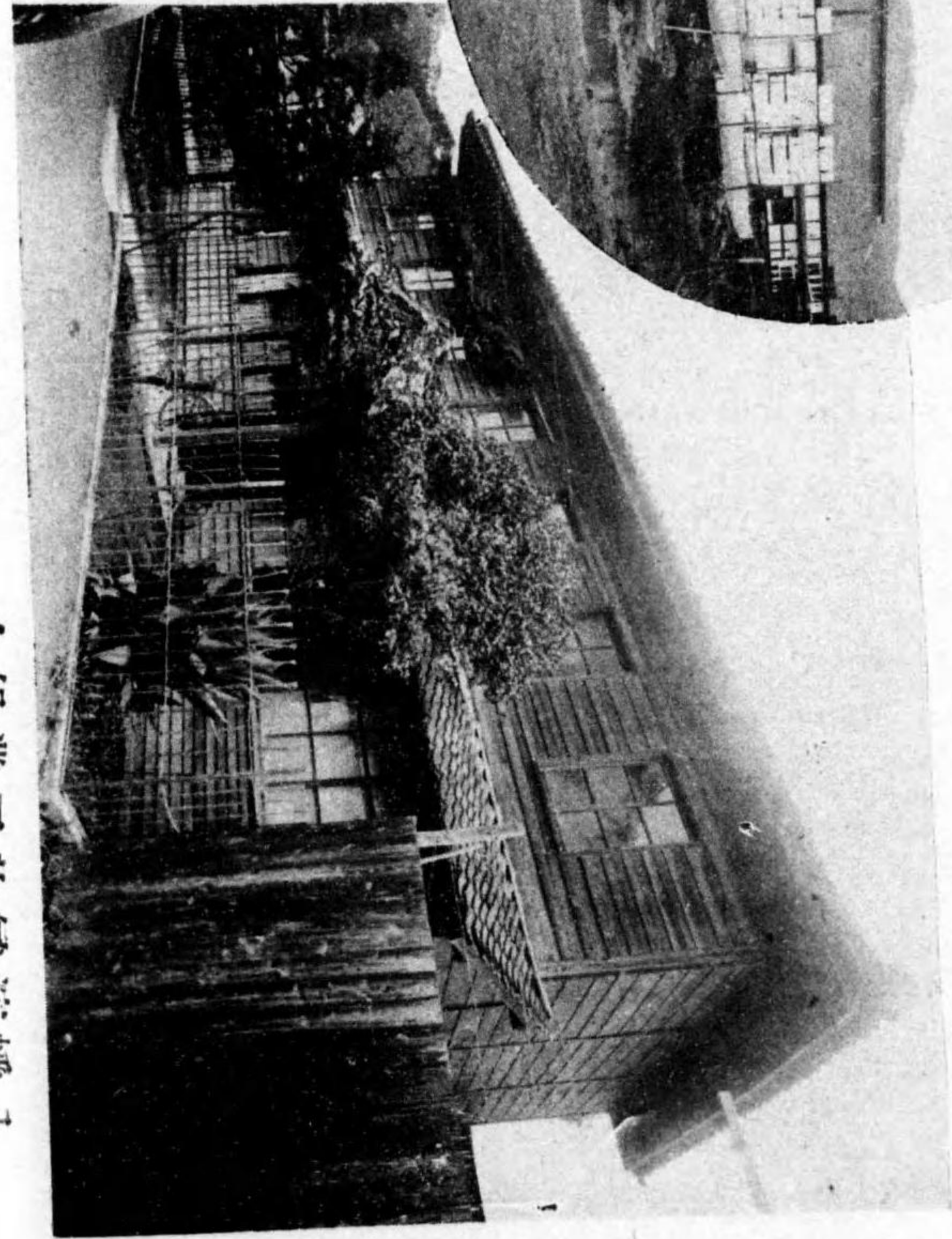
八幡濱市柳橋元 河野正巳商店 電話一五九番



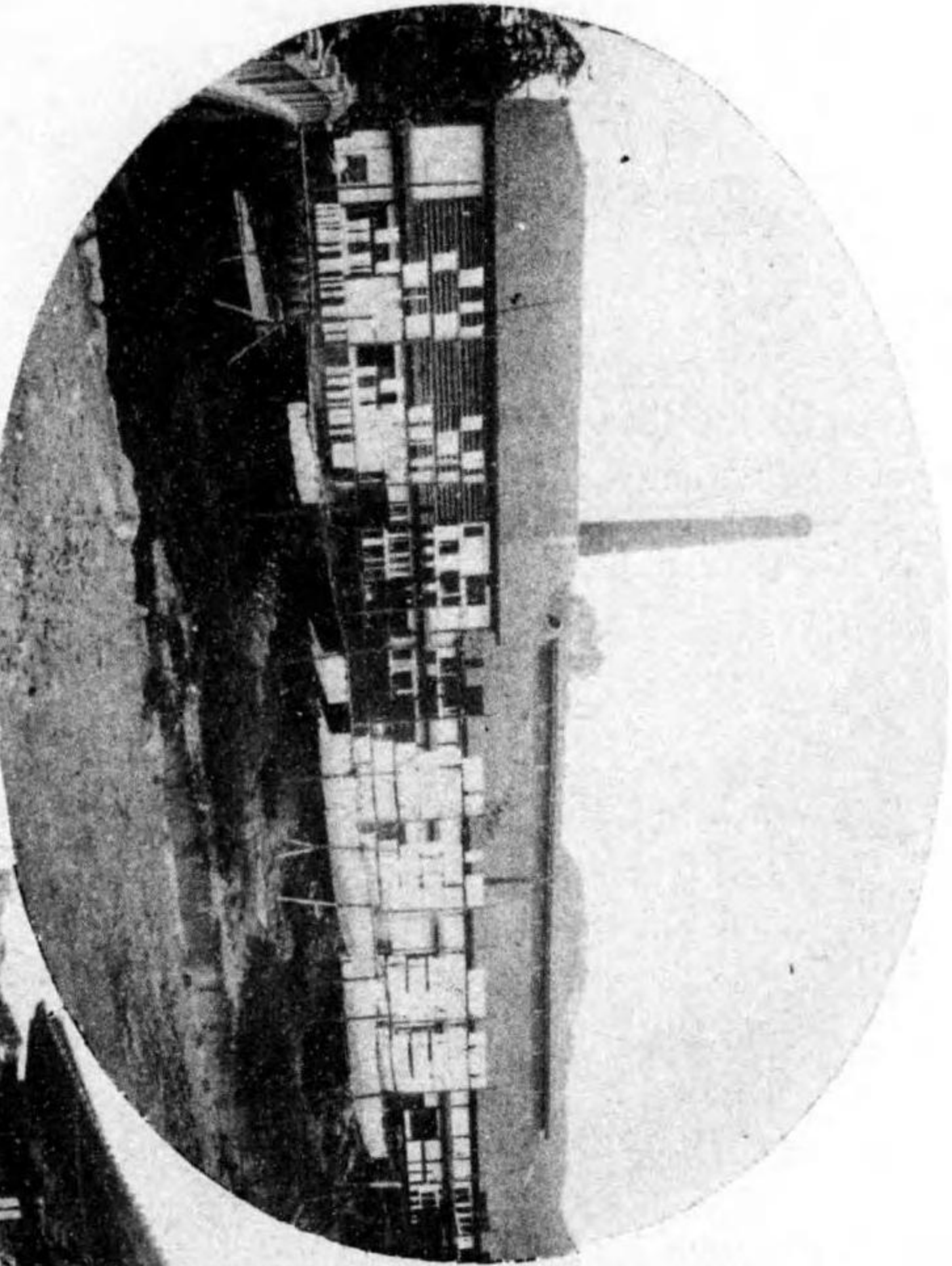
八幡濱市戎町 松平商店 電話八九番



大黒町 株式會社 | 七村上商店 電話一六二番



八幡濱織物工業組合 電話三三番



共染工場

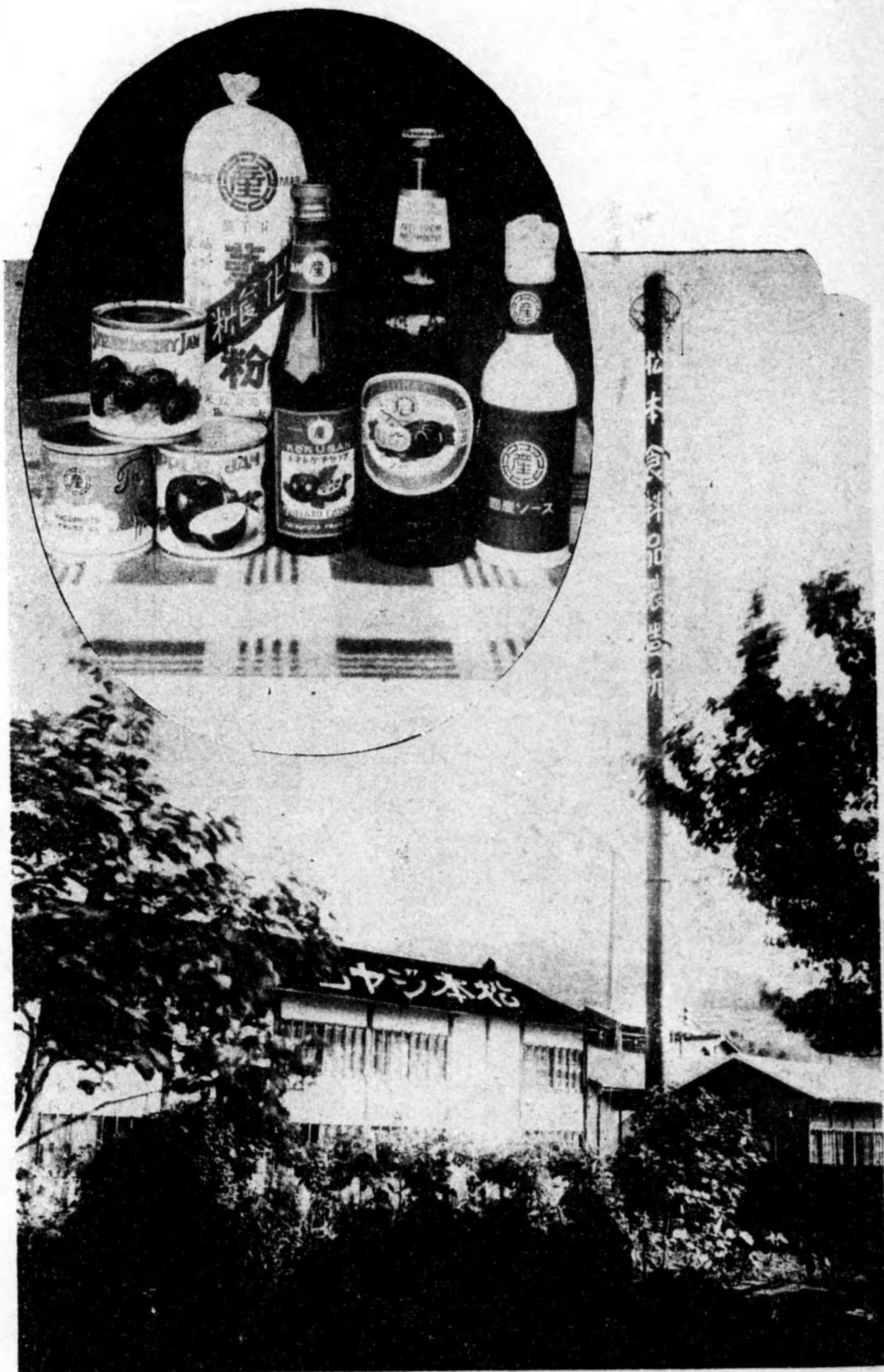




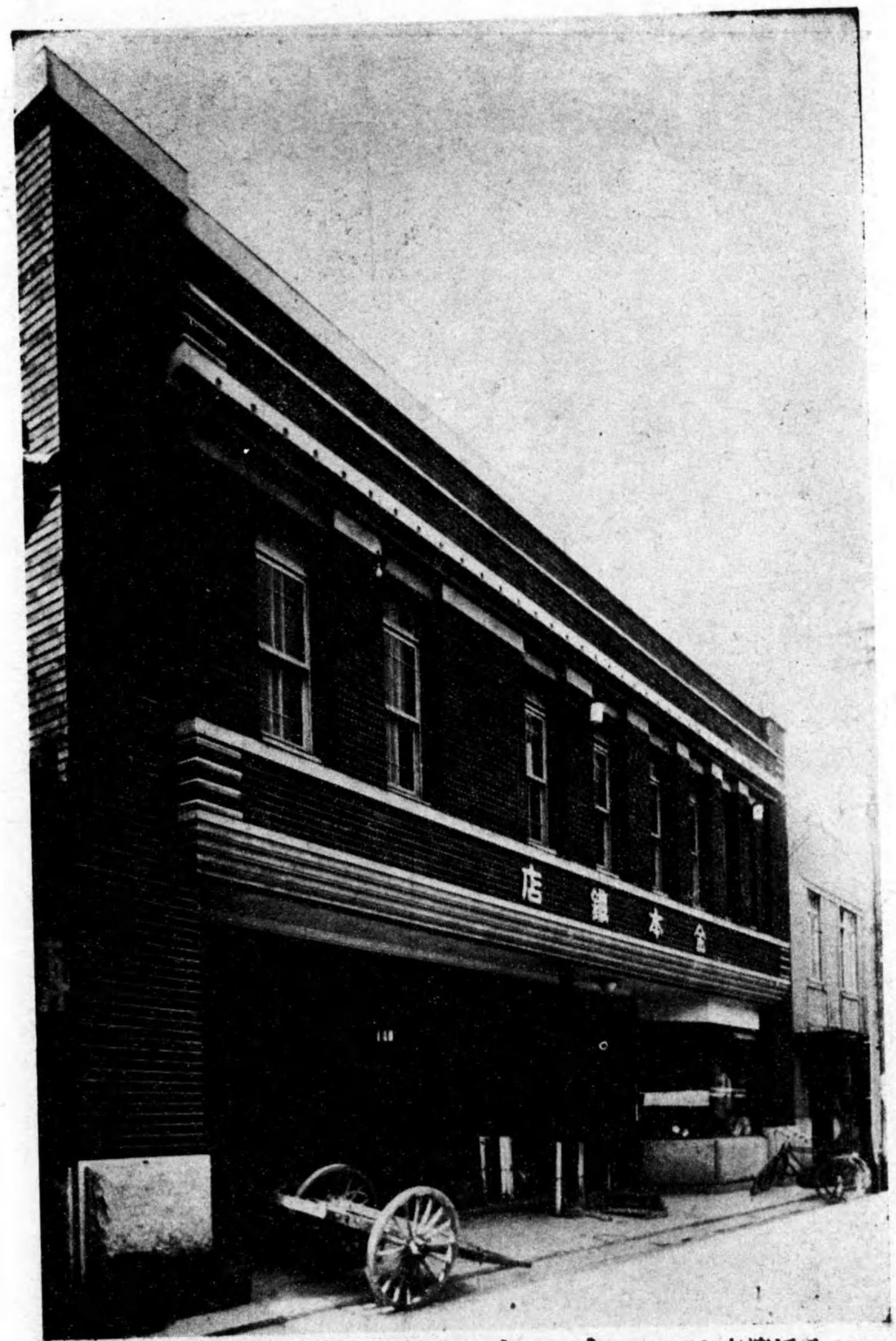
八幡市濱幡町 皇製製造 小森元 太郎商店 電話 營業用三〇七番



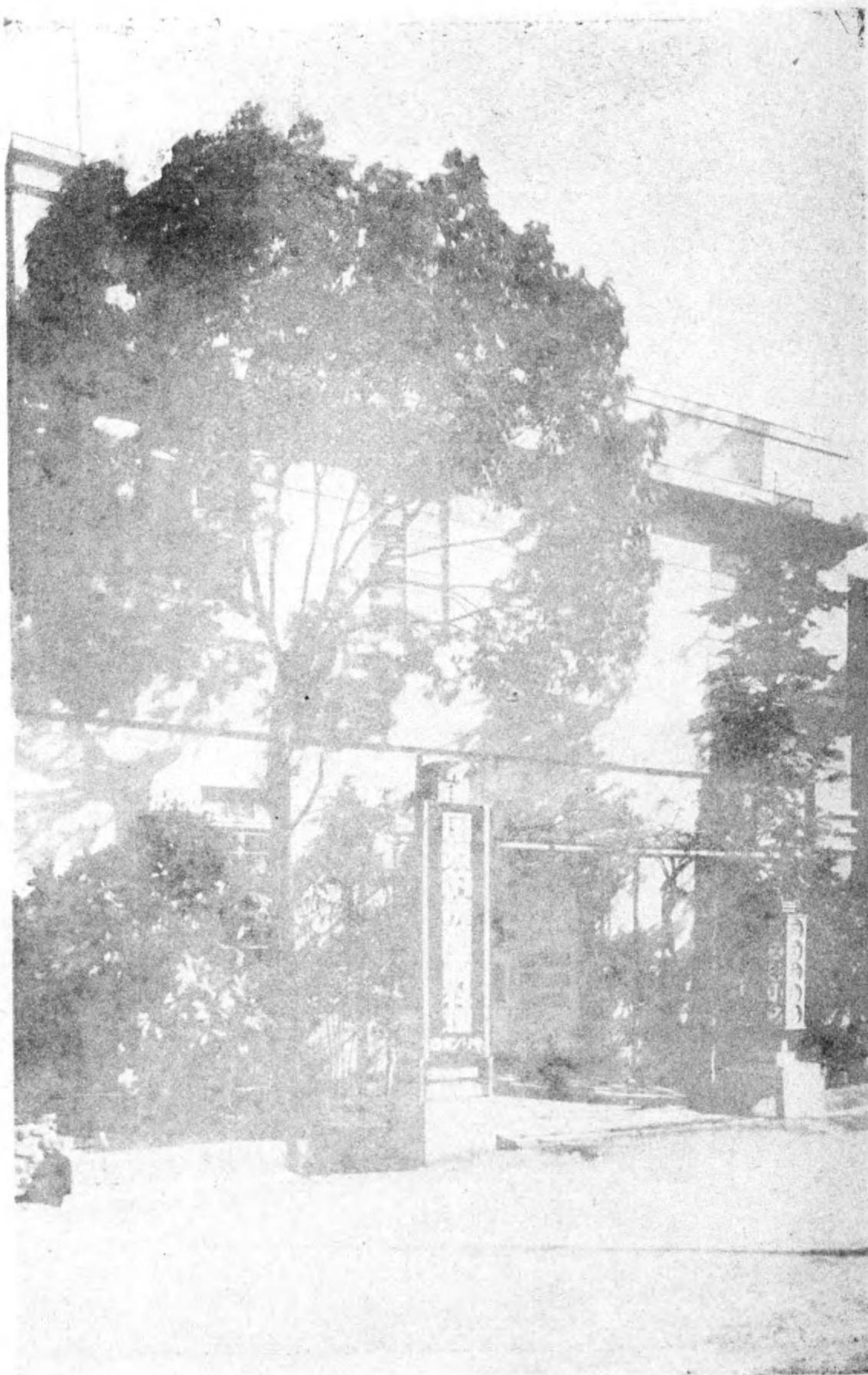
カガシマ印詰製造 三友商店 電話一五二番



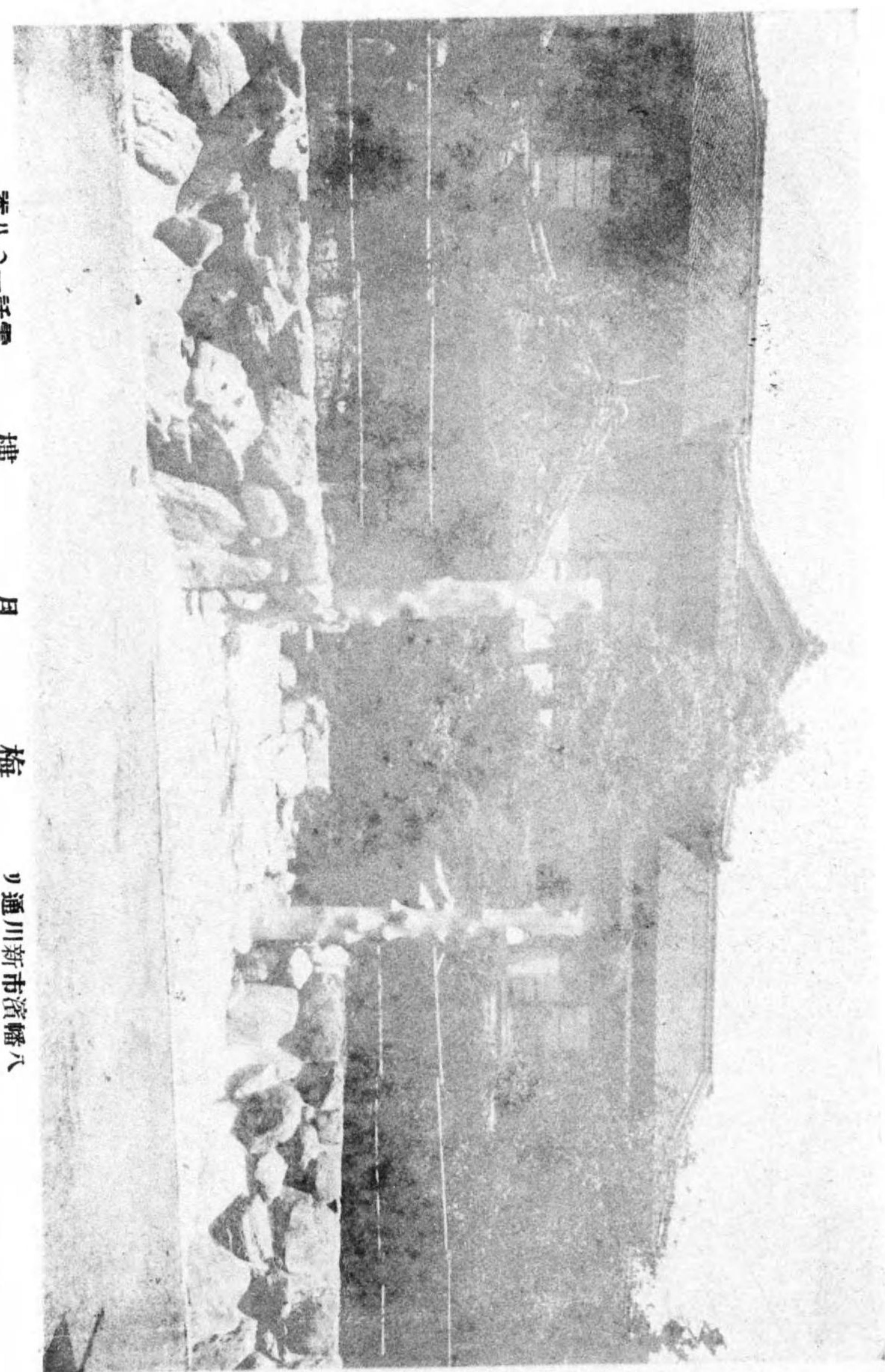
八幡濱市松本ヤシム商会 電話三六六番



八幡濱大黒町金本鐵店 電話二〇四番



八幡濱市千代町 食ニリキ 堂 電話二五三番

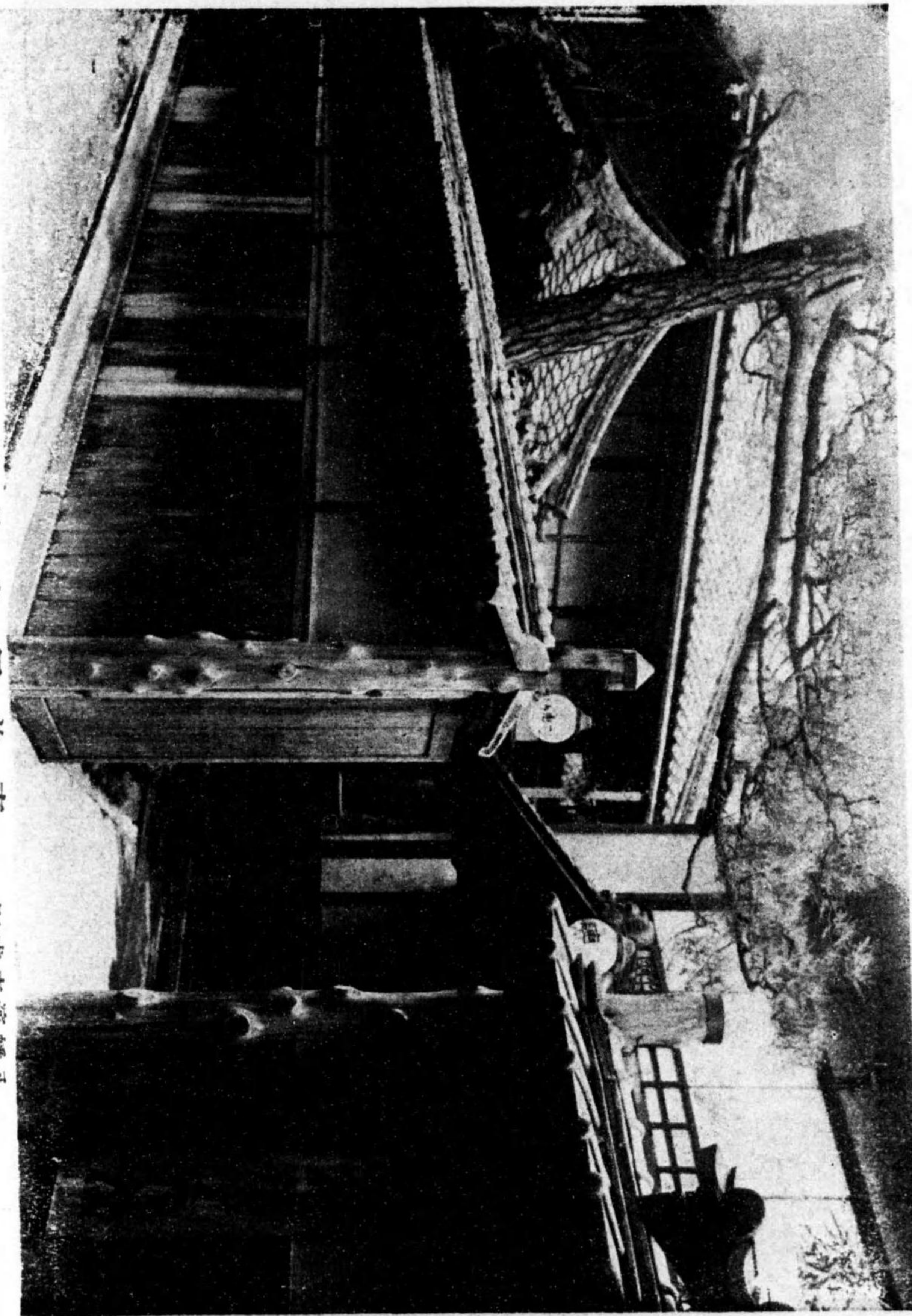


八幡濱市新川通 梅月樓 電話一〇八番



八幡濱市矢野町 和菓子卸商 井上トキワ堂 電話二二一八番

八幡濱市 美須堂 電話一八八番





梅千代

お京

桃千代

町黒大 梅千代 小力お桃 席上村  
番六〇一話電

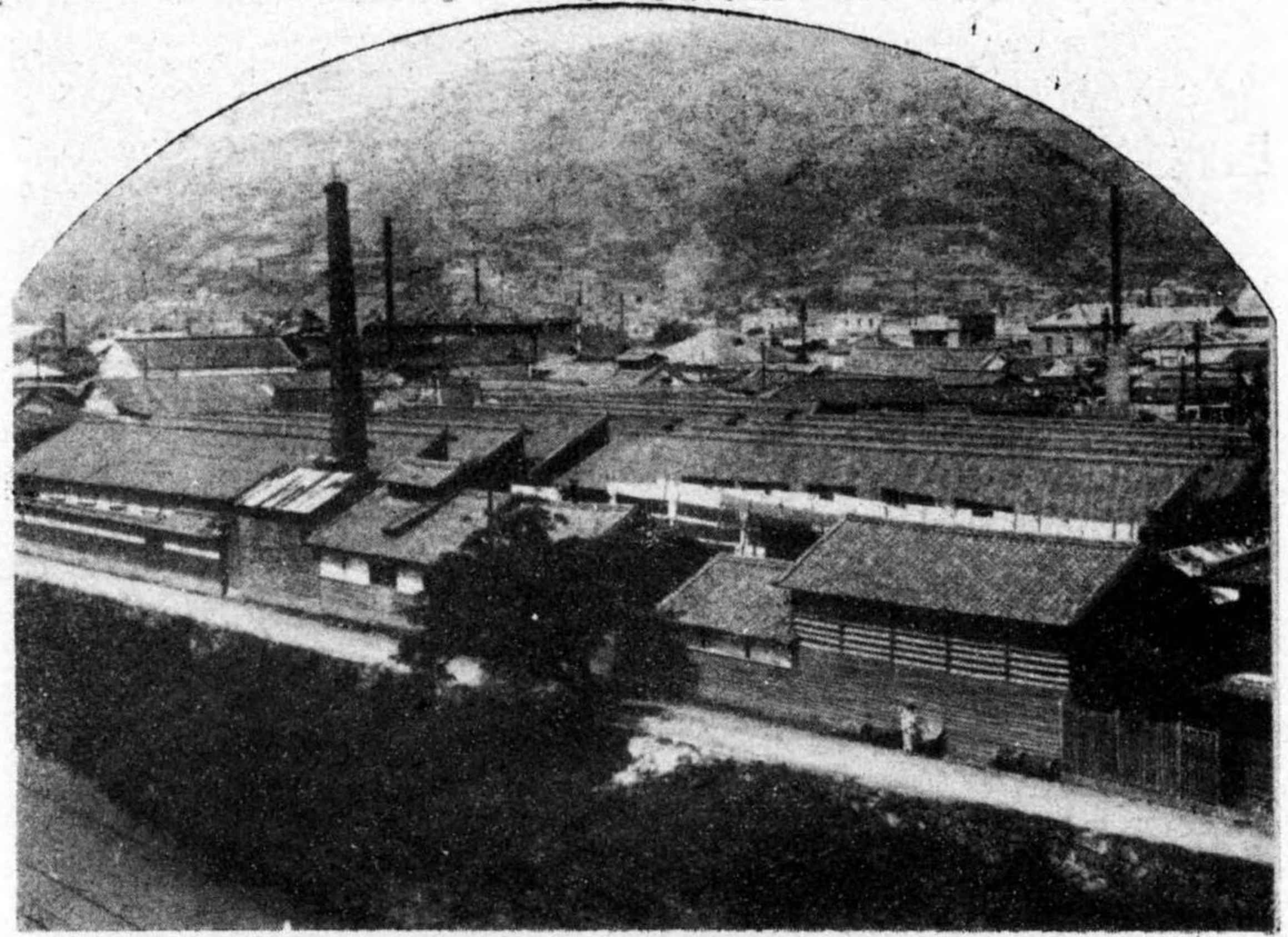
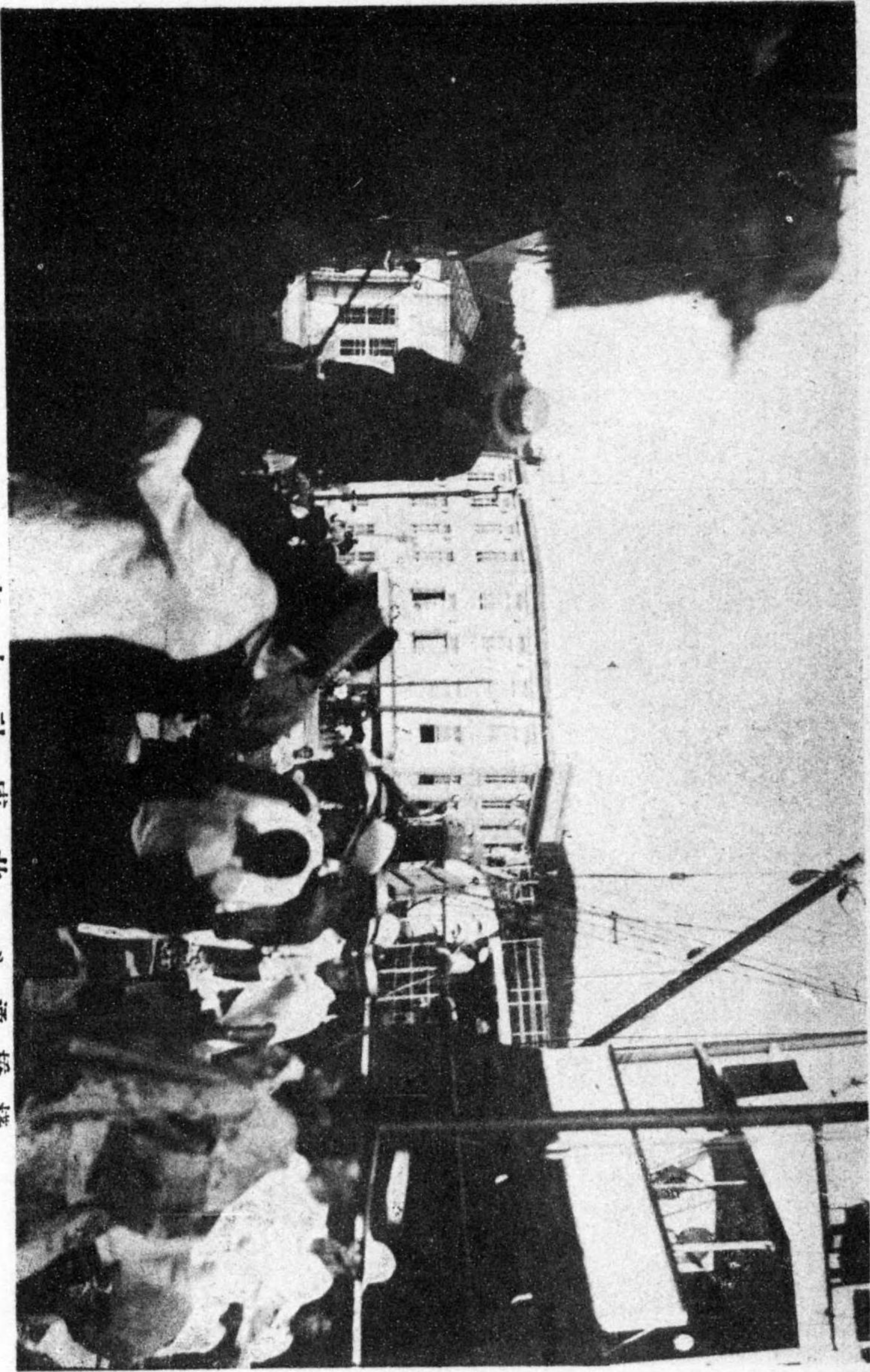


パン

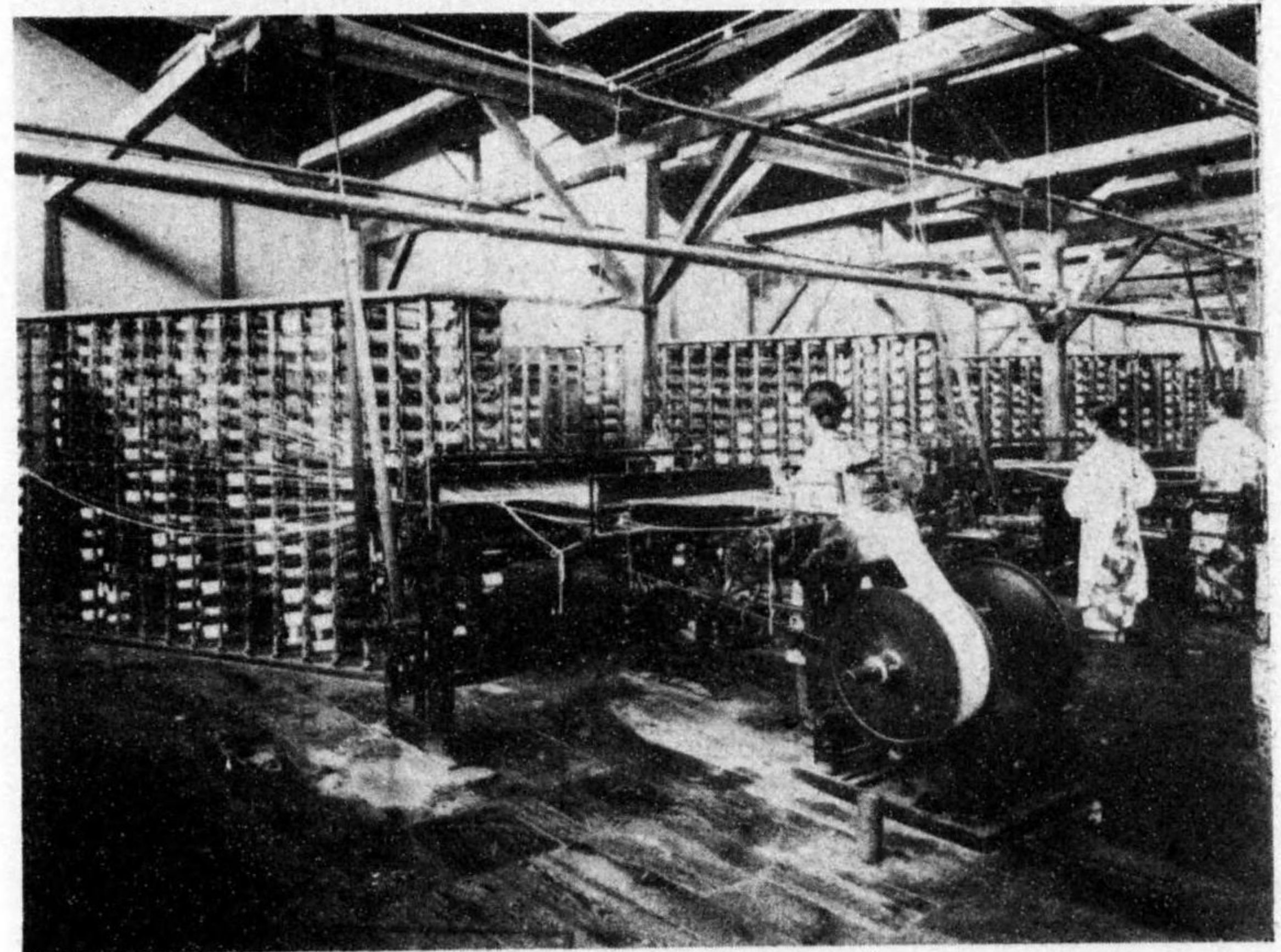


番六八二話電 舖菓屋田山 町黒大南市濱幡八

番四六五・八一三〇一一話電 本店本社盛共 通橋棧

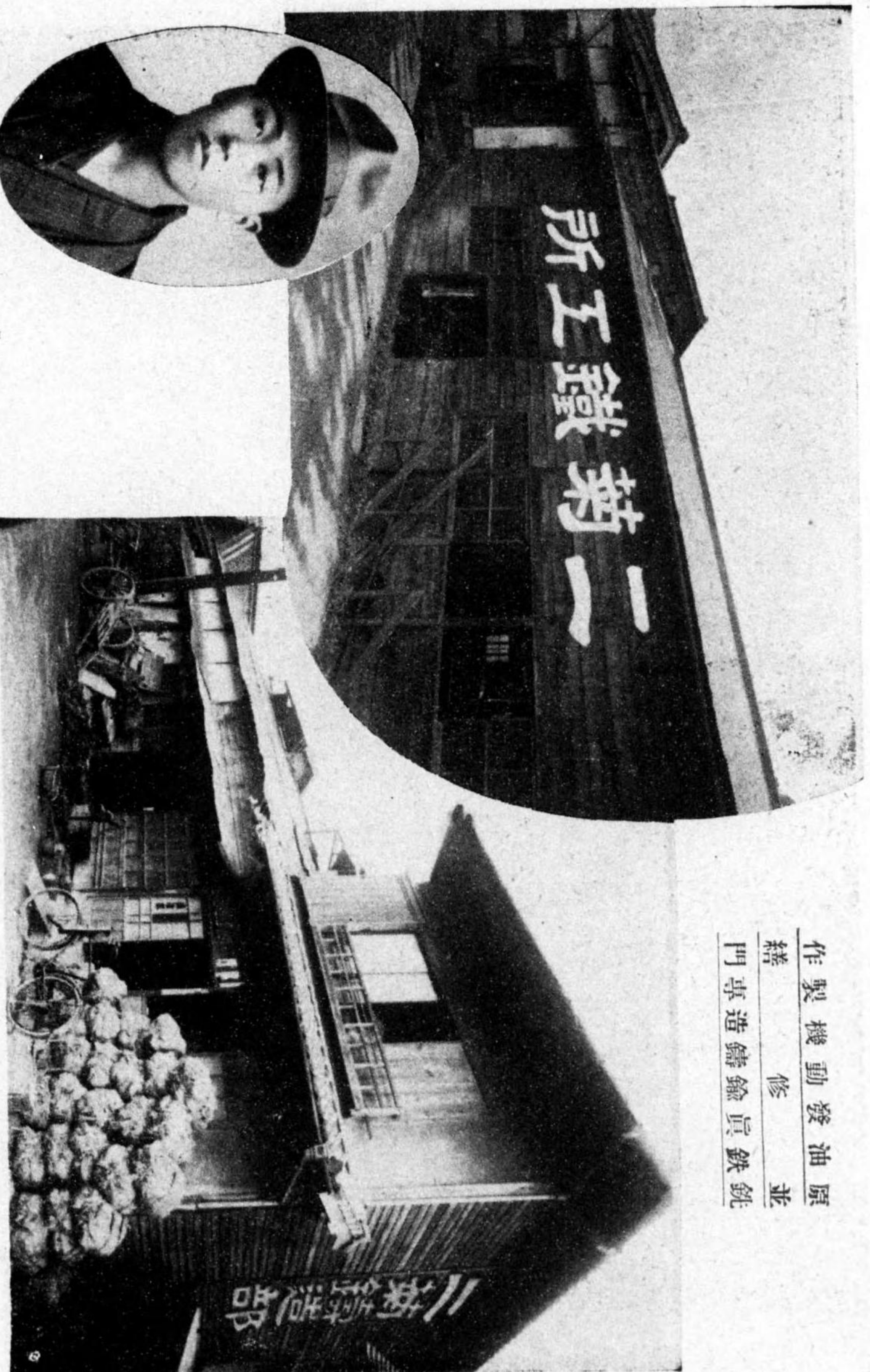


番四三一話電 社會式株布織濱幡八 市濱幡八



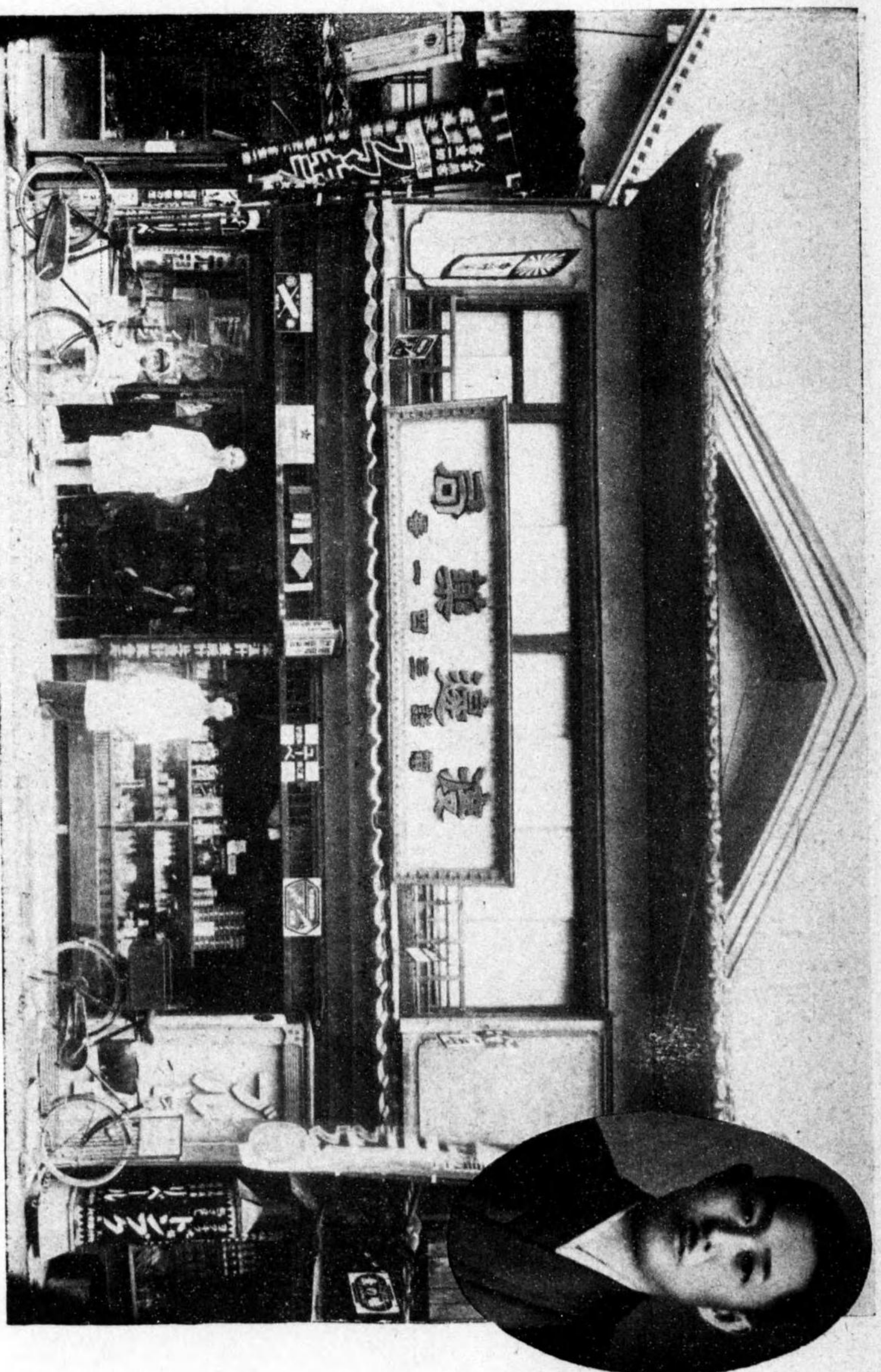
(部一の内場工)

原 油 發 動 機 製 作  
並 銑 鐵 員 鑄 造 專 門



電 話 五 〇 三 番  
(略 電 號 五 〇 三 番)

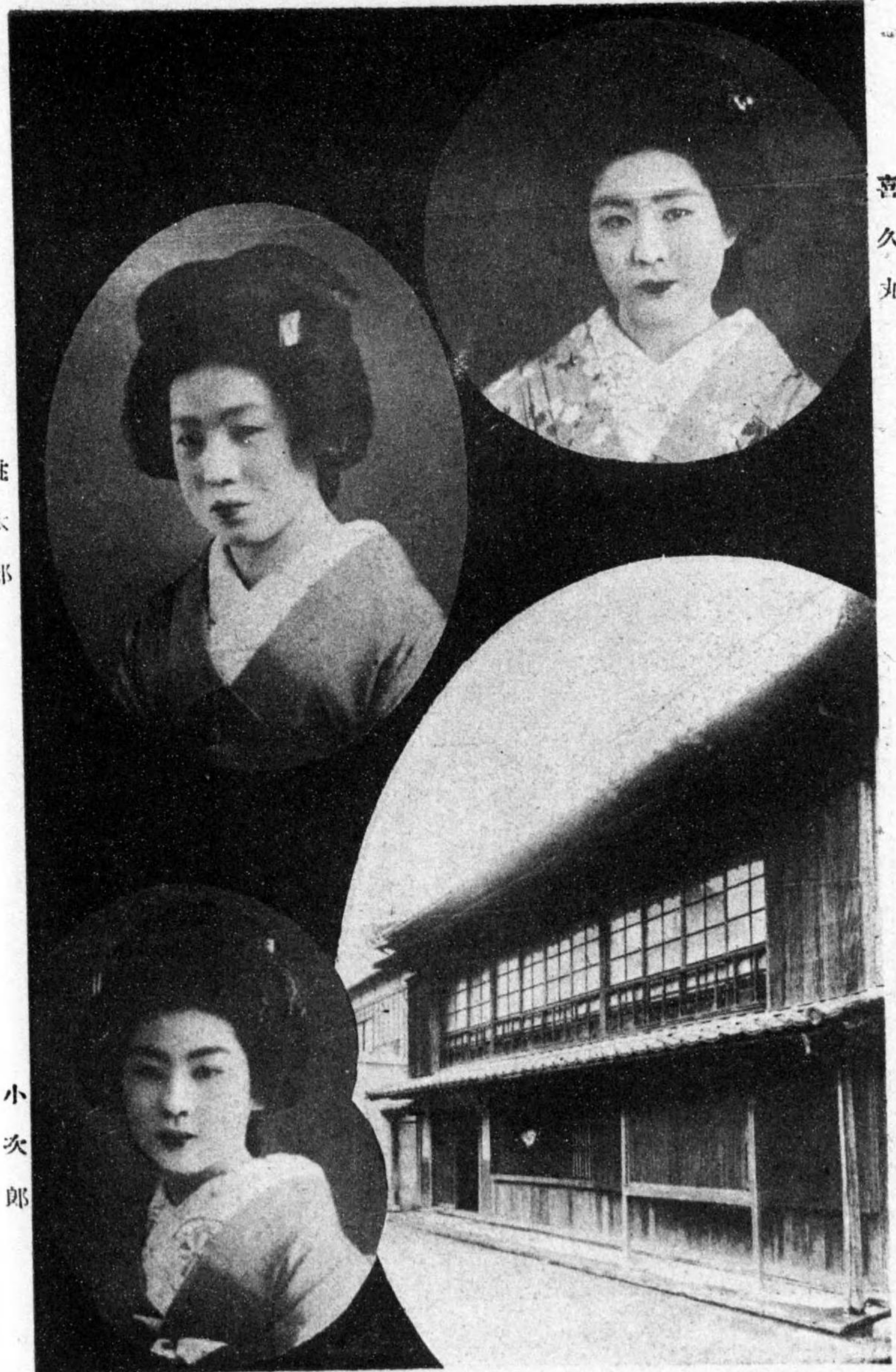
所 造 鑄 菊 二 町古市濱幡八



八 幡 濱 市 野 町 藥 品 商 渡 邊 龍 助 電 話 三 四 一 番  
振 替 島 五 九 四 六



南豫特産 芋粉ト干ごろう素麵 製造發賣元



喜久丸

桃太郎

小次郎

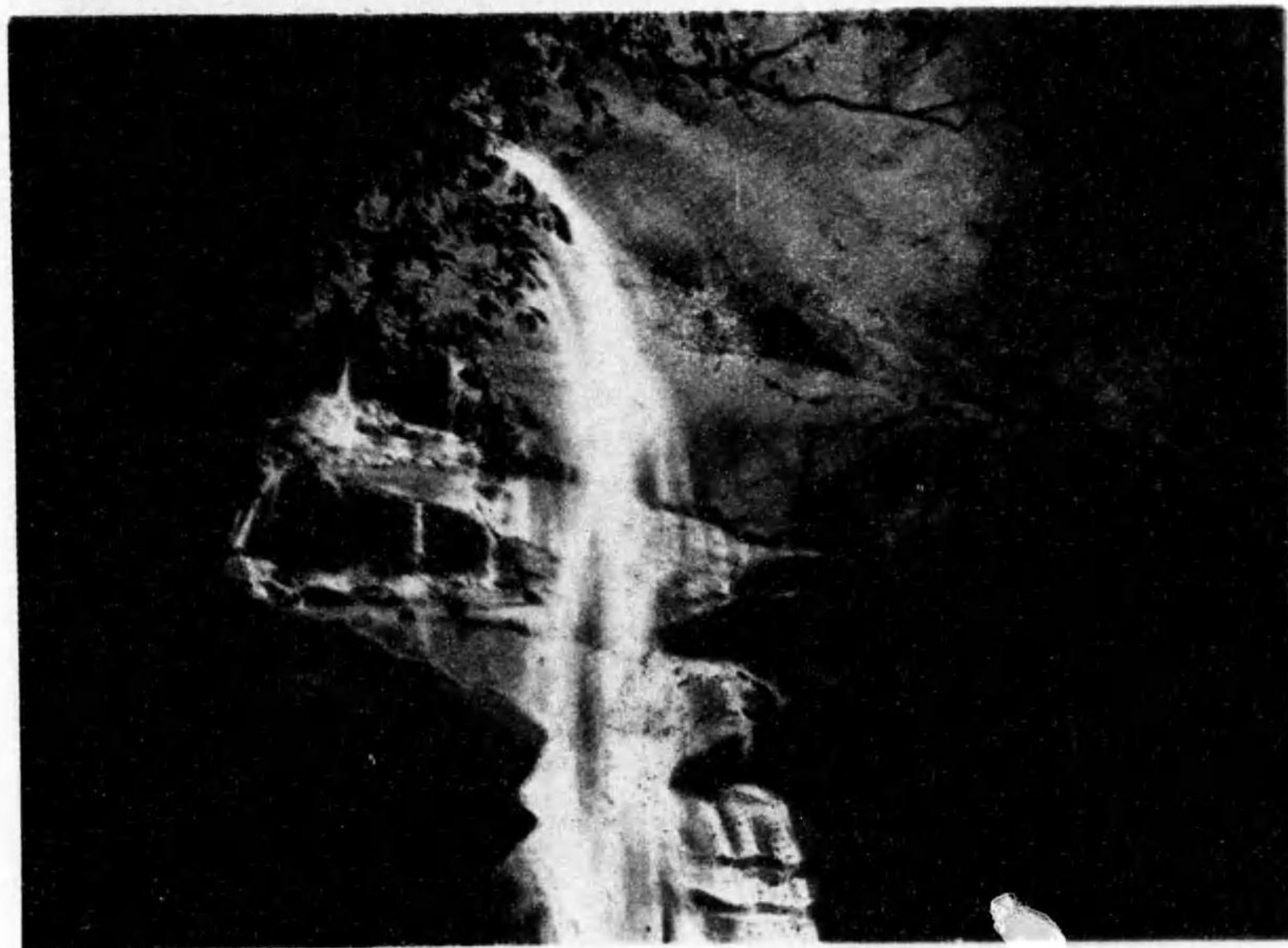
錦 帶 席  
 かつ葉 紅千代 桃太郎 喜久丸 小次郎 錦千代  
 仲之町 電話五七五番



下：千丈の鳴瀧と

# 豊豫社寫真製版完備

紀念印行



## 序

新興八幡濱市内に於ける最近の經濟情勢と主なる商工業者を、  
汎く内外に紹介して商取引の伴侶たらしめ併せて本市の全貌を  
觀察するに必要な資料を蒐集し編纂刊行せるものなり。  
然れども公務繁劇の折柄勿々編輯せるものなれば遺漏なきを期  
し難きも參考資料の一端たるを得ば望外の光榮とする所なり。

昭和十二年八月

編者誌





昭和十二年八月

本誌は本市の発展の歴史を記し、市民の生活の向上を期す。其の爲め、本市の歴史、地理、産業、交通、教育、文化、スポーツ、その他、あらゆる方面にわたって、調査し、採集し、編集し、印刷し、出版する。其の爲め、本市の歴史、地理、産業、交通、教育、文化、スポーツ、その他、あらゆる方面にわたって、調査し、採集し、編集し、印刷し、出版する。

編者 志



目次

一、沿革	一	九、任意組合	一九
二、位置地勢	二	2 任意組合	一九
1 土地面積及廣ぼう	二	1 鉄道	二三
2 港面積及水深	三	2 自動車	二三
3 潮流	三	3 道路	三四
三、氣候	三	4 海路	三六
四、戸數及人口	四	(イ)入港船舶	三七
五、産業	五	(ロ)乗降船客移出入貨物	三六
1 商業	五	5 郵便、電信、電話	三六
2 工業	六	一〇、金融	三〇
3 生産物	八	1 銀行	三〇
4 職業別戸數	九	2 無盡會社	三三
六、工場	一〇	3 産業組合	三三
1 事業別工場調	一三	一一、市場、授産場	三三
七、主要産物	一四	一二、商工會議所	三四
八、商工業組合	一八	一三、市政	四〇
1 同業組合	一八	一四、官公署	四一

一五、學 校	四
一六、會 社	四
1 株式會社	四
2 合 資 會 社	四
3 合 名 會 社	四
一七、新 聞 社	五
一八、娛樂機關、集會場	五
一九、電氣及水道	五
二〇、專 賣 品	五
二一、八幡濱附近の遊覽地と史蹟	五

附 錄  
商 工 人 名 錄

一、市 長	一
二、市 長 補 佐	一
三、市 長 補 佐 補 佐	一
四、市 長 補 佐 補 佐 補 佐	一
五、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一
六、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一
七、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一
八、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一
九、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一
十、市 長 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐 補 佐	一

一、沿 革

慶長十九年十二月伊達遠江守秀宗が宇和郡を領するに至つて元和元年三月宇和島城に入城してより以來八幡濱は其の所領に屬する一漁村に過ぎなかつたのであつたが、明治維新となつて宇和島藩は宇和島縣と改められ明治四年第十七大區を八幡濱に置かれ同五年宇和島、吉田、大洲、新谷の四縣を合併して神山縣と改稱され、同六年三月更に石槌縣を合せて愛媛縣と稱するに至りて之に直屬し同十二年郡制實施と共に西宇和郡役所を八幡濱に設置せられ、同二十三年町村制の施行に伴ひ矢野崎村及栗之浦を分離して八幡濱町を形成したのである。

後昭和五年一月再び矢野崎村を併合し更に昭和十年二月建國の佳節に當つて神山町、千丈及舌田村を合併して同時に市制を施き現在の八幡濱市と爲つたのであつて、實に二百年前戸數僅かに二百内外の一寒村が今日に於て戸數六千六百餘人口三万一千餘に達する都市となり、今や國鐵豫讃線の開通を目睫の間に迎へ併せて九四連絡の要衝として今後の躍進を期待されて居る。

## 二、位置地勢

八幡濱市は愛媛縣の西南、西宇和郡の中央に位し北及北西は川之石町、喜須來村、日土村と境し東は喜多郡平野村、南久米村に東南は東宇和郡多田村に南は双岩村、川上村に接して三方悉く山に圍まれ西の一方のみ滄茫たる宇和海に臨んで居るので、遠くは寶曆年間現在の堀川町を埋立て、繫船場を設けたのを始めとして、明治五年以來前後數十回に亘つて埋立事業を繼續して市街地の擴大を行つて現大の廣表を爲すに至つたものであつて、其の他は五反田、松柏の地域を貫流して居る千丈、五反田兩川の流域に沿ふて平坦地を有するの外は概ね山腹を開墾して南豫地方特有の段々畑に農耕を營んで居る。

### 土地

#### (一)面積及廣表

面	積	廣	
		東	西
極東	極西	距離	極南
極北	距離	極東	極西
距離	極南	極北	距離

昭和十二年八月末現在

三八、六八六七畧 古 籾

諏訪崎

二、三〇米

深 山

黒 窪

一六、七三米

#### (2) 港面積及水深

昭和十二年八月末現在

總	面	積	碇泊所廣表		港内合排水深		
			東	西	滿潮	干潮	
七九二、三三二	平方米	南	北	一、二七米	二、五七米	五米乃至二三米	三米乃至二一米

#### (3) 潮 流

昭和十二年八月末現在

滿潮時は南方より東漸して盈ち、干潮時は東より北岸に沿ふて西方に退虚する。

## 三、氣 候

八幡濱市は全國第一の長岬佐田の岬の根底に位し、西に宇和海を臨み東、南、北の三方悉く山に圍まれて居るので、氣温の變動少なく四時温和な氣候と明朗な風光に恵ま

れて居る。而して一ケ年の温度は最高攝氏三十五度最低零下二度内外平均最高二十五度五最低六度六であつて寒暑共に中和を得て人質亦自ら敏捷活潑で生氣常に横溢せるの感がある

#### 四、戸數及人口

八幡濱は今の八幡山及び大法寺山の裾を回る海岸を點綴してゐた商家と、栗之浦及向灘とに散在してゐた漁家とを併せて八幡濱浦と稱して戸數僅かに二百内外の一寒村であつて、明治二十三年町村制施行と同時に町制を布いた當時は戸數僅かに九百人口四千に過ぎなかつたが、商工業の著しい發展に伴ふて次第に海面及耕地を埋立て丘陵を開拓して市街地を構成し、人口戸數は頓に増加するに至つたのであるが、昭和五年一月に隣村矢野崎村を併合し後昭和十年二月神山町、千丈、舌田村を合併して市制を布き、現在に於ては戸數六千六百餘人口三萬一千餘を算する商工都市と成つたのである

昭和十二年一月末現在

區別	戸數	人口		平均一戸人口
		男	女	
計				

本籍	現住	男	女	計
六、二〇六	六、六〇七	一五、四九二	一五、八七七	三、三六八
		一四、九五九	一六、二七七	三、二六八
				四、七一

#### 五、産業

##### (一) 商業

八幡濱市は素と海濱に面した山裾を繞つて點綴せる農漁村の發達したもので、即ち今日の殷盛を招來した大なる素因は唯西方一面に天惠の良港を擁して居た地勢の利の然らしむるものであつて、而も天氣清朗の日に於ては對岸九洲を指呼の間に望み得る最近距離に在つて、往時は市街の東南部本町、濱之町、船場通りが商業の中心地帯となつて盛に九州、土佐南部及阪神地方と取引を行ひ、遠く長崎の和蘭陀商人と貿易を爲し或は當時最も交易の取締が嚴重であつた鹿兒島より薩摩緋を移入する等、頗る機敏な活動を續け各地との商取引は極めて頻繁となるに従ひ、漸次戸口の増加を示し商業地帯の狹隘を告ぐるに至つたので逐年海面及耕地を埋立て、市街地の擴張を行ふに伴ひ紡績工業次第に勃興し九州、土佐並に南豫に亘る物資の取引地として異數の進歩發

達を遂げ商業の中心亦漸く西北に移動し現在は新町、新港方面が最も殷賑を極め矢野町、舊港方面之に次いで居るが近く國鉄の開通と驛港間幹線道路の改修に依つては幾分の變遷を來すであろうと豫測する。

而して市内商品の仕入地は概して京阪神地方で、顧客は市内及西宇和郡内一圓と東宇和郡の山間部に亘つて居る。市街は最近新町通りをアスファルトに補装して居るが續いて矢野町、船場通り、大黒町方面を補装する外街路照明等も殆んど市内一帯に整備して居て、店頭裝飾其他店舗の構造にも嶄新な様式を配合し、商品に於ては最新の流行品を撰擇して取扱ひ廣告戰術等にも優秀奇抜な意匠を凝らして大に商勢の擴充に努めて居る。

尙特殊の商業區として遠近一帶の物資を集散する新港通りの八幡濱魚市場 魚類共同販賣所、八幡濱繭糸賣買所 「カ青物市場及矢野町の共同青果市場松蔭の畜牛市場等は特に殷盛を極め、將來益々發展する可能性を持つて居る。

## (2) 工業

八幡濱は耕地面積が狹隘な爲林業か漁業より他に適當の生業が無かつたので天然の良港を利用して交通運輸の發達に努め商取引の擴大に精進した結果と、水量が豊富で良

質である爲自ら工業の發展を促すに至つたのであつて、本市の織物業の起原は今より約九十年前文政の頃布喜川の里正攝津八郎氏は、地方婦人が機械の技に優れてゐる事に着眼し、松山地方の高機を視察して一台を購入し二名の織女を備入れて綿織物を製産したのが、當市織物の嚆矢で昔時は租税の代りに織物を納めたと云ふ記録さへ殘されて居る。

其の機械工業は年と共に進歩發達するに及び八幡濱織物輸出工業組合を設立して業者の統制指導を圖り、盛に海外輸出向の綿織物を製産して居るが特に南洋輸出の織物は今治市の製品を凌駕し、之が年産額は優に八百七十餘萬圓に達して居る尙斯業の助長機關として縣立工業試驗場の依托分場に準ずる共同染工場を設立して専ら製品技術の進歩改善に努め品質の向上と聲價の發揚に精進活躍して居るのである。

次に生糸は積年糸價の低落に禍されて稍頹勢を辿つて居るが尙未だ百四十萬圓の産額を有してゐる狀況であつて、其他醸造技術の發達に依つて廣く内外に好評を博して居る清酒、醬油は主として九州、土佐方面に移出され、次で縣下第一の産額を有する凍氷は東、西宇和郡及喜多郡一圓に亘つて配給を行つてゐるが尙又市内に集散する大量の漁獲物の冷凍貯藏に充用せられて其の需用は益々増加の勢を示して居る。

(3) 生産物

元來霸氣に富む本市民は古來洋々たる蒼海を生命線として漁業に志す者が多かつたので其の發達著しく年々機船底曳網漁業と沿岸漁業の發展に伴ひ魚類の漁獲高年額四十萬圓に達し魚市場取扱金高七十八萬圓に達する盛況を示して居るので従つて水産加工品として他の追隨を許さない蒲鉾、竹輪等の製産額亦七十萬圓に上り其の大部分は關西各地に移出されて居るが又之を罐詰として北米、濠洲、布哇、新嘉坡等海外各地に輸出して其の眞價を認められ逐年需要激増の趨勢を示して前途洋々たるものがある次に清酒醬油の醸造高は年額五十一萬圓に垂んとし販路は九州、土佐方面で毎年醸造法に改善を加へ品質の向上に研鑽し逐年名聲を昂めつゝある。又柑橘類の産額は三十九萬圓内外であるが品質の優良さに於て全國に聲價を博して居るので、漸次海外にまで喧傳され現在では滿洲、北米地方に輸出し大に取引の増加を示して居る。尚又農産加工品として果實罐詰を製産する至り内地は勿論海外市場にまで取引せられ需要日に増す情勢であるので年々果樹を増植する傾向で將來重要な物産として非常な發展を爲すものと期待されて居る。

(4) 職業別戸數

昭和十二年一月末現在

職業別	戸數		計數
	本業	副業	
商業	二、七六三	七九二	三、五五五
工業	四五二	二六五	七一七
農業	一、八七九	七四二	二、六二一
水産業	四一七	三七四	七九一
畜産業	一七	一四	三一
林業	一〇	三	一三
鑛業	四	三	七
交通業	一八六	二二	二〇八
公務及自由業	三八二	九六	四七八
其他ノ職業	四〇八	一六四	五七二
無職	八九	一	八九
計	六、六〇七	二、四七五	九、〇八二

六、工場

(昭和十二年八月末現在)

工場名稱	所在地	主業事業	事業開始年月	職工數	工場主氏名
丸喜綿布株式會社工場	八幡濱市大字向灘	綿織物業	大正九年一月	六五〇	丸喜綿布株式會社
八幡濱織布株式會社工場	濱田町	同	大正八年十月	一四二	八幡濱織布株式會社
丸喜綿布株式會社第二工場	大字矢野町	同	昭和七年八月	一一〇	丸喜綿布株式會社
酒井織布工場	同	同	大正四年九月	八六	酒本 靜市
新川織布工場	大字松柏	同	昭和七年六月	六七	菊池 誠十郎
喜久屋織布工場	南大黒町	同	明治三二年一月	二八	菊池 三郎
昭和タール工場	大字五反田	同	昭和七年十月	三〇	昭和タール工場
神山綿布工場	同	同	昭和九年七月	二〇	神山綿布合資會社
松田織布工場	同	同	大正三年六月	一五	合資會社松田商店
兵頭織布工場	千代田町	同	大正四年九月	一五	兵頭 好治郎
喜久屋支店織物工場	濱田町	同	昭和四年七月	一四	菊池 復一
矢野織布工場	大字矢野町	同	明治三四年四月	八	矢野 甚五兵衛
佐々木織布工場	濱田町	同	明治三四年八月	六	佐々木 英吉
八幡濱織物工業組合事業部	同	整理業及染色業	大正六年二月	六三	八幡濱織物工業組合

工場名稱	所在地	主業事業	事業開始年月	職工數	工場主氏名
鐘淵紡績株式會社	大字五反田	生糸製造	昭和八年八月	二六二	鐘淵紡績株式會社
八幡製糸工場	大字大平	全	大正五年六月	七八	水 關 正一
水關製糸工場	大字五反田	全	昭和二年六月	六二	宇 都 宮 規賢
川舞製糸工場	大字松柏	全	昭和三年六月	五三	松尾組合製糸場
松尾製糸工場	大字五反田	全	明治三二年六月	五二	大 上 吉藏
大上製糸工場	同	全	大正二年六月	四八	谷 池 惠一
谷池製糸工場	同	全	昭和七年十月	三八	新 地 卯助
新地製糸工場	東矢野町	全	昭和三年六月	二八	松 本 梅雄
松本製糸工場	大字大平	乾 繭業	昭和二年六月	七一	西字和乾繭共同販賣利用組合
西字和乾繭共同販賣利用組合	大字佐島	硫 磺業	昭和九年五月	三八	大阪アルカリ土地株式會社
大阪アルカリ土地株式會社	大字栗野浦	造船業	大正三年八月	二二	八幡濱運輸株式會社
八幡濱運輸株式會社	濱之町	全	大正五年七月	一六	宮 崎 繁太郎
宮崎造船株式會社	同	製 鐵業	大正二年三月	一二	合資會社共榮組鐵工所
共榮組鐵工所	港口	製 鐵業	昭和三年六月	一一	小 林 定吉
八幡濱鐵工所	大字向灘	全	大正七年一月	六	沖 本 喜太郎
沖本鐵工所	大字大平	織 機業	昭和七年八月	三	松 浦 松太郎
松浦鐵工所	同	鑄 造業	昭和四年一月	三	吉 川 鑄工所



菊池材木株式會社製材工場	大成製材	大矢野製材工場	吉見製材	松下製材	中川製材	西村製材	松代木業	野本自轉車工場	田中製繩	青木製油	上田酒造	飯森酒造場第二工場	末光酒造	川本酒造	兵頭酒造	宇都宮酒造
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
沖新田	大黒町五丁目	大字大平	舊港通	北大黒町	沖新田	東矢野町	大字栗野浦	大字大平	大字向灘	幸町三丁目	新川通	新町四丁目	大字大平	大字向灘	大字向灘	矢野町五丁目
製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業
昭和二年三月	大正六年五月	大正七年四月	大正九年七月	大正四年四月	昭和六年一月	昭和八年八月	昭和七年十月	明治廿七年七月	大正二年四月	大正七年六月	大正六年十月	大正四年十月	明治廿九年十月	明治廿三年十月	明治廿三年十月	明治廿三年十月
四二	一七	八	七	五	五	三	三	六	二八	二四	九	九	七	六	六	五
菊池材木株式會社	合資會社大成商店	大矢野久榮	吉見福治	松下清太郎	合資會社中川製材所	西村勇吉	松代木業合資會社	野本伊三郎	田中榮一	青木繁吉	上田梅一	飯森酒造部	末光幸三郎	川本庄藏	兵頭富美子	宇都宮莊一郎

二宮酒造場	小泉酒造店	八幡濱製氷冷蔵株式會社工場	鈴間屋兄弟商會	そげや鉢浦店	松本シヤム商會	山本嘉一郎商店	三友商會	平田商會	スダ1商會	豊登印刷	大登印刷	二宮活版	精弘
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
矢野町三丁目	大字矢野町	沖新田	北大黒町	船場通	大字五反田	朝日町	大黒町四丁目	大黒町三丁目	朝日町	大字松柏	大黒町一丁目	新町四丁目	南大黒町
全	全	製氷業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	製材業	印刷業	印刷業	印刷業	印刷業
明治廿三年十月	明治廿一年一月	大正四年四月	明治廿一年十月	明治廿一年十月	大正九年五月	明治廿一年十月	明治廿三年二月	大正十年十月	大正八年三月	大正九年一月	明治廿九年八月	大正四年三月	大正七年七月
五	五	七	五	五	一八	二五	一一	一〇	九	二〇	八	七	五
二宮敏夫	小泉文治	八幡濱製氷冷蔵株式會社	鈴間屋甚平	叶増藏	松本永吉	山本嘉一郎	森川進	平田音平	山本矩太郎	菊池住一	大登彌平	二宮秀次郎	菊池富太郎

事業別工場調  
 昭和十二年八月末現在

工業物										
綿織物	清酒	生糸	罐詰	礦油	木製品	金屬製品	竹製品	絹織物	瓦管	木製品
織物	酒	糸	詰	油	品	品	品	物	管	品
八、七二七、二〇一円	一、四〇八、五八三	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇四、一四七	一、〇〇〇、〇〇〇	三二、二四〇	三一、〇〇〇	四九、〇七三	一二、一九〇	二四、三二五	一三、一七八
五二〇、六〇〇	一、八二、一〇〇	一〇〇、四〇〇	一八二、一〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇	一〇〇、四〇〇

品名	七、主要物産		事業別	工場數	職工數		事業別	工場數	職工數	
	産	額			男	女			男	女
木製品製造業	一七	六	木製品製造業	一	一	一	木製品製造業	一	一	一
製材業	七	七	製材業	二	四	七	製材業	二	四	七
機械器具製造業	二	二	機械器具製造業	五	五	二	機械器具製造業	五	五	二
造船並修繕業	一	一	造船並修繕業	一	一	一	造船並修繕業	一	一	一
硫酸製造業	一	一	硫酸製造業	一	一	一	硫酸製造業	一	一	一
乾繭並倉庫業	一	一	乾繭並倉庫業	一	一	一	乾繭並倉庫業	一	一	一
生糸製造業	一	一	生糸製造業	一	一	一	生糸製造業	一	一	一
織物再整染色業	一	一	織物再整染色業	一	一	一	織物再整染色業	一	一	一
綿織物製造業	一	一	綿織物製造業	一	一	一	綿織物製造業	一	一	一
計	五	八	計	二	二	二	計	二	二	二
食品製造業	一	一	食品製造業	一	一	一	食品製造業	一	一	一
印刷業	一	一	印刷業	一	一	一	印刷業	一	一	一
水産食料製造業	一	一	水産食料製造業	一	一	一	水産食料製造業	一	一	一
清酒釀造業	一	一	清酒釀造業	一	一	一	清酒釀造業	一	一	一
製氷冷蔵業	一	一	製氷冷蔵業	一	一	一	製氷冷蔵業	一	一	一
油脂製造業	一	一	油脂製造業	一	一	一	油脂製造業	一	一	一
菓製品製造業	一	一	菓製品製造業	一	一	一	菓製品製造業	一	一	一
計	二	二	計	二	二	二	計	二	二	二
昭和十二年一月末現在	七	九	昭和十二年一月末現在	二	二	二	昭和十二年一月末現在	二	二	二

計	林產物	畜產物	計	計	計
竹	薪木	家鷄肉牛	生	其蔬菓	其蔬菓
材	炭材	畜類類乳	繭	ノ菜及花卉	ノ菜及花卉
七三、二五七	一九、六八二	一〇、八〇〇	二五三、三七一	六三、〇八七	九九、四〇四
一三、八九三	三九、六八二	五〇、一一四	四、五三八	二二、四一〇	二二、四一〇
一五三、〇九四	二、九〇〇	八九、二八〇			

工業物	農產物	水產物	計	計	計
食用農產物	園藝農產物	柑裸小	米	漁獲物	其蒲煮
物	物	橘麥麥	品	物	他類鯧
九三、五三一	三三、九四九	二〇五、〇〇〇	六九、三三四	一〇七、九九一	一〇七、九九一
			一一、九四〇	二六二、五八六	二六二、五八六
				四八六、一〇〇	四八六、一〇〇
				三〇、八八六	三〇、八八六
				七〇九、六〇〇	七〇九、六〇〇
				三六、〇〇〇	三六、〇〇〇
				一二、五六二、五六五	一二、五六二、五六五
				二九、四七二	二九、四七二
				一二、五一二	一二、五一二

### 八、商工業組合

(昭和十二年八月末現在)

名	稱	所在地	創立年月	地區	組合員數	理事長	電話番號
八幡濱	織物工業組合	八幡濱市濱田町	昭和六年五月	八幡濱市	三〇	酒井 賴一	八八六
八幡濱	浦銚同業組合	沖新田	昭和七年六月	八幡濱市	六一	宮本 政重	六〇三
伊豫	八字製材同業組合	大黒町	昭和七年九月	八幡濱市	二三	渡部 百三	二九五
八幡濱	鐵工機械器具同業組合	大字栗野浦	昭和七年九月	八幡濱市	一九	中村 傳吾	二九五
八幡濱	製粉同業組合	大字五反田	昭和七年七月	八幡濱市	二二	宇都宮 平治	二九五
南豫	自動車運輸商業組合	本町	昭和七年一月	八幡濱市	八八	森永 富茂	五三五
(昭和十二年八月末現在)							
名	稱	所在地	創立年月	組合員數	組 合 長	電話番號	
八幡濱	酒造組合	八幡濱市新川通	明治卅三年三月	四五	佐々木 隆孝	八八六	
八幡濱	地方草煙小賣人組合	天神通	昭和七年七月	二五〇	高橋 謙吉	二九五	
八幡濱	地方鹽小賣人組合	全矢野町四丁目	昭和七年七月	一二八	宇都宮 安治	五三五	

### 任意組合

(昭和十二年八月末現在)

西宇和郡	醬油釀造組合	全 本町一丁目	明治卅五年五月	二二	淺井 重平	二四四	
西宇和郡	果物同業組合	全 大字矢野町	大正五年八月	二、三、七、九	得能 彰	二四四	
西宇和郡	畜産組合	全 松蔭	明治卅五年二月	四、〇〇〇	井田 與之平	一六五	
(昭和十二年八月末現在)							
名	稱	所在地	創立年月	組合員數	組 合 長	電話番號	
八幡濱	吳服商組合	八幡濱市新町四丁目	昭和二年九月	一五	平田 造酒太郎	二三九	
八幡濱	洋品雜貨聯盟	全	昭和六年二月	一三	米子 常太郎	二七九	
八幡濱	洋服商同業組合	全 新町二丁目	大正十年三月	一〇	森分 守	二一五	
八幡濱	履物同業組合	全 大黒町一丁目	大正元年三月	一九	倉田 丈吉	二五五	
八幡濱	指物同業組合	全 新町三丁目	昭和十年七月	一七	清水 長治郎	四一二	
八幡濱	時計商組合	全	昭和七年三月	八	梶田 八東	一三三	
西宇和	紙文具商組合	全 船場通	昭和七年一月	一四	菊池 儀藏	一一四	
西宇和	印刷同業組合	全 朝日町	昭和六年二月	一二	川尻 茂平	四〇七	
八幡濱	旅館組合	全 大黒町三丁目	大正九年九月	一七	松岡 兵太郎	三二六	
八幡濱	料理屋同業組合	全 清水町	大正元年三月	三一	二宮 三三郎	六二四	

八幡濱カフエー同業組合	全	大黒町三丁目	昭和二年五月	一三	宮崎牧三郎	五三
八幡濱飲食店同業組合	全	東矢野町	昭和八年六月	二六	清水和吉	七五
八幡濱市酒類販賣同業組合	全	大黒町一丁目	昭和十年九月	一九	村上良	二六
八幡濱菓子同業組合	全	船場通	昭和六年一月	五三	後藤要	二八
八幡濱市薬業組合	全	新町一丁目	大正三年三月	一七	泉壽住	一九
四宇和冷凍菓組合	全	南大黒町	昭和十年九月	二三	泉伊勢松	六八
八幡濱商友會	全	新町五丁目	大正三年三月	一四	小林謙太郎	二七
八幡濱「カ」魚仲買組合	全	北大黒町	大正四年八月	八一	渡邊長平	四六
八幡濱魚類共同販賣所仲買組合	全	大黒町五丁目	大正八年八月	四五	坂田惣三郎	三四
八幡濱藝妓置屋同業組合	全	櫻小路	大正九年九月	一七	村上秀	三九
八幡濱容師組合八幡濱支部	全	本町一丁目	明治三十一年一月	六〇	片山園介	三九
八幡濱湯屋同業組合	全	須崎町	昭和二年三月	七	加勢善治	二七
八幡濱土木建築請負同業組合	全	今矢野町五丁目	昭和五年四月	一七〇	兵頭常利	二七
八幡濱左官同業組合	全	片山町	昭和十年二月	四五	高田鶴一郎	六三
八幡濱貨物自動車組合	全	港口	昭和五年八月	一七	今田勝一	五三
八幡濱夜市組合	全	仲之町	昭和五年八月	三四	西森虎一	五八
愛媛縣自轉車商組合四宇和支部	全	今矢野町四丁目	昭和五年四月	二〇	林善太郎	五四
八幡濱市枇杷生産出荷組合	全	本町一丁目	昭和十年四月	八〇	菊池惣市	一

向灘日の丸果物生産出荷組合	全	大字向灘	昭和八年九月	四八	木下綱太郎	
向灘朝日果物生産出荷組合	全		昭和七年九月	四六	大家經太郎	
④向灘果物生産出荷組合	全	栗野浦	昭和九年七月	五八	魚部牧太郎	
神山果物生産出荷組合	全	五反田	大正三年五月	三〇	松浦龜芳	
川舞果物生産出荷組合	全	松柏	昭和七年五月	三五	菊池國市	
千丈夏柑出荷組合	全	松柏	昭和五年五月	七〇	菊池國市	
舌田旭果物生産出荷組合	全	舌間	昭和九年八月	七八	矢野惣市	

### 九、交通運輸及通信

元來本市は天與の地形を利し海に依つて發展したものであつて従つて港灣は其の生命であり古來海運の便に依つて現在の殷盛を招來したのであるが。尙一層港灣の施設を擴充する目的で去る昭和十年港灣改修工事に着手し經費十二萬圓を費して延長一六七米の防波堤を構築し引續いて四十五萬圓の豫算で防波堤七五米の延長を行ひ繫船岸塵及荷揚場二八〇米其の他階段、物揚場三一米の修築等諸般の設備を完了する事に決して居る然して之が完成の曉は千噸級二隻五百噸級三隻の汽船を同時に繋留し得らるゝので今後益々港灣の使命を發揮すると共に海陸連絡の利便を促進し本市が將來の發展

を期待されて居る。

陸は三方悉く山に圍まれて何れも峻険な坂路のみであるが爲交通運輸の便拓けざる事  
久しきに及んで居たが、明治三十年以來國縣道の幹線を始め各村落の里道に至るまで  
順次に改修したので交通の便漸く拓け、後大正五年我市の有志によつて本縣自動車運  
輸事業の濫觴である伊豫自動車株式會社が創立されて文化的交通機關が備はり松山、  
大洲、卯之町、宇和島地方との交易に一新紀元を書し、延ひては郵便物、新聞等最も  
迅を速尊ぶ貨物の輸送を行はるゝやうになつたので地方文化の啓發と交通の發達を促  
す事頗る甚大であつたが、其の後豫州、保内、三瓶自動車會社等相次いで興り、併せ  
て縣内各地は素より縣外の主要地に到る貨物自動車を經營するもの續出して陸上の交  
通運輸機關は全く充實したのである。

然して今や國量豫讃線は伊豫平野驛まで開通し更に終点八幡濱驛への全通は正に六ヶ  
月の近きに迫り、尙且つ八幡濱驛より卯之町を経て宇和島に至る線路も近く開通の豫  
定であり、延ひては四國循環線の完成も近き將來に屬してゐるので、應て九州四國連  
絡の要衝として畫期的發展を約束されてゐる。又一方海上の交通運輸は大型汽船によ  
る大阪宿毛線、宇和島門司線、宇和島別府急行線、及小型汽船の三崎半島沿岸線、三  
瓶方面沿岸線、八幡濱別府線、八幡濱宿毛線、宇和島尾道線、八幡濱大阪直行線等各

港發着の船舶は日夜來往輻奏し海運の便著しく發達してゐるのである。

通信機關としては二等局として八幡濱郵便局あり檜谷、新港、向灘、五反田に三等無  
集配局があつて通信事務を掌つてゐるが、尙八幡濱郵便局には電話分室を設置して專  
ら共電式による電話事務を取扱ひ港口に自動電話を設けて一般の利便に資する等通信  
機關は遺憾なく整備れてゐるのである。

### (1) 鐵道

國有鐵道は八幡濱市より(昭和十三年三月全通)伊豫平野、大洲、松山、今治を経て  
香川縣高松市に達する豫讃線あり、伊豫平野驛へ約十分大洲町へ約十五分松山市へ約  
二時間今治市へ約四時間高松市へ約七時間で到達するのである現在本市より伊豫平  
野驛發着列車に連絡する自動車が行復してゐる所要時間は約五十分である

### (2) 自動車

八幡濱市を中心として私設會社の經營してゐる自動車は毎日數回各地へ往復してゐる  
尙又縣内主要地へは定期に發着してゐるが單に乗客便のみでなく貨物の運送を爲す定  
期不定期便も亦多數で交通運輸の便は頗る頻繁である其の交通運輸の系統路線は左の

通りである

- 八幡濱——伊豫平野——大洲間  
毎日 十二回  
三共自動車株式會社  
豫洲自動車株式會社
- 八幡濱——卯之町——宇和島間  
毎日 十一回  
三共自動車株式會社
- 八幡濱——三瓶間  
毎日 四回  
三瓶自動車株式會社
- 八幡濱——穴井間  
毎日 四回  
三瓶自動車株式會社
- 八幡濱——川之石間  
毎日 十八回  
三共自動車株式會社
- 八幡濱——日土——川之石間  
毎日 七回  
松本タクシー
- 市内バス 市立病院前——川舞橋間(二十分間毎に發車)  
毎日 十六回  
豫洲自動車株式會社

(3) 道路

市内の道路は近年漸次擴張改善せられつゝ、あるが既に新町、矢野町の一部はアスファ

ルトに補装せられ續いて船場通り、矢野町、大黒町、旧港通り、新港通り及港口に亘る全路線の補装を完了する豫定であつて尙國鐵開通に伴ひ驛、港間の交通運輸の迅速を圖る爲驛港間幹線道路の改修を企畫され本年度内に竣工する事に決してゐるので是等の施設が完成した曉は市街の面目は更に一新されるであらう

然して縣道大洲八幡濱線は夜晝峠を経て大洲に到り縣道松山宇和島線に連繋して松山に達し縣道宇和島八幡濱線は鳥越を経て宇和町に到り更に野村、宇和島に達することを得る。縣道八幡濱川之石線は喜須來村を経て川之石に縣道眞穴八幡濱線は川上、眞穴村を経て三瓶町に通し各線何れも伸、馬車、自動車の交通頻繁で八幡濱市を起点とし縣下主要地に至る距離は左の如くである

大洲町	五、一五	長濱町	九、三五
郡中町	一四、一九	久万町	一五、二七
松山市	七六、〇〇	三津濱町	七七、一八
北條町	七九、四七	新居濱町	一〇四、〇〇
今治市	一〇四、〇〇	西條町	一〇四、〇〇
三島町	一〇四、〇〇	川之江町	一〇四、〇〇
宇和町	四、三一	野村町	九、〇七
宇和島市	二六、〇〇	川之石町	一、二三

三瓶町 三、〇八

(4) 海路

八幡濱市は佐田岬の根底に在つて天然の良港を抱いてゐるので既に明治八年頃地方の實業家菊池清治氏が両舷推進式汽船新八幡丸を購入して阪神航路を開始されたので逐年交通運輸の便拓け商取引の進展と物資の集散を盛んならしむるに至つたので爾來本市を中心として東西宇和郡内沿岸各港は勿論九州・中國、阪神地方との海運の便非常に發達し現時八幡濱港を發着する主なる航路は左の通りである。

大阪宿毛線 毎日午後十時發 大阪行  
 寄港地 川之石—長濱—高濱—今治—高松—神戸  
 全 毎日午後五時發 宿毛行  
 寄港地 三瓶—吉田—宇和島—深浦  
 門司宇和島線 毎日午後四時半發 下關、門司行  
 寄港地 川之石  
 同 毎日午前四時發 宇和島行  
 寄港地 三瓶—吉田  
 九四連絡急行線 毎日午後十二時發 大分、別府行  
 毎日午後五時發 宇和島直航

宇和島尾ノ道線 毎日午後六時半發 尾ノ道行  
 寄港地 川之石—三崎—三机—郡中—三津濱—木之江—糸崎  
 同 毎日午前六時半發 吉田宇和島行  
 大阪直航線  
 宇和島別府線 毎日午前十時半發 三崎半島各港經由別府行  
 同 毎日午前四時發 宇和島直航  
 八幡濱宇和島線 毎日午前六時二十分發 三瓶方面沿岸各港經由宇和島行  
 同 毎日午後五時發 三瓶宇和島直航  
 八幡濱三崎線 毎日午前八時發 三崎半島沿岸各港經由三崎行  
 八幡濱鹽成線 毎日午前九時半發 川之石伊方町見經由鹽成行  
 八幡濱小築紫線 毎日午前十時發 宇和島經由小築紫行  
 八幡濱宿毛線 毎日午後六時發 宇和島中泊福浦船越深浦經由宿毛行  
 八幡濱皆江線 毎日午前五時初發 三瓶經由皆江往復  
 八幡濱伊方線 毎日午前六時ヨリ三十分毎ニ發 川之石經由伊方往復

(イ) 入港船舶

(昭和十一年十二月末現在)



汽船	船數	發動機船	帆船	合計
三七、三九〇隻	登簿噸數	船數	船數	船數
一、五三二、七六噸	登簿噸數	登簿噸數	登簿噸數	登簿噸數
一四、四四五隻	三四八、二八八噸	二、九〇九隻	七二、六〇二噸	五四、七四四隻
一、九五二、五九七噸				

(口) 乘降船客  
移出 入貨物

(昭和十一年十二月末現在)

乘船人員	上陸人員	一日平均	移出貨物	移入貨物
二五五、九五〇人	三三〇、三七一人	乘船人員 七一人 上陸人員 八七一人	數量 一〇六、五九噸	數量 五〇、一七噸
			價額 三六、四四、八五四圓	價額 三五、六五一、二九五圓

(5) 郵便電信

(昭和十二年一月末現在)

發信	種別	小包郵便	電信	外國電信
普通	普通	三、二四一、三四六	二〇、五〇九	四二、三三四
特殊	特殊	二七、九七九	六、三二七	四〇

着信	普通	三、七六七、七二七	二九、九七五	五〇、五八
繼續	特殊	四九、一八九	一〇、八八八	一三、一三六
中計	普通	二、八五七、三三〇	五四、七五〇	一〇四、九七八
	特殊	四四、一六五	四一、六一〇	八
	普通	九、八六六、三〇三	一〇五、二三四	
	特殊	三二、三三三	五九、八二五	

電話加入者

(昭和十二年一月末現在)

單獨	共同線	連接	無線	合計
五九五	一	一	二五	六二一

公衆電話

(昭和十二年一月末現在)

八幡濱港口棧橋前  
八幡濱郵便局  
向灘郵便局

自動電話  
番號公衆 一  
番外 一  
番外 二

一〇、金

融

本市金融業の種類は銀行、信用組合、無盡會社、公益質屋、私設質屋及金貸業者であつて各階級に應ずる金融機關は大體に備はつて居るが之等の業者は極めて堅實なる營業方針で經營してゐるので何れも相當の成績を擧げつゝある。而して當地に於ける金融の最盛期は繭資金の需用期と中元及年末の一般取引決算期等である。

(一) 銀行

明治二十二年に入幡濱銀行が設立されたのが本市に於ける金融機關の濫觴であるが是は大正八年に五十二銀行と合併して其の支店と成つてゐる。後二十九年に入幡濱商業銀行が生れ翌年三月には二十九銀行の出張所が置かれたが三十六年に支店と改稱され金融機關は漸次整つて來たのである。其の後入幡濱貯蓄銀行が設立されたのであるが明治四十一年高知銀行と合併し續いて其の支店となつて更に大正十二年四國銀行と改稱され現に其の支店が置かれてゐる。

又大正七年六月には大洲銀行支店を設置され此の外に神山町に五反田銀行があり地方金融界の擴充發達を遂げたのであるが後五反田銀行は入幡濱商業銀行に合併され、尙昭和九年入幡濱商業銀行、二十九銀行、大洲銀行三行の合併成り新に豫州銀行を創立して本店を入幡濱市に置き本市唯一の本店銀行として八郡四市四縣に亘り支店、出張所四十を有し健實なる内容と豊富なる融通力を持つて金融界に活躍し地方産業の發展に貢献してゐるのである。

(2) 無盡會社

本市に於ける無盡會社は南豫無盡金融株式會社の支店があるのみで其の他は無盡業法に依らない頼母子講又は無盡講なるものが多數設けられて相互金融の業を圖り中産以下の商工業者並に庶民の金融機關として重要視されてゐるのである。

(3) 信用組合

本市には明治三十九年に設立せられた入幡濱産業信用組合の外神山信用購買組合、向灘産業信用組合、合田信用販賣購買利用組合等が設置されて市内の庶民金融機關として一般商工業者並に農漁業者の爲に其の機能を發揮してゐる。

一、市 場

無盡會社

名	稱	所在地	創立年月	資本金	拂込金	所在地	電話番號
株式會社 豫州銀行	豫州銀行	八幡濱市船場通	昭和九年八月	二、三六、〇〇〇	二、三六、〇〇〇	八幡濱市船場通	二、三九、三〇、二七
全 矢野町支店	全	全 矢野町	全	一	一	全 矢野町	一〇七
全 南工業會社	全	全 大字五反田	全	一	一	全 大字五反田	四二六
株式會社 五十二銀行 八幡濱支店	五十二銀行 八幡濱支店	全 新町二丁目	明治二十一年九月	七、二五、〇〇〇	五、四八、一三五	全 新町二丁目	五、三三、九
株式會社 四國銀行 八幡濱支店	四國銀行 八幡濱支店	全 船場通	明治二十二年四月	二、二五、〇〇〇	七、〇五、〇〇〇	全 船場通	九

產業組合

名	稱	所在地	設立年月	資本金	拂込金	所在地	電話番號
南豫無盡金融株式會社	南豫無盡金融株式會社	八幡濱市南大黒町	昭和八年十月	一〇〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	八幡濱市南大黒町	五一九

(昭和十二年八月末現在)

名	稱	所在地	創立年月	組合員數	理事長	電話
八幡濱產業信用組合	八幡濱產業信用組合	八幡濱市船場通	明治廿九年三月	一、二四〇	平田 恭三	四四二
八幡濱消費購買利用組合	八幡濱消費購買利用組合	全大黒町四丁目	昭和四年一月	三五九	阿部 武次郎	四四三
向灘產業信用組合	向灘產業信用組合	全 大字向灘	明治廿一年一月	二三〇	今泉 鐵三郎	二一四
神山信用購買組合	神山信用購買組合	全 大字矢野町	明治廿九年七月	六九一	岡川 滿太郎	七六
千丈信用販賣購買利用組合	千丈信用販賣購買利用組合	全 大字松柏	昭和九年五月	二九〇	菊池 國市	
舌田信用販賣購買利用組合	舌田信用販賣購買利用組合	全 大字合田	昭和八年四月	四六五	矢野 千束	
合田購買組合	合田購買組合	全	昭和三年十月	二〇八	山田 松太郎	四四七
西字和農産加工組合	西字和農産加工組合	全 大字矢野町	昭和九年四月	一九七	上田 清治	二四四
西字和乾蘭共同販賣利用組合	西字和乾蘭共同販賣利用組合	全 大字大平	昭和十二年二月	九三	紀井 清治	二六〇

(昭和十二年一月一現在)

名	稱	所在地	一ヶ年取扱金額	取扱品目
株式會社 八幡濱蘭糸賣買所	八幡濱市新港通	五四三、五〇〇	生糸、生、乾蘭	
八幡濱魚市場株式會社	全	五二三、二〇〇	生魚介	

八幡濱魚類共同販賣所	全	沖新田	二五七、六〇〇	全
八幡濱共同青物市場	全	矢野町	五五、〇〇〇	果物蔬菜
青物市場	全	新港通	七二、〇〇〇	全

授産場

(昭和十二年三月末現在)

名稱	組織	事業	職員		經費
			男	女	
互福會授産場	八幡濱市互福會 縣、市共同經營	竹箸製造	一	一〇	一五、二五一、四〇〇

一一六、八幡濱商工會議所

明治三十九年八幡濱商工會が設立されて地方商工業者の中樞機關として業界の振展向上に貢献すること三十有餘年の久しきに亙つてゐたが、時世の進運と商工業の發達に伴ひ昭和十年二月隣接町村を合併して市制を布くに至るや商工會の組織を改め商工會議所を設立する事に決し、爾來萬般の準備を完了して昭和十一年十二月八幡濱商工會

議所を設立したのであつて、初代会頭に佐々木長治氏を推し専ら商工業に關する指導統制の機關として本市産業の改善發達に貢献し其の使命の達成に邁進努力して居る。現在の役員議員並に事務局員は左の通りである (昭和十二年九月現在)

議員

議席	氏名	住所又ハ營業所	職業	電話番号
一	株式會社豫州銀行代表者 佐々木長治	船場通	銀行頭取	五六三〇
二	丸喜綿布株式會社代表者 淺井重平	本町	醬油醸造業	一六三〇
三	菊池本 復 市	濱田町	綿布會社取締役	二九八六
四	大西三郎	濱田町	綿織物業	二六九〇
五	松平政次	戎町	米穀商	四四〇〇
六	山本 競	新川	神佛具商	四八八九
七	谷池壽惠	新川	旅館業	六一八二
八	青木繁	大黒町	製糸業	五七一
九	高橋定龍	大黒町	鑛油製造業	五七三
一〇	合資會社共盛社代表者 渡邊善助	港町	運輸業	三一五
一一	盛資會社代表者 渡邊善助	矢野町	藥種商業	四一九

商業部

顧問 役員 會頭 副會頭 常議員 全 全 全 全 全 全 全 常 全 副 會 各 部 々 員 表

工業部

佐々木重長 淺井靜平 酒本競市 山本善 高橋一定 村上良 菊池一 兵頭安太郎 菊池滿隆

八幡濱市長 西村彌三郎

三〇

米子常太郎

新町四

洋品雜貨商

二七九

二九 二八 二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二

菊池兼弘	西森一	菊池滿隆	金本七	平田造	兵頭君太	木網吉波	小林鎌太	小平安太	坂本寅吉	酒井良吾	叶岡增三	宮村嘉太	中田鶴一	高池住一	菊池一	村上	池上
北	仲	新	大	新	松	矢	新	港	新	大	船	港	新	片	松	大	新
大	之	町	黑	町	町	野	町	町	町	字	場	町	町	山	黑	町	町
製	自	吳	鐵	吳	酒	食	米	米	菓	醬	蒲	荒	建	建	印	和	金
材	動	服	太	服	造	料	穀	穀	子	油	銻	物	具	築	刷	洋	物
業	車	太	物	太	造	品	荒	肥	釀	釀	製	具	請	請	刷	酒	製
	運	物	洋	物	業	商	物	料	造	造	造	商	業	業	業	販	製
	輸	雜	裁	裁	商	商	商	商	商	業	業	商	商	業	業	賣	業
	業	貨	商	商	業	商	商	商	商	業	業	商	商	業	業	業	商
三	三	二	二	一	二	二	一	五	二	四	二	六	一	一	二	二	二
七	〇	〇	〇	三	四	六	三	一	七	二	二	二	三	四	二	二	二
〇	七	六	八	四	九	二	〇	二	三	二	〇	九	七	〇	四	四	六

八幡濱商工會議所	名	役	員	職	費
	稱	會頭	副會頭	常議員	顧問
	一	二	七	一	
	四	一	三	六	九
	一	二	六	三	三
	七				七

昭和十一年九月一日現在

理事 八幡濱市大字矢野町 檜谷 矢野 信造

事務局職員

小村 林 鎌太郎  
村上 嘉一良  
中村 嘉三郎  
大山 西本三郎  
山池 上安治郎  
池田 上安治郎  
平田 田造酒太郎  
平田 田造酒太郎

坂本 寅一良  
村上 上安治郎  
菊池 本君良  
金本 君良  
兵頭 君良  
酒井 君良  
菊池 上安治郎  
村池 上安治郎  
坂本 寅一良

渡邊 龍一助  
高田 鶴一助  
菊池 滿一助  
金本 君良  
兵頭 君良  
酒井 君良  
菊池 上安治郎  
村池 上安治郎  
坂本 寅一良

理財部

部長 米子常太郎  
副部長 菊池滿隆郎

青木 繁吉  
酒井 良吾  
菊池 滿隆  
金本 七隆

葉上 增一良  
坂本 寅一良  
菊池 本君良  
松平 政治  
宮岡 告吉  
木岡 網告吉  
平田 安太  
渡邊 上龍治  
池田 上安治郎  
菊池 上安治郎  
平田 田造酒太郎

交通運輸部

部長 菊池壽一  
副部長 谷池復

西森 兼虎  
高橋 定一  
青木 繁吉

山本 勘一  
金山 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一  
高橋 本勘一

小田 鶴一  
酒井 君良  
兵頭 君良  
葉上 增一良  
菊池 上安治郎  
谷池 上安治郎  
菊池 上安治郎

藏弘彦一  
善一七  
善一七

一三、市 政

昭和十年二月隣接三ヶ町村を合併し紀元の佳節をトして市制を實施するに至り初代市長に酒井宗太郎氏を推して大に其の經綸に俟つ所ありしが惜むべし其の志未だ幾何ならずして不幸病魔の侵す所となり遂に起つ能はざるに至り次で西村彌三郎氏を推薦して専ら到度の革新諸般施設の改善整備に邁進し新興市勢の擴充に努め人口今や三萬一千を超へ格段の發展を遂げつゝある

理事者  
市長 西村彌三郎  
助役 川又金太郎  
収入役 菊池富次郎  
市會議長 山谷池立惠一  
同副議長 山崎泰

廣瀨正三郎  
菊池正三郎  
山崎泰  
西村彌三郎  
川又金太郎  
菊池富次郎  
山谷池立惠一  
山崎泰

名

稱

所

在 地

電 話 番 號

一四、官 衙 公 署

(昭和十二年八月末現在)

縣 會 議 員  
所得調査委員

高田鶴太郎  
青木繁吉  
水關住一  
魚本正義  
酒井良吾  
野本定敏  
菊池哲春  
淺井重平  
村菊池上良

(八幡濱市選出)

(八幡濱市選出)

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
矢野町	天神通	白濱	水上	媛縣	愛媛縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
巡查派出所	巡查派出所	巡查派出所	巡查派出所	財務出張所	土木出張所	穀物検査支所	蠶種業取締所	和郡水産會	和郡農會	和郡炭檢査會	和郡社會事業協會	和郡專賣局	和郡煙草販賣所	和郡信局	和郡簡易保險健康相談所	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院	和郡立八幡濱病院
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
矢野町四丁目	天神通	向灘	港野	矢野町	沖野	松野	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	矢野町	
四	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
四	四	四	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	
八	八	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
五	五	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
七	七	七	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	

八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
八幡濱市役所	八幡濱市職業紹介所	八幡濱市水道水源地理事務所	八幡濱區裁判所	八幡濱稅務署	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局	八幡濱郵便局
八幡濱市本町一丁目	上濱田	裁判所通	矢野町三丁目	本町一丁目	新港通	檜谷	向灘	五反田	本町一丁目	矢野町	鄉	五反田	松	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一、二九四、六二二	三七六	一七六	〇、四九、二〇、四〇〇	四二五	四二五	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	四二二
六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八
六〇、一〇〇、五〇〇	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五	五六、三九五



一五、學校

(昭和十二年四月末現在)

校名	主管	名稱	學級數		教員數	在籍生徒數	所在地	電話
			尋常科	高等科				
青年學校	市立	八幡濱高等小學校	1	8	13	417	八幡濱市字愛宕	六六
	同	神山尋常高等小學校	1	4	21	963	大字五反田	三六五
	同	千丈尋常高等小學校	2	2	15	556	大字松柏	六四四
	同	川之内分校	3	1	3	130	大字川之内	四四七
	同	舌田尋常高等小學校	6	2	9	352	大字舌間	二二二
	同	松蔭尋常小學校	4	1	6	130	大字向灘	一三五
	同	白濱尋常小學校	4	1	6	426	大字高野地	六四一
	同	長谷尋常小學校	3	1	3	52	大字松柏	一二七
	同	八幡濱商業學校	1	1	3	438	大字大平	一四七
	同	八幡濱高等女學校	1	1	8	367	大字大平	一四七

(昭和十二年四月末現在)

一六、會社

(昭和十二年八月末現在)

種別	會社數	資本金		出額
		未滿一萬圓	一萬圓以上	
株式會社	4	1	4,166,000	4,530,500
合資會社	43	1	1,741,500	3,713,000
合名會社	9	1	1,811,000	2,319,000

校名	學級數	教員數	在籍生徒數	所在地
白濱青年學校	5	16	288	八幡濱市大字向灘
松蔭青年學校	5	15	255	大字矢野町
神山青年學校	4	17	241	大字五反田
千丈青年學校	3	13	133	大字松柏
舌田青年學校	3	9	60	大字舌間
女子青年學校	2	5	28	大字向灘

(一) 株式會社 (昭和十二年八月末現在)

會社名稱	所在地	創立年月	資本	拂込額	營業種目
株式會社八幡濱勸商場	八幡濱市濱之町	大正四年七月	二、五〇〇	二、五〇〇	建物賃貸
株式會社共同染工所	新川通	大正六年一月	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	糸布染色
八幡濱運輸株式會社	港口	大正七年三月	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	發動機船運輸
共同鑛業株式會社	本町	大正八年二月	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	鑛業採掘
南豫蠶業株式會社	全大字	大正八年十月	五〇、〇〇〇	四六、五九八	蠶種製造
八幡濱織布株式會社	濱田町	大正八年十月	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	綿織物製造
八幡濱魚市場株式會社	新港通	大正九年四月	一〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	魚市場
株式會社西宇和蘭賣買所	本町	大正十年四月	一五〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	蘭賣買仲立
菊池殖産株式會社	横浦	大正十年三月	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	農耕
大本材木株式會社	新港通	大正十年四月	五〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	製材
株式會社八幡濱蘭糸賣買所	全	大正十年三月	六〇〇、〇〇〇	四六、三三五	蘭糸賣買
八幡濱製氷冷蔵株式會社	沖新田	大正十年三月	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	製氷冷蔵
八幡濱漬物株式會社	仲之町	昭和四年四月	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	乾物漬物販賣
青木運輸株式會社	沖新田	昭和五年四月	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	發動機船運輸

(2) 合資會社

(昭和十二年八月末現在)

會社名稱	所在地	創立年月	出資金	營業種目
青木石油株式會社	全 港口	昭和五年四月	二〇〇、〇〇〇	石油類販賣
株式會社共盛社自動車部	全 港口	昭和六年三月	四〇、〇〇〇	貨物自動車運輸
株式會社村上商店	全 大黒町一丁目	昭和七年六月	三〇、〇〇〇	和洋酒販賣
丸喜綿布株式會社	全 大字 向灘	昭和七年六月	三〇〇、〇〇〇	綿織物製造
株式會社丸三吳服店	全 新町三丁目	昭和七年八月	一〇〇、〇〇〇	吳服雜貨販賣
德潤株式會社	全 濱之町	昭和八年九月	一〇、〇〇〇	土地有價証券賣買
株式會社豫州銀行	全	昭和九年八月	二、三六、〇〇〇	普通銀行
菊池材木株式會社	全 北大黒町	昭和十年十月	一〇〇、〇〇〇	製材
株式會社濱上租	全 裁判所通	昭和十年三月	三〇、〇〇〇	建築請負
八幡濱劇場株式會社	全 海老崎	昭和十年一月	五〇、〇〇〇	常設興業場
合資會社共盛社	八幡濱市港口	大正五年七月	三三、〇〇〇	海陸運輸取扱
合資會社三瀨商店	全 横町	大正十一年五月	一、三三〇	穀物販賣
合資會社高橋石炭店	全 天神通	大正十一年十月	八、〇〇〇	燃料販賣
合資會社野本商會	全 大正町	大正十一年十二月	三、〇〇〇	自動自轉車修繕

合資會社 伊豫興信所	全	西近江屋町	大正十二年一月	一、九〇〇	株式賣買
合資會社 愛媛興信所	全	大正十二年七月	一、五〇〇	金品請求債權讓受	
合資會社 大成商店	全	大正十四年二月	二五、〇〇〇	木材 販賣	
合資會社 高橋書店	全	大正十四年十月	一三、〇〇〇	書籍文具販賣	
合資會社 松田屋商店	全	昭和二年三月	三、〇〇〇	雜貨小間物販賣	
合資會社 廣運社	全	昭和二年九月	二、四〇〇	海陸運送取扱	
梶田合資會社	全	昭和三年六月	二、三〇〇	酢醬油販賣	
合資會社 曾根石油店	全	昭和三年九月	一〇、〇〇〇	礦油類販賣	
合資會社 セイウ商店	全	昭和三年十月	二、〇〇〇	雜貨販賣	
萬屋合資會社	全	昭和四年一月	七、〇〇〇	土地建物賃貸	
愛媛商事合資會社	全	昭和四年十二月	二、八〇〇	料理屋業	
合資會社 大矢野製材所	全	昭和五年二月	五、〇〇〇	製材	
合資會社 八幡濱菊池活版所	全	昭和五年七月	二、〇〇〇	活版印刷	
合資會社 北國屋商店	全	昭和五年八月	一〇、〇〇〇	酒類販賣	
合資會社 二宮商店	全	昭和五年十一月	二、〇〇〇	鳥獸肉販賣	
合資會社 中川製材所	全	昭和五年十二月	四、〇〇〇	製材	
合資會社 菊池牧場	全	昭和六年五月	三、五〇〇	牛乳販賣	
合資會社 柴田商店	全	昭和六年六月	三、〇〇〇	自轉車販賣	

菊池醬油合資會社	全	田中町	昭和六年九月	一四、〇〇〇	醬油釀造
合資會社 山田商店	全	白濱	昭和六年十一月	一、一〇〇	古金物賣買
合資會社 共榮組鐵工所	全	濱之町	昭和六年十二月	三、〇〇〇	原動機製造
合資會社 菊野豐商店	全	港口	昭和七年三月	二、〇〇〇	荒物販賣
合資會社 油屋商店	全	中之町	昭和七年四月	六〇〇	墨製
合資會社 キクチ文寶堂	全	田中町	昭和七年五月	五、五〇〇	文具販賣
合資會社 柏原商店	全	幸町三丁目	昭和七年五月	二、〇〇〇	荒物販賣
合資會社 京谷商店	全	大矢野町	昭和七年八月	二、〇〇〇	米穀販賣
合資會社 エビスヤ商店	全	大矢野町六丁目	昭和七年九月	二、五〇〇	洋品雜貨販賣
合資會社 吉見商店	全	大矢野町一丁目	昭和七年十二月	五〇〇	荒物販賣
合資會社 井上杭木店	全	白濱	昭和八年一月	五〇〇	木材販賣
合資會社 兵頭商店	全		昭和八年七月	二〇〇	木製品製造
合資會社 ライオン藥店	全	大矢野町一丁目	昭和八年八月	五、〇〇〇	賣藥販賣
合資會社 上田商店	全	西近江屋町	昭和八年十月	二、五〇〇	吳服雜貨販賣
日本農蠶具合資會社	全	大平	昭和八年十一月	一〇、〇〇〇	機械器具製造
合資會社 和泉屋商店	全	大平	昭和八年十二月	二、一〇〇	日用品雜貨販賣
合資會社 菊池直助商店	全	大平	昭和九年一月	二、〇〇〇	建築請負
合資會社 綿布合資會社	全	五反田	昭和九年六月	四、〇〇〇	綿織物製造

會社名	所在地	創立年月	出資金	營業品目
合資會社 平田安商店	全 正港町	昭和九年八月	25,000	米雜穀販賣
合資會社 幸福屋商店	全 大字 松柏	昭和九年八月	3,000	清酒、酢販賣
合資會社 宮本商店	全 西近江屋町	昭和九年九月	5,000	海運、薪炭販賣
合資會社 三共蓋器店	全 大黒町一丁目	昭和九年九月	1,000	蓄音器販賣
合資會社 天真堂上田義具店	全 新町五丁目	昭和九年十二月	2,000	建具家具販賣
合資會社 矢野織布工場	全 大字 矢野町	昭和十年一月	2,300	綿織物製造
合資會社 井上鉄製造所	全 戎町	昭和十年三月	1,800	燒鉄製造
合資會社 惠美須堂旅館	全 戎町	昭和十年八月	2,000	旅館
合資會社 松田商店	全 大字 五反田	昭和十年九月	10,000	綿織物製造
松代木業合資會社	全 大黒町五丁目	昭和十一年十月	8,000	木箱製造
昭和運送合資會社	全 大黒町四丁目	昭和十一年十一月	8,500	自動車運輸
合資會社 丸光自動車運送店	全 新港通	昭和十二年一月	18,000	自動車運輸
合資會社 三共社森宗商店	全 新港通	昭和十二年一月	9,500	海產物販賣

(3) 合名會社

(昭和十二年八月末現在)

會社名	所在地	創立年月	出資金	營業品目
高橋永製合名會社	全 本町一丁目	大正二年四月	6,000	土地建物ノ賃貸
合名會社 精弘社	全 南大黒町	大正十一年十一月	10,000	石版印刷
合名會社 大西屋商店	全 港町	大正十二年六月	15,000	荒物販賣
合名會社 大西屋商店	全 港町	大正十三年七月	5,000	不動産有價証券所有
合名會社 合名會社	全 新町四丁目	昭和四年七月	3,500	金物販賣
丸清合名會社	全 新町四丁目	昭和四年七月	3,500	セメント販賣
合名會社 菊谷商店	全 港口	昭和四年九月	2,500	和洋紙販賣
合名會社 聯一商店	全 船場通	昭和五年六月	4,000	和洋紙販賣
合名會社 岡上商店	全 大黒町三丁目	昭和六年四月	4,000	賣藥販賣
合名會社 明地商店	全 千代田町	昭和七年一月	12,000	吳服類販賣
合名會社 堀内醬油店	全 東矢野町	昭和七年二月	4,000	醬油釀造
八幡濱合同通運合名會社	全 港口	昭和七年十月	2,000	海陸運送取扱
合名會社 林染料店	全 濱田町	昭和八年十一月	5,000	染料藥品販賣
合名會社 大毎社	全 矢野町六丁目	昭和十一年二月	4,000	新聞取次販賣
合名會社 丸二商店	全 本町一丁目	昭和十二年六月	3,000	繭糸屑物仲介

一七、新聞社

(昭和十二年八月末現在)

名稱 營業場所 創立年月 發行所 電話

八幡濱 每夕新聞	八幡濱市朝日町	大正十五年	八幡濱 每夕新聞社	四〇七
八幡濱 新聞	全大字 矢野町	和昭二年	八幡濱 新聞社	四三八
新愛媛新聞	全西近江屋町	昭和五年	新愛媛新聞社	三七五
有保証旬刊八幡濱商工業新聞	全天神通	昭和三年	八幡濱商工業新聞社	三七二
有保証旬刊奉公	全本町一丁目	昭和六年	帝國在郷軍人會八幡濱分會	

### 一八、娛樂機關

(昭和十二年八月末現在)

名稱	種別	所在地	電話	經營者
八幡濱劇場	演劇其ノ他	八幡濱市新榮町	二九〇	八幡濱劇場株式會社
平和館	活動常設	同 千代田町	一二三	平頭常利
稻荷座	演劇其ノ他	同 大字五反田	六二七	平田理三郎

### 集會場

名稱	所在地	電話	管理	理者
八幡濱市公會堂	八幡濱市字ダイ	一三七	八幡濱	濱市
新町公會堂	同 新町四丁目	三六七	上田	藤七
古町公會堂	同 大字 矢野町		河野	利作
八代公會堂	同 大字 八代		清家	守雄
神山青年會館	同 大字 五反田		神山	青年團
舌間青年會館	同 大字 舌間		毛利	道明
松尾公會堂	同 大字 松柏		清家	助太郎
川之內公會堂	同 大字 川之內		三好	家達

### 一九、電氣及水道

(昭和十一年十二月末現在)

#### 1. 電燈及電力

線路亘長	回路延長	街燈基數	戶數	燈數	戶數	電力
四九、七〇〇米	一九、五〇〇米	三六	六、八六一	二四、九一〇	三〇五	一、三七、二五

配水管延長 一八、〇七米	消火栓	區分	專用栓	共	用	栓	合計
	公設 私設	計量栓	私設	公設	計		
七	一、〇一九	二九	一五	二四			一、二四三
七	一、〇一九	八	六	九			一、二二三

2. 上水道  
1. 煙草販賣高  
2. 鹽賣渡高

（昭和十二年一月一日現在）

八幡濱煙草販賣所	二五二	一九八、二八四	六七、九三八	二五九、三三三	三三〇	二五九、四四二
南豫地方鹽元賣捌所	一三〇	九九二、二九二			五二、六一〇	
八幡濱支店						

◎名所古蹟

**萩** 森城 西園寺氏十五將ノ一人、宇都宮彦右衛門尉藤原房綱ガ居リ世ニ之レヲ萩森殿ト稱シ保内郷ノ内ニ七千八百石ヲ領シタ、此ノ房綱ハ大洲地蔵ヶ嶽城主宇都宮遠江守清綱ノ三男テ、嫡子豐綱ニ大洲城ヲ譲リ、二男正綱ハ豐茂村笠間城主トナリ、三男房綱ヲ連レテ萩森城ニ隱居シタト云フ（宇和舊記ニハ房綱ハ二男トアル）天正年間土佐ノ長曾我元親伊豫侵奪ノ時、房綱落城、ソノ子守綱ハ當年ニ歳テ、高野地古谷ニ蟄居シタガ、後戸田民部少輔勝隆領主ノ時、戸田與左衛門ノ取立ニヨリ八幡濱八幡宮ノ神官トナリ、代々家ヲ繼イダト傳ヘラレテ居ル。

**石** 堂城 郷ニアリ、一名尾崎城、石棟トモ云フ、菊池源右衛門ガ居タ、此ノ菊池氏ハ藤原隆家ノ出テ後三城天皇ノ朝、延久二年初代經高、肥後ノ國司ニ任セラレ菊池郡深川村ニ城ヲ築キ菊池ト號シテ菊池氏ヲ名乗ツタソノ二十代ノ武友ハ幼名ヲ犬房丸ト稱シ、弘治三年喜多郡郷村ニ移リ石棟城ニ住ミ後菊池出雲守武友ト稱シタ、ソノ子岩見守秀隆ハ天正七年没落シ、ソノ子孫ハ離散シテ嫡子ハ垣生ニ住ンダ、口碑ニヨルト源左衛門武友ニ五家老アリ、ソノ氏孫ハ現在菊池幾三郎、全長太郎、全彌平治、全若三郎、上甲廣市等デアルト傳ヘラレテ居ル（上甲廣市所藏、菊池氏系譜ニヨル）藏福寺先住月珊和尚ノ説ニヨレバ、石棟城主ノ菊池氏ハ嘗ツテ大友氏ガ菊池氏ヲ亡ボシタ後、大友氏ノ子ガ菊池氏ヲ冒シテ此ノ地ニ移リ石堂城主トナツタモノデ、其系統ハ大友氏デアルト云ハレテイル。此ノ石堂峰ニ菊池氏ノ墓ト稱スル五輪ガ二墓アル。

自得院殿夢山祖元居士  
治國院雲林道近居士  
九月初八日  
九月十三日

**元** 城 五反田ニアリ攝津豊後守實親ノ城跡アル、其ノ子伊豫守親安、其ノ子久五郎親宗、其ノ子仁藏後彦右衛門親與トアル、攝津氏ハ宇和ノ西園寺氏十五將ノ一人デ、岩野郷、保内郷ノ内ニ知行シテ高四千八百石ヲ領シ、世ニ之レヲ南方殿ト稱シタ、清良記ニハ南方大和守親安、其ノ子親宗、其ノ弟親宜トアル實親ハ元公家ノ出テ矢野ノ領主トナツテ下向、磯津浦ニ上陸シテ五反田元城ニ入ツタガ、後萩森城主ト戦ツテ八幡濱ノ濱田ニ討死シタ、其ノ子伊豫守親安ハ落城後發心シテ一安ト稱シタ、親安ノ墓ハ舌田ノ大向山ニアル（明治三十四年八月十五日コ、ニ移シタ）親宗モ出家シテ休看ト稱シ、親與ハ歌道ニ長シ、廣島地方ヲ遊歴シタガ、後同國多万里ニ住シタ南方殿家老ニ攝津伊豆守親綱ト云フノガアツタ親綱ハ實綱ノ弟テ舌間ノ周治ヶ城ニ居タ、後舌間ノ舊里正矢野千束氏ハ其ノ子孫デアアル。コノ外郷村ニ中西殿、若山ニ江之川殿、中津川ニ伊賀殿何レモ攝

津氏ノ家老デアッタ。曆應中、攝津掃部頭親秀ト云フノガアリ、南方ノ祖先デアラウト云ハレテイル、其ノ護  
狀十六通ハ郡書類從ニアル。

### 天神山城

五反田ニアリ、元城ノ屬城、城代矢野民部少輔ガ居タ。

### 周今天

治ヶ城 舌間ノ川上數町ノ地ニアリ、高サ二百五十尺、今ハ全部畑地トナツテイル、戰國時代、五反田元  
城々主南方殿攝津實親ノ弟、攝津伊豆守親綱ガ居タ、親綱數代ノ孫惣右衛門ハ矢野ノ姓ヲ名乗リ、舌間浦、栗  
野浦ヲ合セテ庄屋役ヲ勤メタ、矢野千束氏ガ其ノ子孫デアアル。

### 四國山

矢野町今城々趾ニアリ、高サ百メートルノ小丘デアアルガ、山姿起伏恰モ臥龍ノヤウデアアル、山上  
ノ青松ハ晴嵐ヲ呼ビ、前方ハ遙ニ八幡濱灣内ノ光景ヲ一目ニ眺メ、雲因遙カニ佐田岬ニ蛇蜒タル風光ガアル、  
眼下ハ八幡濱市街ヲ一眺ニ納メ、所々ニ休憩所ノ設備ガアツテ散策ノ便ニ供シ最近ハ山路ヲ改修シタリ、櫻樹  
ヲ植ヘタリシテ山ノ美ヲ増シ、四國靈場ヲ摸シタ石佛八十八ヶ所ハ毎年八月弘法大師ノ緣日ニ數千人ノ參拜者  
ガアル、公園ヲ持テナイハ八幡濱市ノ將來ノ遊園地トシテ好適ノ勝地デアアル、山腹ノ廣場ニハ朝汐太郎ノ記念碑  
ガアル。

### 盍聞ノ瀑

千丈字郷ニアリ、此ノ瀑ハ藏福寺ノ先住天羽月珊和尚ガ世ニ紹介シタ瀑デ、西山禾山和尚ノ命名  
デアアル。

瀑名盍聞賦一偈示遊客

鷲嶺仙音餘幾分  
世人多作風流看

斷巖雪瀑半溪雲  
旋倒聞兮又盍聞

右禾山禪師高韻

右仁志川杏洲先生次韻

盍聞ノ瀑 二龍相擁降 噴玉散成雲 鐘期聞不開  
里程ハ八幡濱カラ約一里、大洲街道ヲ松柏、松尾、堀田、一木ヲ通り少シ行クト落合ノ橋ガアル、此ノ橋ノ元  
カラ右ニ登ルコト二十餘テ瀑ニ行ク、途中間程ノ急コウ配ガアルガ其ノ他ハ横道テ溪谷々下目ニ眺メテ行ク  
ト初メノ瀧ガ落合ノ瀧、其ノ上ノ數丈ノ飛瀑ガ即チ盍聞ノ瀑ニ俗ニ之レヲ雄瀧ト稱シテイル、雄瀧カラ五間程  
左ニアルノガ雌瀧デアアル、此ノ附近ニ白土遊園地ガアリ、遊園地カラ二丁程登ルト白龍ノ瀧ガアル、白龍ノ瀧  
カラ更ニ二丁程登ルト一大巖壁ニ突當ル、平凡ナ市井ノ雜踏ニ飽イテ珍ラシイ山水ニ接シテ見タイト云フ人ハ  
是非コ、ニ一日ノ行遊ヲ試ムベキデアアル、昭和六年頃カラ松柏ノ菊池網治郎氏ガ白土遊園地ヲ中心トシテ瀧ノ

### 宮島

附近ノ道路ヲ改修シテ天然ノ大公園ヲ作り上ケル計畫ヲ樹テ、着々工事が進捗サレテイルカラ、行クハハ八  
幡濱市唯一ノ名勝地トナルデアラウ。

### 鳴瀧

松巖蒼トシテ古雅ノ風致ガアリ自然ノ岩石ノ間ニイロノ花木ガ案配サレ海中ノ鳥居ハ安藝ノ宮島ニ摸シタモ  
ノテ此ノ名ガアル、地方ノ名所トシテ知ラレテイル、將來ハ八幡濱市ノ遊園地トナルベキ有力ナ候補地デアアル。

### 真砂場

栗野浦ニアリ、波靜カナ海岸ニ白砂ガ打ち續イテイル、權現山ノ翠綠ガ海ニ影ヲ映シテ、真砂ニ  
暁ク波ノ音ガイトコマヤカデアアル春ハ節旬ノ舟遊ビヨリ夏ハ海水浴場トシテ眞砂場ハ河童連ノ遊ビ場デアアル。

### 宇都宮房綱ノ菩提所

大桃山長谷寺ハ房綱建立シタ寺テ、元菰森城ノ隣地ニアツタガ、落城後今ノ處ニ移シ  
タ、房綱ハ天正二申戌正月十五日横死シタ、法號ヲ長谷寺殿房綱大居士ト稱ヘテ居ル。

### 王子ヶ森

古町ニアリ、八代ノ元井峰ノ餘脈ガ北ニ走ツテ將ニ盡キントスル所ニ突兀タル圓形ノ小丘ヲナシ  
テイル、之レガ王子ヶ森デアアル樹木鬱蒼トシテ翠綠滴ルバカリテ山上ニ八尺神社ヲマツ、デアアル、此ノ神社ハ  
昔、神山郷總鎮守ト云ハレタ神社デアアルガ、今ハ無格社トナツテ社格ハ甚ダ振ハナイ、神サビタ山ノ形デア昔ノ  
面形ガ偲バレル。

### 至覺寺跡

千丈ノ郷字梨尾ニアリ、何時ノ時代ニ建立サレタモノカ不明デアアルガ藏福寺ノ建立前ニアツタ古  
イ寺デアアルラシイ、現住藏福寺ノ本尊ハ至覺寺ノ本尊ヲ移シタモノデアアルト云フ、今ノ藏福寺ノ觀音堂ハ藏福  
寺ノ先住天羽月珊和尚ガ至覺寺跡カラ移シタモノデアアル、至覺寺ニ就イテハ何モ記録ガナイ、ソノ後今ハ加地  
トナツテイル。

### 矢野田ノ矢竹

古町ニアリ、王子ノ森ヲ西北僅ニ一丁餘ノ田中ニアリ、數株ノ矢竹ガ叢生シテイタガ、惜シイ  
コトニ耕地整理ノ際、取除カレテ今ハ田ニナツテ跡形モ殘サナイ。何ンテモ戰國時代ニ十佐ノ長曾我部元親ノ  
大軍ガ攻メテ來テ菰森城主ト戦ツタ時ノコトデアアル、城主宇都宮氏ハ必死ニナツテ戦ツタガ衆寡敵セテ遂ニ最  
後ノ一矢ヲ放ツタノガ、此處ニ落チテ根ヲ生シタト云フノガ古老人ノ言ヒ傳ヘデアアル、矢竹ハ遊ニ生ヘテイタ  
ト云フ。

穴 風呂

矢野町栗野浦ニアリ、慶長五年田中林齊ガ周防ノ八代島ノ久加ニ此ノ風呂ノアルコトヲ傳ヘ聞キ...

保安寺ノ雨乞

昔、保安寺ノ裏ノ沼地ニ雄ノ大蛇ガ棲ンテ居タ、此ノ大蛇ハ通力ヲ以テ雨ヲ降ラスノガ得意...

柱祭ノ由來

昔、五反田ニ金剛院ト云フ修驗者ガアツタ、戰國時代、攝津豊後守ト萩森城主トガ戰ツタ時...

金山出石寺

八幡濱市ヲ距ル三里餘、喜多郡大和村出石山ノ絶頂ニアリ寺ノ縁起ニヨルト、人皇四十四代元正...

矢野ノ神山

金山出石寺ノ所在地ヲ古來矢野ノ神山ト稱ヘ幾多ノ歌集ニ詠ハレテイル...

夫婦岩

双岩村若山ニアリ、伊豫古蹟誌ニ曰ク「若山邑有レ岩、曰ニ夫婦岩、突元而並立、大者三丈八尺、小...





一五、活版業	四	三〇、肥料業	六
一六、旅館業	四	三一、建築業	六
一七、料理屋業	四	三二、鐵工業	六
一八、交通、運輸業	四	三三、鋁力細工業	六
一九、薪炭業	五	三四、電氣器具	六
二〇、水車業	五	三五、石工業	六
二一、製材業	五	三六、疊製造業	六
二二、造船業	五	三七、左官業	六
二三、釣道具業	五	三八、金細工	六
二四、仲介業	五	三九、貸家業	六
二五、自轉車業	五	四〇、古着業	六
二六、金融業	五	四一、仕立業	六
1 金銭貸付之部	五	四二、提灯業	六
2 質屋之部	五	四三、其他雜種業	六
二七、金物	五		
1 金物商之部	五		
二八、屑物問屋業	五		
二九、蠶具、荒物業	六		

# 商工名錄

## 一、飲食料品

### (1) 精米之部

屋號	代表者	營業所	管收額	電話	備考
	増本松太郎	今川町	二七、二〇		
	中田慎一郎	海岸通	四八、〇〇	五二一	
	阿部武負	今川町			
	安田義綱	今川町			
	米田貞光	海岸通			四三一 荒物日用品
	岩見末五郎	幸町二	三二、〇〇		
	井上平藏	幸町一	二四、六〇		

鐵工

大西三郎	大黑町一	一三九、〇〇	四四〇
井上豐國	大黑町二		二八七
今泉清次	大黒町六	一九、三六	
二宮勘吾	戎町	六七、二八	一八六
田中勝太郎	新港	七四、〇〇	四〇六
德田由照	港口	二〇、九〇	五七〇
阿部兵太郎	港町	一〇七、八〇	四六
河野俊一	港町	六一、五九	一七九
梅林由藏	舊港	六一、〇〇	四七〇
德江大松	旧港	四二、八〇	三〇三
小林鎌太郎	新町	一四一、六〇	二三〇
村上六一	新町五	二九、八〇	六四八

岩木屋

白石喜三治	千代田町	四五、四〇	五四三
吉川正義	本町三	四三、五〇	四一六
岡崎俊晴	本町一	一八〇、六〇	一八九
宮崎百太郎	濱田	三五、〇〇	四一七
岡崎彌惣治	清水町		
武智雅營	大正町	一九、八〇	一九九
梶本才太郎	大正町		
菊池藤吉	矢野町六	三八、九〇	一八七
松田圓二郎	矢野町五	四四、六二	一八五
上田實	矢野町四		
菊池儀平	松柏		
田安治郎	松柏		

菊池サカエ	古町	
菊池勝一	五反田	
木網徳治	五反田	
松田武	五反田	
松井勝太郎	五反田	
字都宮淺右衛門	川舞	一五、四〇
字都宮源四郎	五反田	
上田熊雄	古町	
谷村友一郎	川舞	一九、八〇
		六四〇

(2) 罐詰製造之部

平田音平	大黒町三	四二、二八	四二一
------	------	-------	-----

森川進	大黒町四	一九、二〇	長一五二
河野正己	濱田町	三九、〇〇	一五九
山本嘉一郎	大黒町六	二八、二四	二〇六
山本矩太郎	大黒町六	二三、〇〇	六二六

(3) 精肉之部

山本萬吉	濱田町	二〇、四六	二八〇
飾嘉市	矢野町六		二五九

(4) 豆腐及蒟蒻之部

向井史雄	西近江屋町	
石崎音市	北大黒町	
		豆腐ダケ

浅野 廣藏 濱田町 四四一 全  
 三好 彌吉 裏濱田 シデヒモ製造

(5) 砂糖荒物業之部

うめごんや 稻生修三郎 矢野町七 四二、三 五三三  
 萩森 孟夫 矢野町五 四八、〇 五六七  
 油喜や 菊池興一 濱之町 五九、〇 長二六

(6) 青物業之部

井上 壽一 矢野町四  
 水協兼太郎 栗ノ浦

上甲 茂清 西近江屋町 二九、八 二〇七 日用品  
 丸尾千鶴一 幸町  
 鎌田九三郎 大黒町三  
 西田又一 幸町 五、八〇  
 小西 幸平 新港 六一、〇 五六三  
 山下 幸治 新港  
 川本六兵衛 新港  
 川本 福吉 新港 二二、〇  
 矢野福治郎 船場通  
 松浦 律二 矢野町五 三二、三 三八五 日用品  
 松本トヨノ 矢野町四 二七、二 四五一 全  
 松本彌平治 須崎町 一五、四 五一四 全

平地屋

長見徳彌 須崎町

日用品

木網吉波 矢野町七

七四〇〇 二六三

日用品和洋酒

堀井梅太郎 矢野町一

日用品

(7) 製菓子業之部

岩本市太郎 矢野町

山本房松 矢野町

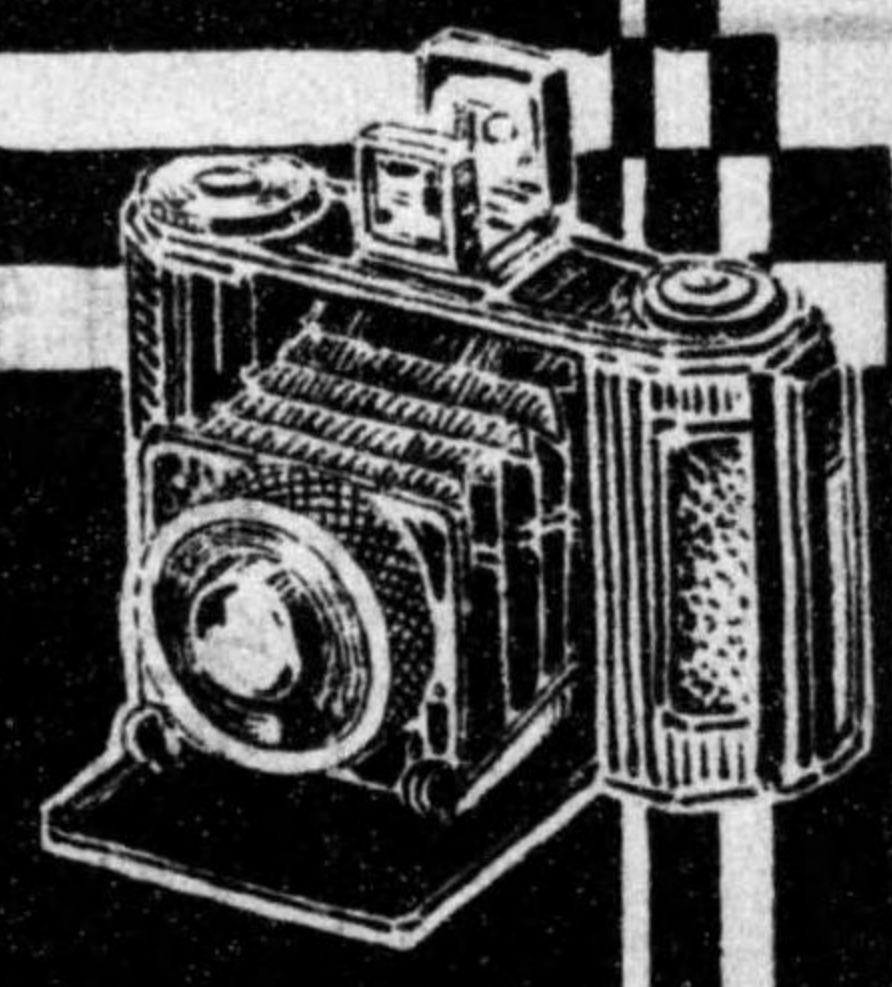
山本利左衛門 西近江屋町

後藤スガ 西近江屋町

松宮ヨシ子 西近江屋町 一五、四〇

山本常吉 西近江屋町

宮本松太郎 幸町三



力メラ  
寫眞材  
卸問屋  
藥品

八幡濱市大黒町二丁目



木屋

店主 久寺 森清  
電話 六六二番

營業品目

和洋紙  
帳簿  
便箋封筒  
文具類

# 松本又平商店

八幡濱市新町五丁目

電話 八十番  
振替大阪二三五六九番

内外米雜穀

卸小賣商

精米業

# 大西米穀店

八幡濱市大黒町

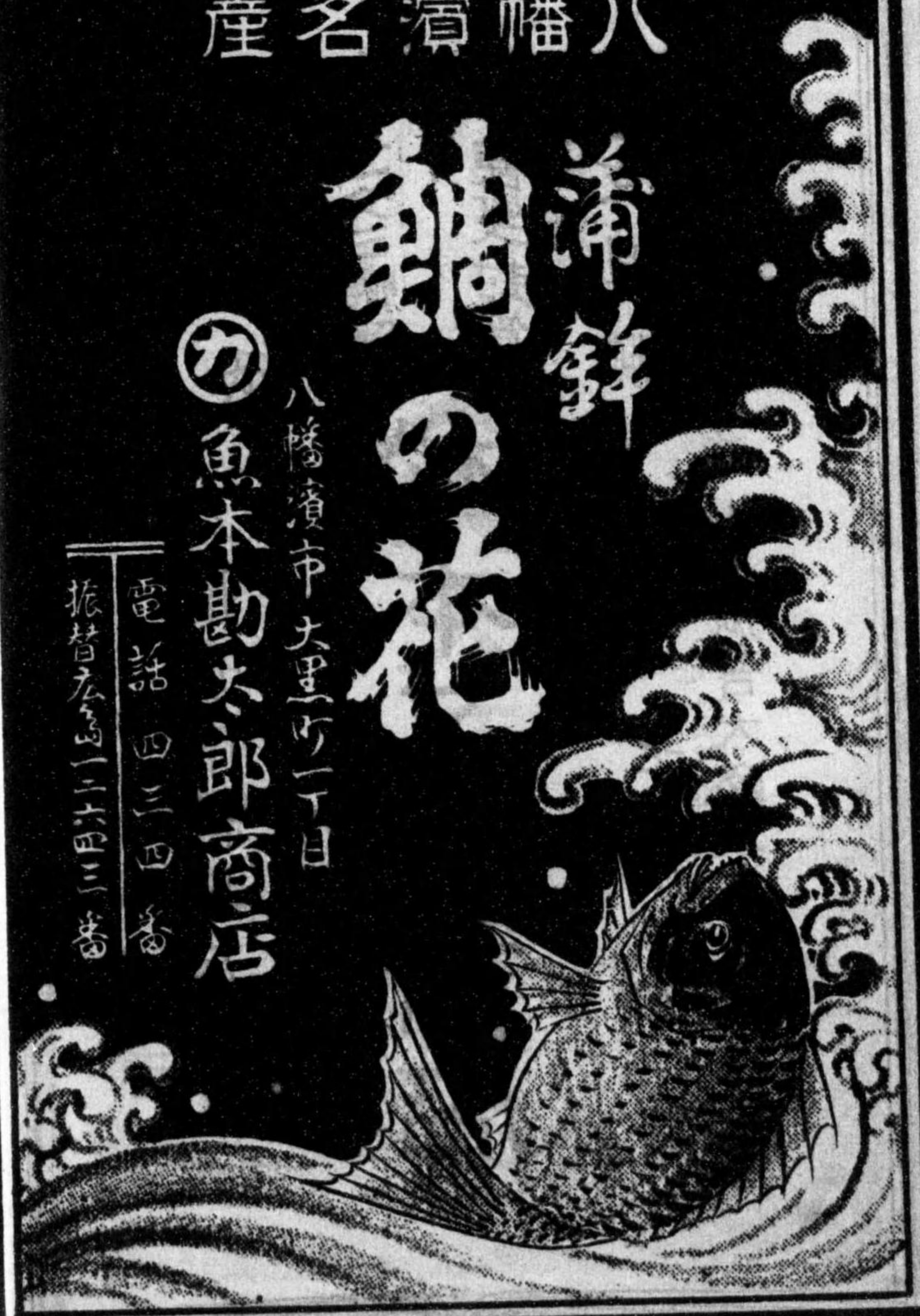
店主 大西三郎  
電話 四四〇番  
振替口座廣島二七一九番

八幡濱名産

蒲鉾  
鯛の花

八幡濱市大黒町一丁目  
魚本勘太郎商店

電話 四二四番  
振替 五三一六四三番



原田保次郎	幸町二	一五、八四	一五、四	
清家瀧三郎	南大黒町	九七、四〇	四七、三	
清水實三郎	北大黒町	一五、四〇		
菊池福太郎	大黒町一			羊羹
佐々木市太郎	大黒町三	三三、七〇	一八、二	
中川直春	大黒町一	三七、六〇	一六、三	
辻貞宣	天神町三	一五、四〇	四七、二	飴製造
渡邊長平	大黒町五	一九、八〇	六四、九	ラムネ製造
大森俊三	大黒町一			
今泉喜三郎	南大黒町	二七、二〇	二八、六	
西島高治	戎町	二七、二〇	四一、九	
山江ノブエ	新港	二八、三四	一四	飲食氷菓子



森 又 好 港 町  
 竹村善十郎 港 町  
 石河幸吉 旧 港  
 宮川大吉 新町四  
 阪本元治 新町四  
 坂本寅吉 新町二  
 山口善太郎 新 町  
 後 藤 要 船場通  
 野井瀧三郎 船場通  
 大藤政敏 船場通  
 矢野茂三郎 千代田町  
 新田義定 千代田町

各種物タバコ

一七、六〇  
 一三四  
 三六、三  
 七三  
 四二、八〇  
 四五  
 五〇、六〇  
 二八八  
 三〇、一〇  
 四二三  
 一五、四〇  
 五三〇

菊池善高 濱田町  
 木 網 壽 矢野町七  
 菊池伊四郎 矢野町三  
 菊池芳松 東矢野町  
 濱田秋光 矢野町三  
 山本梅三郎 矢野町  
 山 本 昇 矢野町七  
 長尾斐治 矢野町七  
 中村政一 矢野町六  
 宇都宮 哲 矢野町四  
 井上八十郎 矢野町五  
 森本八郎 五反田

羊 羹

虎 屋  
 山 本 昇 矢野町七  
 長尾斐治 矢野町七  
 中村政一 矢野町六  
 宇都宮 哲 矢野町四  
 井上八十郎 矢野町五  
 森本八郎 五反田

餅 製 造

たるま堂

一五、八〇  
 二八九  
 一五、四〇  
 二二一

廣田幸榮	古町		
木網勝三郎	五反田		
松本喜義	古町		
萩森清繼	新港	一九、八〇	二七五
			タバコ、 アイスクリーキ

(8) 海産物商之部

三好幸藏	今川町	三、〇〇	
淺野彌三郎	大内浦		
高田百太郎	大黒町一	六一、〇〇	三〇八
三好正男	旧港	一八四、五〇	長九四
阪戸徳一	新港	四〇、二〇	一〇四
			氷卸問屋

(6) 酒之部

若木屋

大本幾治	五反田	四九、八二	三五三	醸造並卸小賣
二宮倉太郎	川舞	四六、七〇	六〇二	
兵頭富美子	大内浦	一七一、五〇	五〇三	
川本庄藏	今川町	一四〇、〇四	三〇九	
上田梅一	幸町三	三三四、〇〇	長三二	
末光幸三郎	新町四	一三三、二〇	九二	
渡邊與一	新町五	一三三、〇〇	二五二	
松本ツナヨ	本町二	二二、三四	三五七	
飯森正茂	江戸ヶ岡	一五四、六〇	八六	
宇都宮福松	矢野町五	一七、六〇		

宇都宮幾子	矢野町三	五八、四〇	三三六	釀造並卸小賣
二宮敏夫	矢野町三	二二、四四	三二二	全
兵頭君太郎	松 柏	一四二	一四二	全
小泉文治	古 町	一三〇、四二	一七〇	全
此上ミキエ	幸町三	一六、五〇		小 賣
野本佐賀市	西近江屋町		六四七	全
大家留吉	海岸通五			タ バ コ
松本鶴松	白濱通			小 賣
土居玉夫	矢野町一			全
菊池慶太郎	矢野町五	二七、二〇	四一〇	醬 油
清水萬能	大正町			
武馬悦三郎	本 町	二四、六〇	五二五	

鍋重本店	山越季吉	濱之町	七九、九一	一三	和洋酒罐詰類
堀河商會	小泉博保	天神町		三四三	
	竹村四郎	新町一			
	大西秀雄	南大黒町			
	武 田 清	大黒町一	四〇、二〇	二〇八	和洋酒罐詰類
	村上清十郎	大黒町一	一八、四八	一一六	全
	菊池豊平	大黒町四		五二〇	全
	清水幸友	大黒町六		一九三	全
油 屋	篠田トク	大黒町三		一一七	

(10) 醬油之部

梅柑屋	稻生新太郎	矢野町	一四、五〇	五三三	釀造並卸小賣
-----	-------	-----	-------	-----	--------

松屋本店  
 中川ツルエ 古町 二五、三〇  
 井上高彌 濱之町 三〇、四三 一〇五 釀造並卸小賣

福岡惣治 舌田町 二四、五五 六三九  
 谷淵直太郎 堀川町 六一、〇〇 一一九 全  
 山越憲一 濱之町 七四 全

壽屋  
 大野清重郎 海岸通三  
 菊池吉雄 八代 一五、四〇 全  
 酒井良吾 古町 三六、九二 五一二

(11) 生魚商之部

高野俊治 新港 一七、六〇 一〇四  
 岩崎岩松 新港 三八、三六 一四二

玉岡三郎 新町 二六、四〇 一七二  
 高野數政 朝汐橋通 七〇、一〇 五六六  
 田村要作 朝汐橋通 二八、二四 六二一  
 村中和市 大黒町二 五九、七〇  
 坂脇實三郎 大黒町 七四、〇〇 長六六  
 下岡友衛 大黒町二  
 原内弘明 大黒町四  
 中田ダイ 大黒町四  
 山本磯吉 大黒町一 九二、七二 三一九 金物類  
 坂田惣三郎 大黒町三 一〇〇、〇〇 長三四六  
 井野政則 幸町二  
 松井安治 裁判所通 一五、四〇 七 ばこ

森 菊

篠崎茂吉 喜多町 二七、二四

森田菊太郎 旧港 六五一

竹本多佐市 古町

(12) 蒲鉾之部

窪田福芳 五反田

大野タツ 矢野町六 二二、三〇 五五六

兵頭伊勢之丞 矢野町

中島六松 矢野町三 一五、六一

徳田利光 須崎町

尾崎福太郎 天神町

谷本繁 天神町 二七、六〇 二六六

大塚義明 船場通 一七、六〇 四四四

叶増藏 船場通 五三、二〇 二七〇 アイスケーキ

林田龜一 大黒町二 一七、六〇

若宮萬太郎 朝汐橋

山下千代重 朝汐橋

後藤辻助 新港 二二、〇〇 三八九

久世万吉 朝汐橋 三三、一〇

大二屋 井上ユキ 大黒町一 一九、八〇

井ノ龜 井上龜一郎 大黒町三

丸常 二宮サキ 北大黒町 三三、七〇

大星善五郎 大黒町二 一七、六〇

武内定平 大黒町二 一七、六〇

上田運藏 大黒町一

二二、〇〇

魚本勘太郎 大黒町一

二二、〇〇

今

山本儀平 大黒町三

五〇、六〇

河野金善 朝日町

四〇、二〇

佐伯和平治 大黒町三

四〇、二〇

菊池作太郎 大黒町二

一五、四〇

井野万太郎 幸町二

一八、七〇

宇都宮宗一 今川町

一八、七〇

久保田文一 大内浦

一八、七〇

井上正直 五反田

一八、七〇

西川恒一 濱田町

一八、七〇

富久保久春 矢野町

一八、七〇

金物商

陶器

山本熊太郎 矢野町三

四〇、二〇

六三三

宮崎信十郎 大黒町三

一六、七二

五二三

鈴間屋 鈴木甚平 北大黒町

三六、九〇

三三二

緒方政重 西近江屋町

二二、〇〇

一九七

谷水千造 大平

一六、七二

一六五

(13) 茶之部

近江屋 菊池マサ 堀川町

六五

二、陶漆器

阿部文太郎 大黒町一

野田マサ 濱之町

四五七

油作

野口源太郎	新町一	一五、四〇	三八八
德永重義	新町		
二宮紋美	新町	四八、〇〇	三〇二
西本壽吉	新町三	一五、四〇	
萩森萬吉	矢野町五		四二七

和洋家具漆器

三、食料品製造

上田惣八	矢野町四	三八〇	
松本永吉	五反田	一一〇、四〇	六三六
本多實	大黒町六		
清水房太郎	川舞		
此上只雄	幸町三		

製粉

宮部鉄男 港町 四五二  
中西塚磨

四、織物、被服材料

(1) 被服材料之部

内村鶴吉	大黒町三	二七、八〇	四三二
幸野幸太郎	東矢野町		
廣川立一	幸町三		
喜久屋	菊池復一	一七、〇〇	二六九
宮崎屋	神應春茂	三〇、九五	一五一
	山岡茂		三七四
	濱田町		

綿打替

(2) 織物之部



# 高野善三郎商店

## 伊豫織物卸問屋

伊豫八幡濱市新甲一丁目  
 電話 (長) 二二二一 番  
 電話 畧 (夕力ノ) 又 八八 (夕)  
 振替 廣島 壹 九 壹 壹 番

### 五、京染、洗濯業

(1) 京染之部

若松 廣 千代田町

水野 萬一	新町二	五〇、六〇	三一八
高野 善三郎	新町一	二四、六〇	二三一
井上 友太郎	川 舞	四四、四〇	
山本 大五郎	五反田	二七、二〇	
酒井 六十郎	古 町	七六、〇〇	九
菊池 誠十郎	新 川	三五、〇〇	五〇九
木梨 禎一	舊 港	三七、六〇	
菊池 榮	松 柏		





川舞藝系場

八幡濱市川舞

電話五七一番

市立八幡濱病院

電話 事務所用 四四八番

内科 小児科

医学博士 手島

胤敏

京城医学士 高田

直利

産婦人科

医学博士 上野

治郎

外科 皮膚科 性病科

医学士 西尾

英美

眼科

科 局

医学士 美田

隆三

レントゲン室

技手 大金

德治

(分娩室、設備アリ)

登録商標

武勇  
輝子載

ルツノモワツ

元造釀  
場造酒治定頭兵

通岸海市濱幡八  
番三〇五話電

笠井清一 濱田町 七、七〇 四五四 染料商

赤松襄一 南大黒町

清勢清 大黒町一

谷淵正一 西近江屋町

(2) 洗濯之部

一文屋 菊池清十郎 東矢野町

矢野六郎 古町 三、四〇 五四六

稻田武雄 矢野町一 一五、四〇 七五

六、書籍、文具、學校用品

(1) 書籍之部

野本清男	大黒町一	三七四
小山新助	新町三	一八八
萩森喜十郎	矢野町五	八二〇二
		二五八

(2) 文房具之部

新町チヨノ	稻ヶ市	
佐々木五郎	五反田	
中川ラク	五反田	一六、五〇
中川スギ	西近江屋町	三、〇〇

化粧品小間物

(3) 和洋紙之部

吉岡大八	新町五	二六、六六	三三三	運動具
------	-----	-------	-----	-----

後藤キリ	港町	八九、六〇	長三六一
繁木友五郎	新町五	一五、四〇	
菊池時晴	檜谷		
松本又平	新町五	三六、三七	八〇

七、日用品、荒物業

安部音近	幸町三	
西園寺秀雄	西近江屋町	一九、八〇
		六六六
新田光治	松柏	
菊池春太郎	廣瀬	
上脇七松	川之内	
宇都宮萬平	幸町二	

小野 明治	矢野町六	一五、四〇	三六	吳服行商
菊澤 榮	北大黒町	一九、八〇		
菊池幸治郎	大黒町一		六一四	
上田源一	大黒町三			
宮岡告光	港町	一五九、八〇	四二九	
濱本宮松	古町			
菊池與一	濱之町	一八、二六	長二六	
字都宮安治	矢野町四	三三、四〇	五三五	
堀口春藏	矢野町一	三三、〇〇		
西村藤七	五反田	一九、八〇		

八、和洋家具指物業

油 喜

稻垣良治	古町	一六、六〇		
平井百松	今川町			
前田芳松	今川町			
松本岩雄	今川町			
田中信義	幸町一			
菅重左衛門	船場通		四二四	表具業
繁木忠市	北大黒町			
窪野定吉	戎町			
清水長治郎	新町三	三三、四〇	四一二	
中村嘉太郎	新町五	四八、〇〇	二二七	表具業
中島 繁	新町二	一九、八〇		
岩見喜惣右衛門	新町四	七二、四〇	二四〇	

イヌヤ	清水由太郎	菊池玉四郎	坂本村太郎	二宮德明	成美堂
井上廣一	堀川町	濱之町	本町三	本町	
一七、六〇		七九、九二		一九、八〇	
		五四九		四〇二	
				表具業	紙箱製造

九、洋服、反物業

西嶋瀧三郎	西近江屋町
八橋ミツ	大黒町一
三三、七〇	二六五
和田宗松	大黒町一
三三、七〇	五三八

泉 曾根次	大黒町一	一七、六〇
桃屋 森 實太郎	新町四	二二、八〇
		一五〇
森 分 守	新町二	七九、四〇
		一一五
松屋 兵頭伊平	新町二	一九、八〇
出來屋 平田造酒太郎	新町四	三六、四〇
		二二九
岩木屋 木村彌平	新町一	
住吉屋 河野健一	新町三	六二、四二
		二二三
久世示藏	新町五	二七、二〇
平家源八	新町五	
増井喜太郎	船場通	二四、六〇
		三八三
廉屋 高橋順一郎	船場通	一五、四〇
		六四
五百木屋 石岡吉猶	船場通	二五、六〇
		一八四

高岡好幸	仲之町	一九、八〇	
奥津辰吉	濱之町	二七、二〇	六〇四
西島末吉	田中町	四、四〇	三七三
明地仲藏	千代田町	二四、四〇	一二四
河野義久	天神通		
岩谷作一	矢野町七		
久保田貫一	矢野町五	八七、〇〇	五六五
清水佐與一	矢野町一		
矢野秀吉	舌田		
菊池挑太郎	舌田	一九、八〇	
字都宮七藏	合田		

綿、フトン

久保留吉	五反田大峠	
明地義晴	千代田町	四八、〇〇
		一二四

十、小間物、化粧品、洋品雜貨業

瀧野造	白濱通		洋品雜貨
榊屋	山内島伊	新町五	ナリヤス問屋
都築萬助	幸町一		
天狗屋	田中義德	幸町二	二七、二〇
	耳塚清三郎	大黒町	三三、〇〇
	菊池豊	大黒町一	二九、八〇
	山本ハマノ	大黒町一	
大工號分店	山本菊藏	大黒町一	四八、〇〇
			六〇五
			全
			洋品雜貨

大工號本店	山本平治	大黒町一	二七、二〇	五一五	
倉田マサ	新町三	一八、七〇	五二二	洋品雜貨	
岡田勝治	大黒町	六三、六〇		全	
井上春光	港町	一五、四〇			
菊池松翁	旧港	三五、〇〇		洋品雜貨	
江川久吉	新町五	一七、六〇	三八二	全	
行廣猪作	新町一			全	
安藤マチ	新町二	二四、六〇	三四九	全	
カモシヤ 安部キス子	新町二		一七三		
丸田仲一	新町四	二、五		洋品雜貨	
タマ屋 松永義一	新町一	一七、六〇			
山下榮之丞	新町五	二九、八〇	三二八	洋品雜貨	

タマヤ 玉井數術	新町四	二九、八〇		全	
米子常太郎	新町四	一四、三二	二七九	全	
本田アサノ	新町四	一五、四〇		全	
兵頭六良	矢野町五				
ゑり林 井上林太郎	新町二			袴襟商	
松屋 井上隆一	新町三	五八、九二	五五四		
福見泰輔	船場通	三三、〇〇	一六九	洋品雜貨	
大谷綾三郎	船場通				
細川市榮	船場通	三五、〇〇	二四二	洋品雜貨	
石田留藏	堀川町			全	
兵頭重隆	仲之町				
泉十吉	須崎町				
おたふく					

ハイカラ堂

河野嘉重 大正町

兵頭清市 矢野町四

繁樹満範 矢野町五

倉田三隆 矢野町五

徳永三猛 矢野町七

井上益雄 矢野町六

濱本岩七 古町

龜田万助 松柏

だるまや 浅田隆 新町

### 十一、履物業

山本愛太郎 西近江屋町

一七、六〇

一五、四〇

五〇、六〇

三五、〇〇

六八、八〇

一九八

三三、四〇

化組 力糖 品合  
洋品雜貨

日用品

大本伊左衛門 幸町 一九、八〇

倉田丈吉 大黒町一 二六、五〇

永易品吉 大黒町一 二七、二〇

和田重太郎 大黒町一 三二、四〇 六五三

沖田政義 大黒町一

大本春原 舊港 一九、八〇

松宮夏江 新町二 一五、四〇

谷水平治 新町四 一〇、六〇 三〇〇

大西キタコ 新町

小方モ子 堀川町

高橋和平治 本町一 一五、八〇

菊池唯平 矢野町四 一五、八〇 五六二

靴製造

夕比



前田頼富治	矢野町六	三六、八二	ク	ッ
松本岩夫	矢野町六			
字都宮武右衛門	矢野町五			
永鹽逸衛	矢野町六	三三、〇〇	ク	ッ
中山伊佐男	矢野町五		五三三	全
大林榮	矢野町七			
角田鶴吉	五反田			

**十二、時計、蓄音機**

兵頭正徳	新町	二二、〇〇		
是澤光江	新町三	六六、二〇		二四六
泉衛	新町五			

梶田八東	新町三	一一三、〇〇		
兒玉干城	矢野町七			
橋本島次郎	矢野町六			蓄音機

**十三、寫眞業**

糸井二郎	大黒町二	三一七		
小島辰正	新町一	二九、八〇		五五二
尾崎勝信	天神通			
川村末吉	南大黒町	六三四		

**南洋館**

**十四、藥種業**

菊池耕	白濱通	一五、四〇		三二〇	藥品並化粧品
-----	-----	-------	--	-----	--------

旭堂	菊池寅之助	幸町二	五、二〇	六〇一
木屋	久世盛清	大黒町	三、〇〇	六六二
日出屋	野本慎一	新港		
	宮本彌八	戎町		三七九
	近藤又七	新町五	一七、六〇	
	窪田ミツ	港町		
	田中一郎	新町四	二七、四六	二八二
	池田才吉	新町三	三九、七〇	三八
	泉壽住	新町一	三二、〇〇	一九一
大黒屋	野本齊平	田中町	三四、四〇	六三
	山本茂夫	矢野町七		

柴田常義	矢野町一	二四、一六	三四一
渡邊龍助	矢野町四		

十五、活版印刷業

尾上 鍋	天神町三	九一	印刷業
加藤忠治			印刷業
菊池住一	松 柏	二七、二〇	印刷業
二宮秀次郎	新町四	一五、四〇	一〇二
高原利郷	海老崎		二二五
修文社	高村彌太郎		全 印刷業
	角田萬吉		印刷業
	大塚彌助		ウカレンダワ
		九五	

大登彌平 大黒町一 六、五 一六

十六、旅館業

松榮館 松岡兵太郎 大黒町三 二七、二〇 三二六

梅屋 宮岡楸由 戎町 五三六

河野金季 戎町

三崎屋 山田トクエ 戎町 三三、〇〇

大藤ユクエ 戎町 一七、六〇 六一六

清家來一 戎町 三八、九〇 三〇一

佐々木クニノ 新港通

みなとや 大内シズエ 新港通 一九、八〇 九三

竹屋 本山猛 港口 四〇一

いさきや 兵頭政男 港口 四二、八〇 長四七

八幡屋 木村千代乃 港口 五四四

泉屋 泉川ミドリ 港口 四一四

三好文雄 旧港通

山本節治 港口 三三、〇〇

山本 競 新川通 六三、六〇 六一二

伊藤カツ 天神町二 四五、四〇 四一三

小泉義男 矢野町三 一五、一八 六一〇

河上トラノ 矢野町六 一七、六〇 三〇九

すげたや 加戸トラヨ 矢野町五 三七、六〇 二七一

十七、料理屋業

つるや	土居茂記	西近江屋町	四〇、二〇	四七一
峯田銀右工門	幸町二			
龜本アヤノ	幸町二			
赤玉	大田武雄	幸町一	一五、四〇	
駿河ミツル	天神町三		二四、六〇	
スター	宮崎牧三郎	大黒町三	四五、四〇	五一三
	菊池米松	大黒町三	一五、四〇	
喜壽亭	上田キリ	大黒町三	二七、二〇	
日輪	中原ムメ子	大黒町一		
久屋	竹中惣市	北大黒町		
スズラン	加藤峯吉	北大黒町		
港屋	二宮定子	大黒町五	一八、四八	八二

松梅樓	松岡ウメ	港町	一七、六〇	二三四
白帆	松江兼敏	港口	三三、四〇	一二五
高松屋	西村一郎	港口		
US食堂	衣輪愛治	旧港	一〇〇、〇〇	一五七
櫻亭	宮川盛	新町一		
	井櫻信市	新町五	三三、四〇	四三〇
	飯塚伊三郎	矢野町四		
丸北	毛利ツネ	堀川町	四八、〇〇	五五
きさらぎ	清水瞭榮	堀川町	三三、四〇	六一五
喜樂	阿部やすよ	櫻小路	三三、〇〇	四二七
醉月	野田美	堀川町	二三、〇四	二二
白水	早川静枝	仲之町	四八、〇〇	二一〇

日用品

矢野辰三郎	田浦町	四八、〇〇	一三六
久松馬太郎	下道		
明治樓	佐野ハッ		
サクラ	崎河富子	一七、六〇	五二九
梅園	是澤クマヨ	二〇、九〇	三七二
サロンハル	小清水春子	二〇、九〇	五三一
キリン食堂	門田政兵	三三、一〇	二五三
ひさご	田中フデ	三三、〇〇	二九二
三ツ輪	楮本庄藏	一七、六〇	
ハート	岡本フサ		一九二
梅乃井	三神鶴松	二九、八〇	四三七
	兵頭トメ	七九、二〇	五四一
	新川		

榮すし	幸棟太郎	矢野町七	八八
おたふく亭	松岡エリエ	矢野町三	六一〇
明月	谷本モミ	清水町	六二四
梅月	太田マサエ	矢野町七	二七、二〇
矢野傳	宇都宮高三郎	栗之浦	六五、一六
	井上徳一郎	廣瀬	八四、四〇
	山江利三	新港	二四、〇八

十八、交通運輸業

河野新三	大内浦	三五、〇〇	運送業
樋口萬太郎	大内浦	二九、二〇	全
松本輝	中浦	三七、六〇	全

今泉初子	大内浦	100,00	四四六	運送業
西山伊勢太郎	大内浦	三五,00		全
關谷重魔津	中浦			全
宮田大吉	高城	一六,五〇		全
菊池重義	中浦	二三,〇〇		全
松浦與惣治郎	大内浦	三三,〇〇		全
山下要藏	海岸通二	一五,四〇		全
魚海資一	大内浦			全
今泉織三郎	海岸通三		四四六	全
松本澤治郎	白濱通	二九,八〇		全
兵頭仙太郎	西近江屋町	一六,五〇		全

宮道兼一	大黒町三	一七,六〇		運送業
青木良作	仲新町	一〇八,〇〇	五五三	全
松本房五郎	大黒町四			全
村上嚴	大黒町三			全
永井宗一	大黒町四	三三,〇〇		全
大川久米一	港口	二〇,二四		全
松田萬太郎	新港	三三,九六	八四	全
今田勝一	大正町	一五,八四	五三五	全
下岡高太郎	新川	一七,六〇		全
松本松雄	港口	八九,六〇	九六 四六八	タクシー 並トラック
西森虎一	仲之町	一九,八〇	三〇七	自動車
二宮俊雄	新川	八五,九六	三三〇	タクシー

十九、薪炭業

菊池京助	大黒町六	
野本ハツノ	大黒町四	一七、六〇
宮部勇治	港口	
藤本満	戎町	三二、四〇
武内清視	戎町	三二、四〇
佐々木堅一郎	港口	二七、二〇
後藤忠	天神町	一七、六〇
谷池茂平	五反田	
稻生梅三郎	大正町	一五、四〇
松本數術	矢野町三	二二、〇〇
		三四四
		五〇
		三二

二〇、水車業

宇都宮常盤	川舞	三七、六〇	六五二
菊池増廣	川舞	二四、六〇	
宇都宮平治	川舞	一九、五	

二一、製材業

大矢野久榮	今川町	三九、〇〇	二五一
菊池兼弘	沖新田	二九、五四	三七〇
松下清太郎	大黒町五	一九、八〇	四六四
大成春吉	大黒町五	四四、四〇	長三六二
宮本勇	朝汐橋	三七、六〇	五二七

吉見福治	旧港	一〇七、八〇	一一六
井上字平	舊港	五五、八〇	五五〇
西村勇吉	東矢野町一	二九、八〇	
岩井健太郎	矢野町一		
新田茂	松柏	二七、二〇	二七、二〇
平井恒好	栗之浦	二七、二〇	四六〇
菊池峯太郎	五反田		
菊池常義	東矢野町裏通	三三、〇〇	

一三一、造船業

島本鶴太郎	栗之浦	三一、一〇	
宮崎繁太郎	栗之浦	三七、六〇	六五六

一三二、釣道具業

淺野トヨノ	新港	二〇、六八	四〇
二宮末吉	戎町	三三、四〇	二七二

一四、仲介業

井上彌助	海岸通一	一八、七〇	三三七	杭	木
井上進吾	新榮町		一九六		
西村又右衛門	堀川町		三四七		
片岡嘉太郎	片山町		二七六	杭	糸
宮田光太郎	本町	一六、五〇	三七七		
松代安廣	田浪				

入船屋



堀内 教雄 五反田  
 菊池 忠右衛門 川 舞  
 高橋 貞一 檜 谷

前 糸

二五、自轉車業

宮岡 肇 船場通

二神 重 本町一

三七、六〇 四四三

自動車修繕

清水 一郎 大正町

一七、六〇

毛利 經雄 矢野町六

一八、七〇 四〇四

福谷 德壽 矢野町四

六三一

林 善太郎 矢野町四

六八、八〇 五四〇

二六、金融業

(一) 銀行業之部

豫州銀行  
 五十二銀行  
 八幡濱支店  
 四國銀行  
 八幡濱支店

佐々木長治 船場通

大塚森太郎 新町

紙田昌綱 船場通

長二  
 五六〇  
 五六一  
 五二  
 九九

(2) 金銭貸附業

野井金十郎 千代田町 一九、八〇

菊池義明 栗之浦 三五、〇〇

松代ツイ 田浪 一六、二八

菊池ワイ 五反田

菊池増一郎 五反田

松田ナミ 五反田

山越定平 大黒町一

信用組合 平田恭三 矢野町

(3) 質屋之部

山岡ノエ 大黒町三

鎌上田商店 近江屋町

二七、金物

(1) 金物商之部

池上要治郎 新町 二〇七、九〇 二一

金本重次郎 新町三 七六、八三 一三八

矢野爲藏 矢野町七

六一 保險代理

宮本利八 新町五 二六、二〇 五三七

篠藤高年 新町四

山田兼雄 白濱通 二七、二〇 古金賣買業

菊池伊助 國道筋

宮崎隆一 矢野町五 二七、二〇 六一八

堀田辰雄 仲之町 一五、四〇 麻裏製造

二八、屑物問屋業

菊池好太郎 大黒町三 二九、八〇 五〇一

菊池實 天神町 三七、六〇

佐々木清三郎 片山町 二九、八〇

井上荒太郎 清水町

高橋武義 大平

二九、蚕具、荒物業

池田喜伴 戎町 三五〇〇 四一六

田中源造 天神町 二八二〇〇 三三四

三〇、肥料業

兵頭本三郎 松柏 二〇四、〇〇 一五

岡田庄八 五反田 六六、二〇 二六四

宇都宮良松 矢野町一

三一、土木、建築業

魚本七良平 海岸通三 土木請負業

田中政吉 白濱通 土木請負業

藤堂角太郎 高城 建築〃

井上一郎 今川町 土木〃

濱上糸藏 裁判所通 八七、〇〇 六二五 〃 建築請負

高橋國雄 白濱通 二五、九〇 土木請負業

柏原義宗 幸町 二四、六〇 〃

大政恒 幸町二 二四七 〃

菊池磯治 大黒町六 一五、六二 建築請負業

前上圓太郎 沖新田 二九、八〇 五四 土木建築請負

栗田竹太郎 天神町 建築業

加藤榮藏 裏濱田町 二七、二〇 糸染物請負業

末光淺治 矢野町五 土木請負業

八幡濱市代表的の  
**かんばんや**  
 東京ネオン代理店



**大丸**

代表者 **大政恒**  
 電話 二四七番  
 愛媛縣 八幡濱市幸町二

久保勝見 仲之町  
 清水長吉 松尾  
 菊川包 松尾  
 菊池源治郎 川之内  
 福田傳 郷  
 瀧口喜平 山越  
 龍口源助 川之内  
 新瀬俊光 稻ヶ市

三三、鐵工業

宇都宮勝太郎 古町  
 崎野福市 栗之浦

一八、七〇  
 一七、六〇

土木建築請負  
 土木請負業  
 “ “ “ “ “ “